

令和元年度乳幼児期の教育・保育の充実に関する調査結果について

〔 令和 2 年 7 月 3 1 日 〕
〔 乳幼児教育支援センター 〕

1 調査の概要

1 調査の趣旨

全県的な乳幼児期の教育・保育の充実を図ることを目的として、県内の幼児の育ちの状況、幼稚園・保育所・認定こども園（以下「園・所」）や小学校・特別支援学校小学部（以下「小学校等」）及び家庭等の実態を把握し、園・所への支援や家庭教育への支援等、平成29年2月に策定した「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン（以下「プラン」）に関わる今後の施策の具体化に活用する。

2 調査の対象

- (1) 県内の全園・所（893園・所、「幼児の育ちの状況」の調査については150園・所を抽出）
- (2) 県内の園・所に就園している0～2歳児*及び年長児の保護者（約3,000人ずつ）
- (3) 県内の全公立小学校等（484校）
- (4) 県民（1,755人）

※ 0～2歳児の保護者を対象とした調査は新規に実施

3 調査期間

令和元年11月6日（水）～12月4日（水）

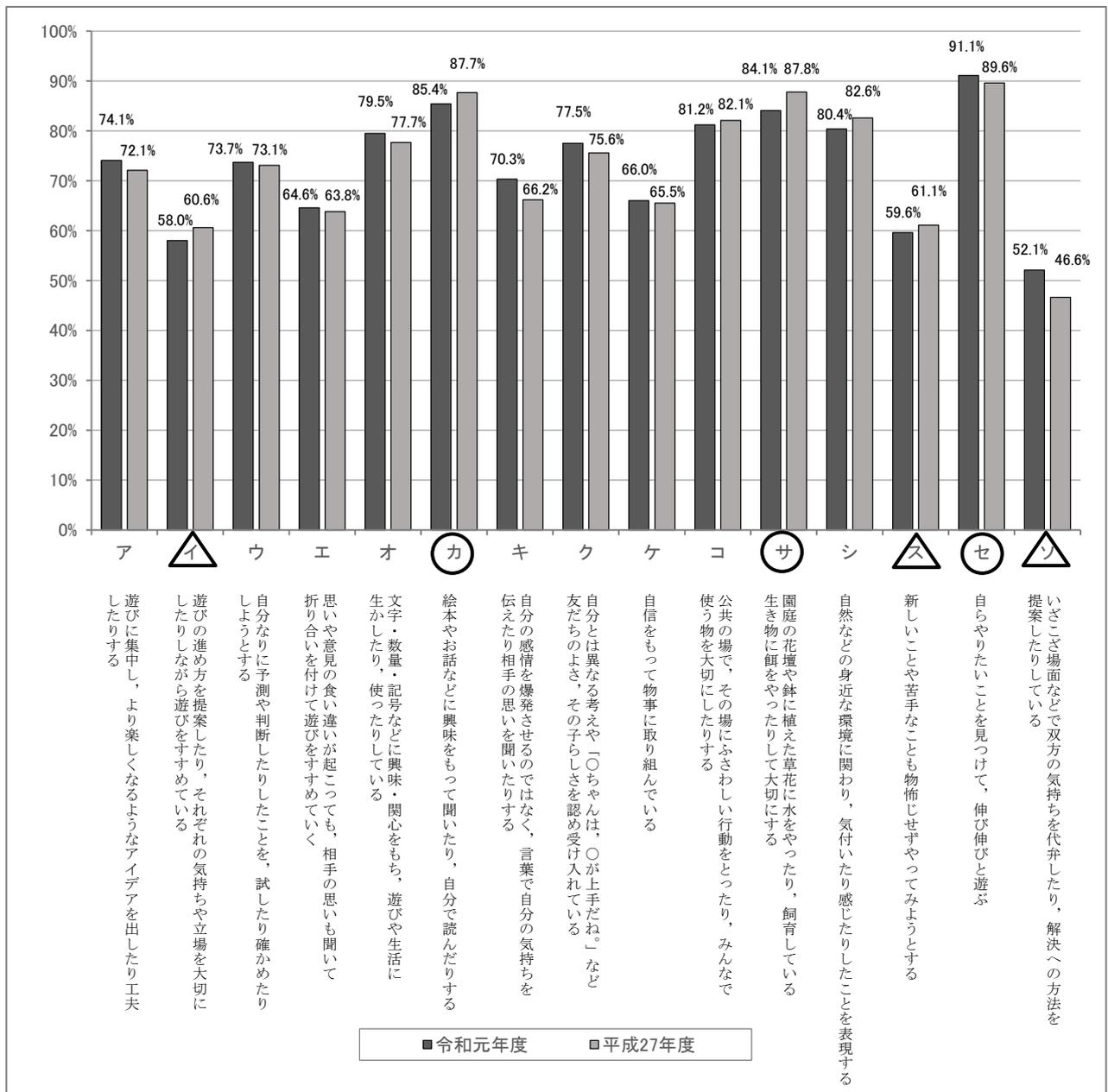
2 調査結果の概要

1 幼児の育ちの状況

○ 幼児の育ちの状況について、年長児担任が「あてはまる」と回答した上位3項目及び下位3項目は次のとおりで、平成27年度調査と同様である。

(別冊 P10)

上位3項目	下位3項目
セ 自らやりたいことを見つけて、伸び伸びと遊ぶ	ソ いざこざ場面などで双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている
カ 絵本やお話などを興味をもって聞いたり、自分で読んだりする	イ 遊びの進め方を提案したり、それぞれの気持ちや立場を大切にしたりしながら遊びをすすめている
サ 園庭の花壇や鉢に植えた草花に水をやったり、飼育している生き物に餌をやったりして大切にする	ス 新しいことや苦手なことも物怖じせずやってみようとする



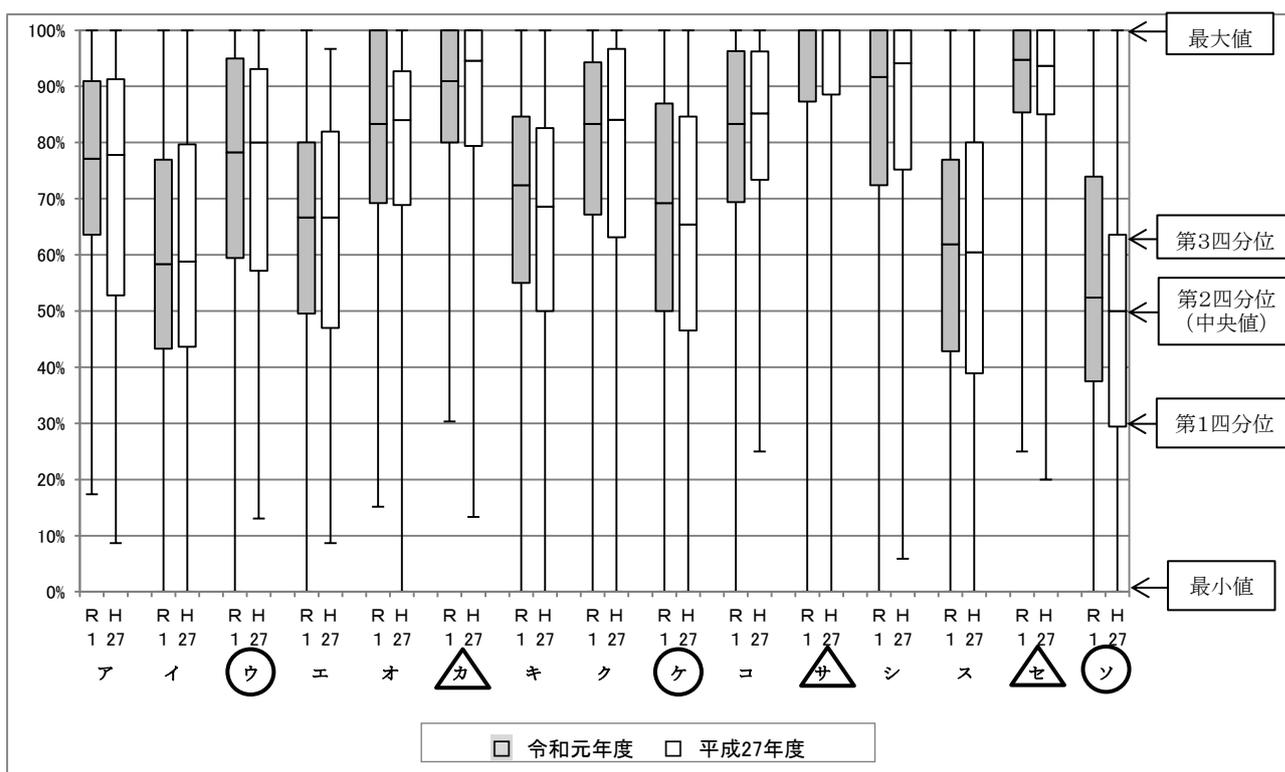
【図1 幼児の育ちの状況<年長児担任：R1-H27>】

- 同一の調査内容項目において、園・所ごとに幼児の育ちの状況をみると幼児の育ちに開きがみられる。開きが大きい上位3項目及び開きが小さい上位3項目は以下のとおりである。平成27年度調査と比較して、開きが大きい上位3項目のうち1項目と開きが小さい上位3項目は共通している。(別冊 P11)

項目	令和元年度	平成27年度
開きが大きい 上位3項目	ケ 自信をもって物事に取り組んでいる	ス 新しいことや苦手なことも物怖じせずやってみようとする
	ソ いざこざ場面などで双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている	
	ウ 自分なりに予測や判断したりしたことを、試したり確かめたりしようとする	
開きが小さい 下位3項目	サ 園庭の花壇や鉢に植えた草花に水をやったり、飼育している生き物に餌をやったりして大切に	ア 遊びに集中し、より楽しくなるようなアイデアを出したり工夫したりする
	セ 自らやりたいことを見つけて、伸び伸びと遊ぶ	
	カ 絵本やお話などに興味をもって聞いたり、自分で読んだりする	

＜箱ひげ図の見方＞

- 園・所ごとの「あてはまる」の割合を昇順に並べ、小さい数値から1/4, 1/2, 3/4の位置を算出している。(箱の一番下が第1四分位、一番上が第3四分位を表し、箱内の線が第2四分位(中央値)を表す。)
- ヒゲの端は最大値、最小値となる。
- 第1四分位と第3四分位の間に、データの50%が含まれるため、箱の長さが長いほど、回答にばらつきがあるといえる。



【図2 幼児の育ちの状況<園・所の分布状況：R1-H27>】

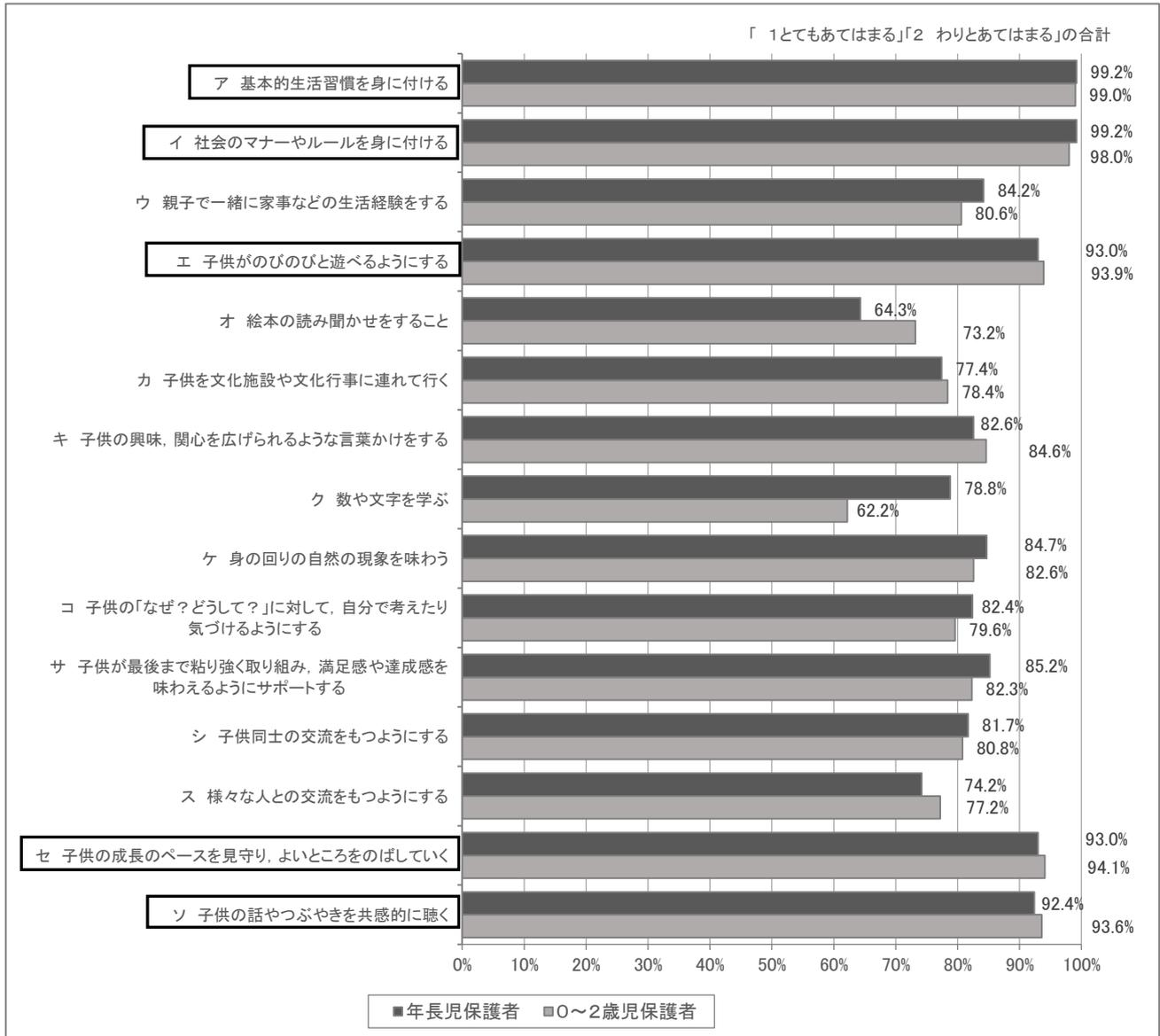
現時点での受け止め

- 幼児の育ちの状況(図1)及び幼児の育ちの状況の園・所の分布状況(図2)は、平成27年度調査と同じような傾向である。

2 保護者の子育て・家庭教育の状況

○ 家庭での心がけ^{*}について、90%以上の年長児・0～2歳児の保護者が「あてはまる」と回答している項目は、「ア 基本的な生活習慣を身に付ける」、「イ 社会のマナーやルールを身に付ける」、「エ 子供がのびのびと遊べるようにする」、「セ 子供の成長のペースを見守り、よいところをのばしていく」、「ソ 子供の話やつぶやきを共感的に聴く」である。(別冊 P16)

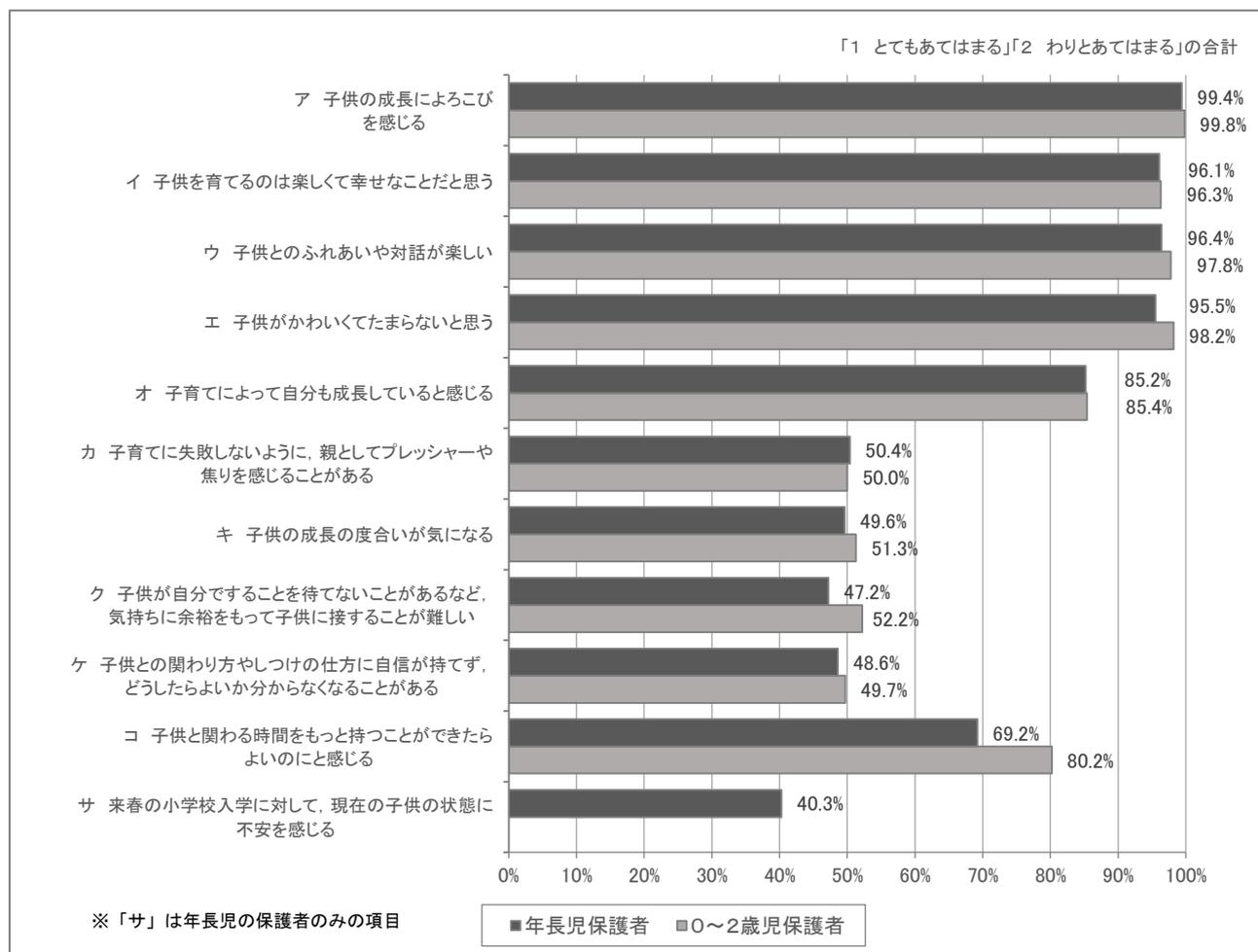
※ 「家庭での心がけ」…子育てや家庭教育で大切にしていること、心がけていること



【図3 家庭での心がけ＜年長児・0～2歳児保護者＞】

○ 子供を育てていてよかったと思うこと、負担に思うことや悩みについて、年長児・0～2歳児ともに99%以上の保護者が「ア 子供の成長によるこびを感じる」と回答している。

また、年長児・0～2歳児ともに95%以上の保護者が「イ 子供を育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」と回答している一方で、50%以上の保護者が「カ 子育てに失敗しないように、親としてプレッシャーや焦りを感じることもある」と回答している。(別冊 P18)



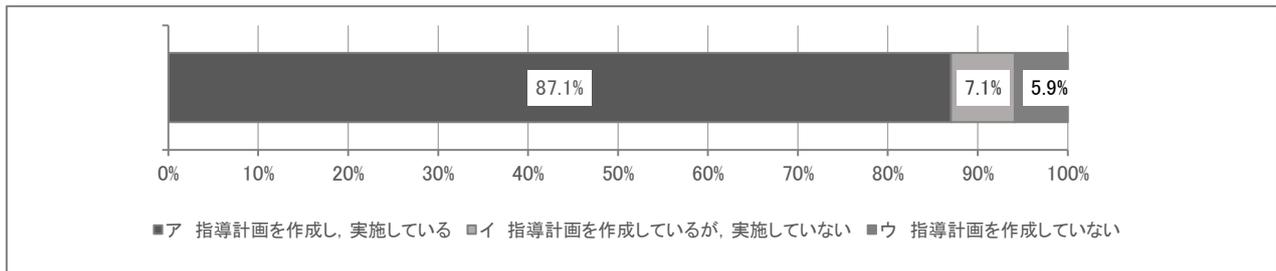
【図4 子育てで感じていること<年長児・0～2歳児保護者>】

現時点での受け止め

- 90%以上の保護者が「子供がのびのびと遊べるようにすること」「子供の話やつぶやきを共感的に聴くこと」などを心がけており、プランで示している「乳幼児期の遊びの大切さ」や「共感的な子育てスタイル」について意識している。
- 80%以上の保護者が子育てに対する肯定的な気持ちを持つ一方で、約50%の保護者が不安を感じていることもあり、妊娠期から子育て期まで切れ目のない保護者支援の充実が求められている。

3 園・所における教育・保育

- 主体性，遊び込む時間や環境を考慮した指導計画の作成，実施状況について，87.1%の園長・所長が「ア 作成し，実施している」と回答している。（別冊 P24）



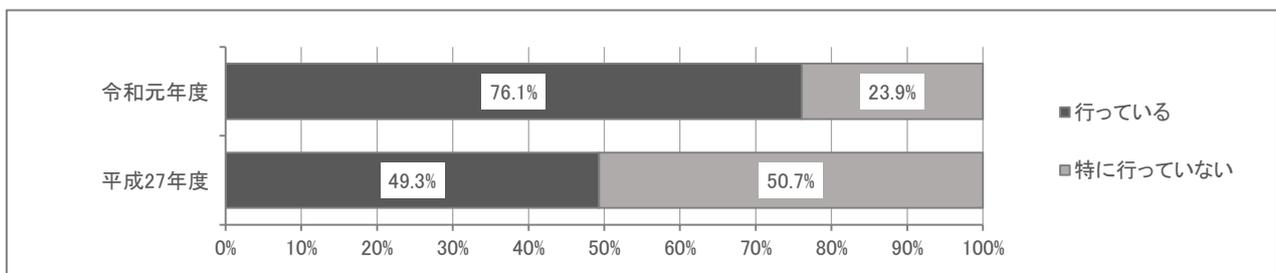
【図5 主体性，遊び込む時間や環境を考慮した指導計画の作成，実施状況<園長・所長>】

現時点での受け止め

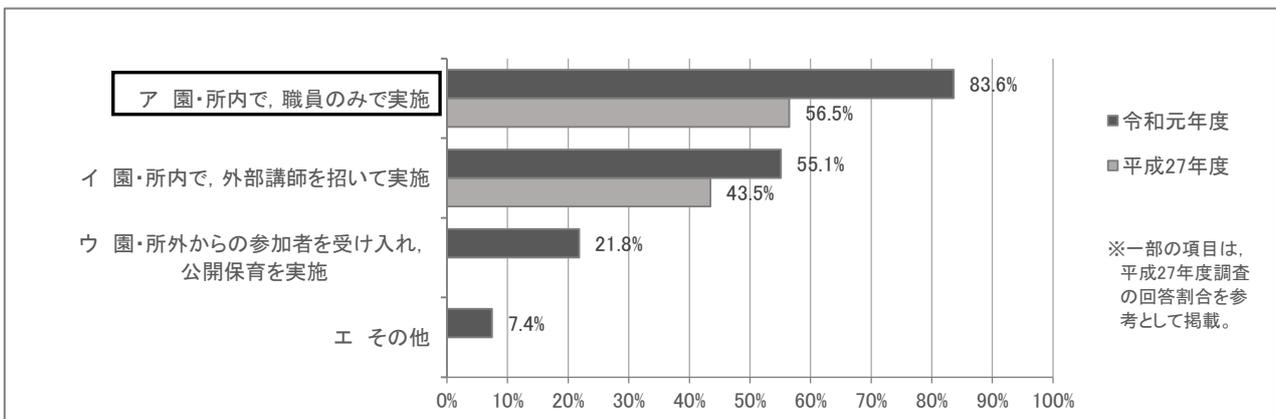
- 80%以上の園・所が，主体性や遊びの環境について考慮した指導計画を作成しており，遊びは学びと考える幼稚園教育要領等や県の乳幼児期の教育・保育について理解が進んでいると受け止めている。

4 資質向上のための取組

- 教育・保育について振り返り学び合う機会について，76.1%の園長・所長が「行っている」と回答しており，平成27年度調査と比較して26.8ポイント増加している。
その内容で割合が最も高い項目は，「ア 園・所内で，職員のみで実施」である。（別冊 P33）



【図6 振り返り学び合う機会の有無<園長・所長>】



【図7 振り返り学び合う機会の状況<園長・所長>】

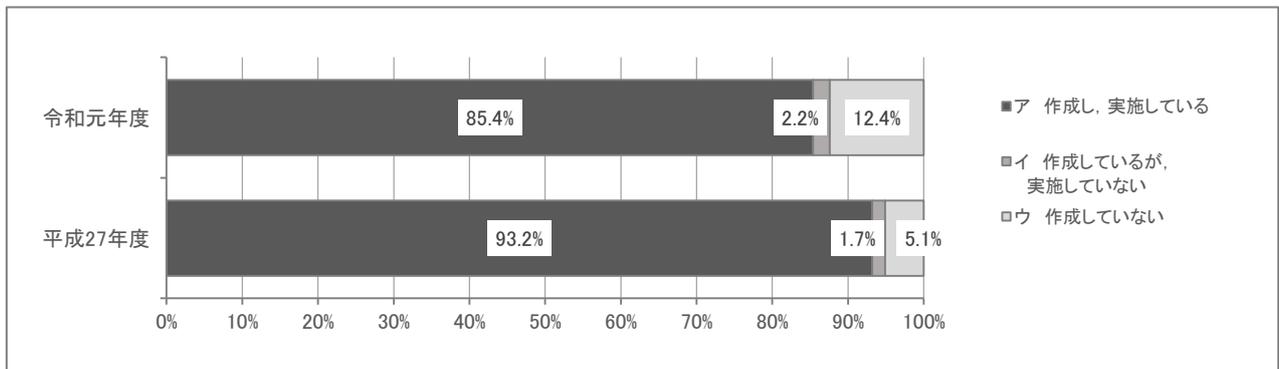
現時点での受け止め

- 平成 27 年度と比較して、振り返り学び合う機会を「行っている」との回答が増加しており、園・所の教育・保育の質や職員の専門性の向上に対する意識が向上していると受け止めている。

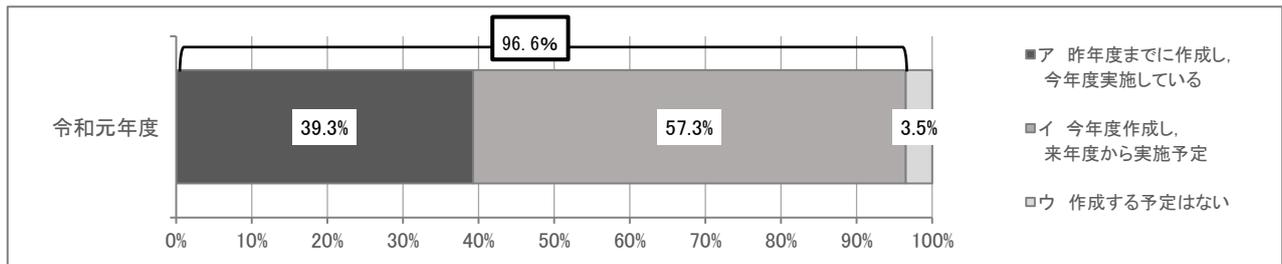
5 接続のための取組

- 接続カリキュラムの作成・実施について、85.4%の園長・所長が、「ア 作成し、実施している」と回答している。

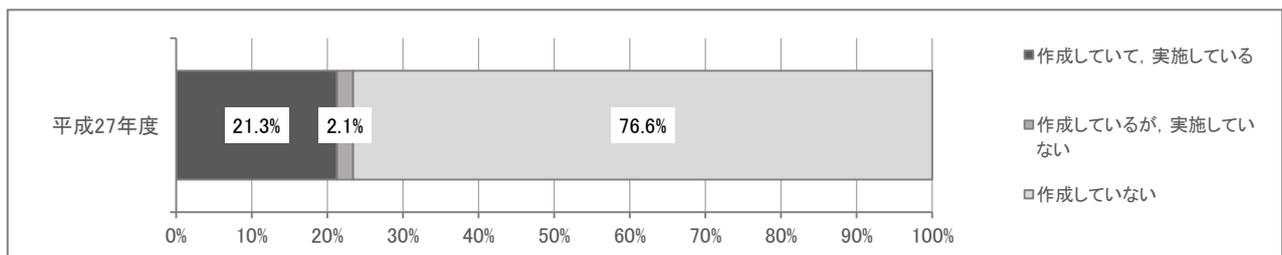
スタートカリキュラムの作成・実施について、39.3%の校長が、「ア 昨年度までに作成し、今年度実施している」と回答しており、平成27年度調査と比較して18ポイント増加している。「イ 今年度作成し、来年度から実施予定」まで含めると、96.6%である。(別冊 P38)



【図8 小学校入学を見通した年長児の指導計画の作成・実施状況<園長・所長>】

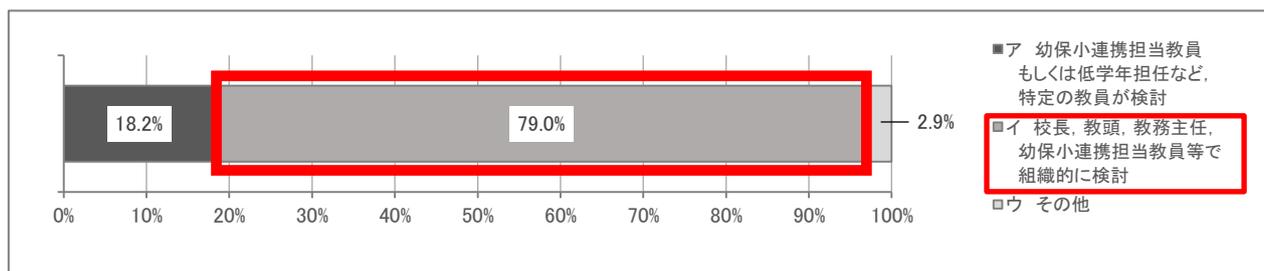


※ 作成する予定がない学校は、統廃合予定の学校、作成の必要がない学校等である。



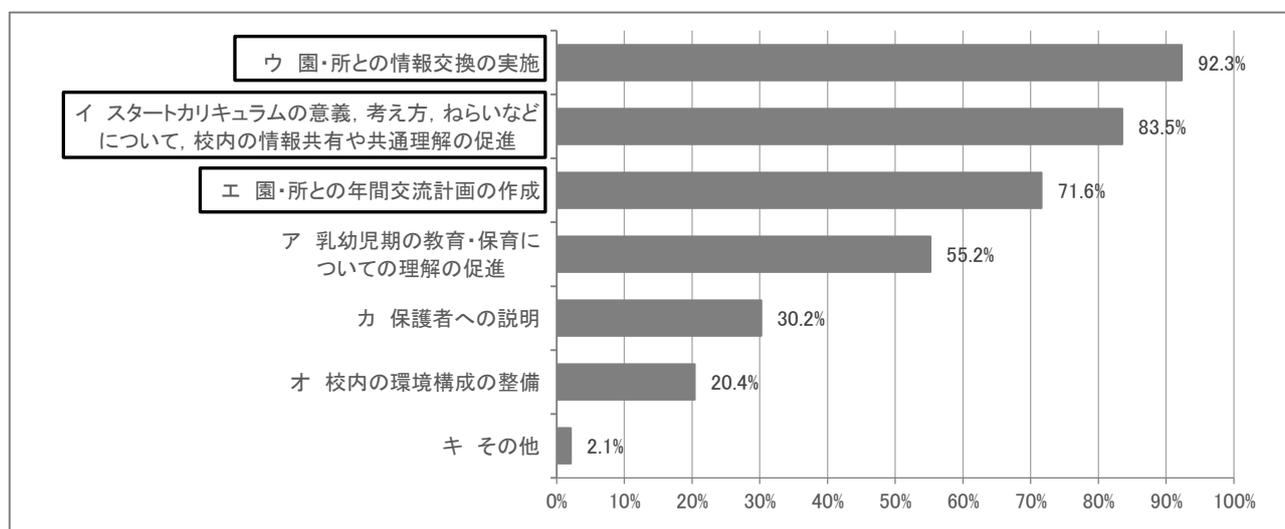
【図9 スタートカリキュラム作成・実施状況<校長>】

- スタートカリキュラム作成の検討体制について、79.0%の校長が、「イ 校長，教頭，教務主任，幼保小連携担当教員等で組織的に検討」と回答している。（別冊 P39）



【図10 スタートカリキュラム作成の検討体制<校長>】

- スタートカリキュラム作成に関わる取組内容について、校長が回答した上位3項目は、「ウ 園・所との情報交換の実施」，「イ スタートカリキュラムの意義，考え方，ねらいなどについて，校内の情報共有や共通理解の促進」，「エ 園・所との年間交流計画の作成」である。（別冊 P39）



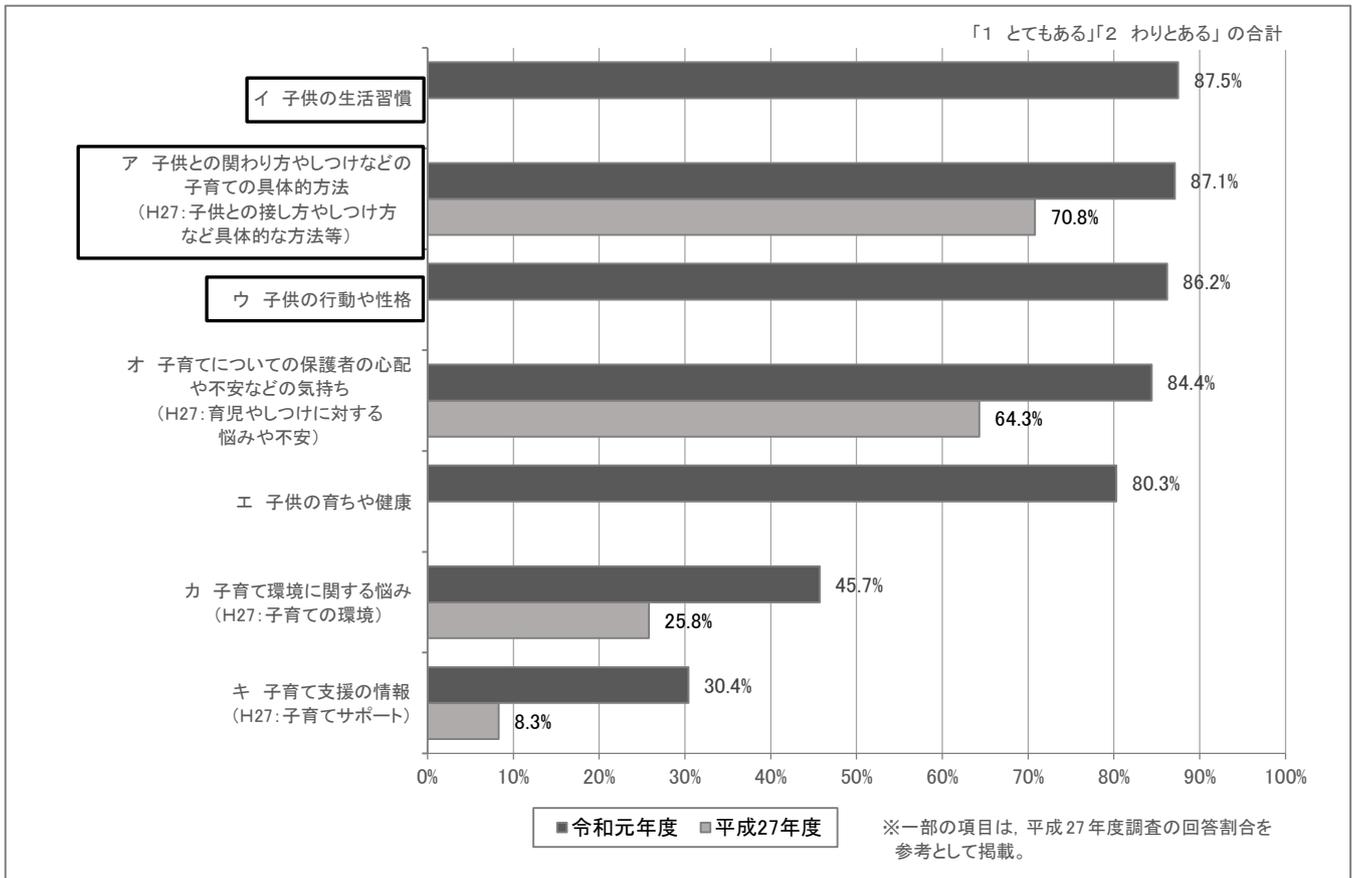
【図11 スタートカリキュラム作成に関わる取組内容<校長>】

現時点での受け止め

- 幼保小連携・接続のためのカリキュラムの作成・実施について、特に小学校等では来年度から新学習指導要領で作成・実施が求められていることから、取組が進んでいる。
- カリキュラム作成実施後も継続的な見直しが必要と受け止めている。

6 子育て支援

- 保護者からの相談内容について、園長・所長が回答した上位3項目は、「イ 子供の生活習慣」, 「ア 子供との関わり方やしつけなどの子育ての具体的方法」, 「ウ 子供の行動や性格」である。(別冊 P44)



【図12 保護者からの相談内容<園長・所長>】

現時点での受け止め

- 園・所における保護者からの相談内容は、「子供の生活習慣」「子供の行動や性格」など子供に関わるものから、子供との関わり方、子育てについての不安な気持ちなど保護者に関わるものなど様々であり、園・所における子育て支援の充実が求められている。

3 今後の方向性

本調査の結果について、県内の園・所や市町の担当部署、園・所の関係団体、ネウボラなどの子育て支援機関等をはじめ幅広く情報提供するとともに、園・所や家庭における教育・保育内容、園・所の教員・保育士等の研修の充実等や幼保小連携教育の推進、子育て・家庭教育支援の充実等に向けた取組を着実に実施することにより、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランの目指す姿の実現に向けて、引き続き取り組んでいく。

令和元年度

乳幼児期の教育・保育の充実に関する

調査の結果



令和 2 年 3 月
広島県教育委員会

I	調査概要	1
1	調査の趣旨	1
2	調査の設計	1
	(1) 調査対象	
	(2) 調査方法	
	(3) 調査実施期間	
3	発送・回収状況	1
	(1) 幼稚園・保育所・認定こども園調査	
	(2) 保護者調査	
	(3) 小学校・特別支援学校小学部調査	
	(4) 県民調査	
4	調査の構成	2
	(1) 幼稚園・保育所・認定こども園調査	
	(2) 保護者調査	
	(3) 小学校・特別支援学校小学部調査	
	(4) 県民調査	
II	調査結果の概要	3
III	調査結果	10
1	幼児の育ち・基本的な生活習慣等の状況	10
2	保護者の子育て・家庭教育の状況	16
3	園・所における教育・保育	23
4	資質向上のための取組	30
5	接続のための取組	34
6	子育て支援	44
IV	資料（調査結果データ）	51
1	幼稚園・保育所・認定こども園調査	52
2	保護者調査	74
3	小学校・特別支援学校小学部調査	109
4	県民調査	117

I 調査概要

1 調査の趣旨

全県的な乳幼児期の教育・保育の充実を図ることを目的として、県内の幼児の育ちの状況、幼稚園・保育所・認定こども園（以下「園・所」という。）や小学校・特別支援学校小学部（以下「小学校等」という。）及び家庭等の実態を把握し、園・所への支援や家庭教育への支援等、平成29年2月に策定した「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに関わる今後の施策の具体化に活用する。

2 調査の設計

(1) 調査対象

- ・ 県内の全園・所の施設長（以下「園長・所長」という。）
- ・ 県内の全園・所の年長児担任の教員・保育士等^{※1}（以下「年長児担任」という。）
- ・ 県内の園・所に就園している0～2歳児^{※2}及び年長児の保護者
- ・ 県内の全公立小学校等の校長
- ・ 県民

※1 教員・保育士等は、幼稚園教諭・保育士・保育教諭を指す。

※2 0～2歳児の保護者を対象とした調査は新規に実施した。

(2) 調査方法

調査は、業者へ委託して実施した。

- ① 園・所、保護者及び小学校等…郵送配付・回収
- ② 県民…インターネット調査

(3) 調査実施期間

令和元年11月6日（水）～12月4日（水）

3 発送・回収状況

(1) 幼稚園・保育所・認定こども園調査

調査票	調査票1 【園・所の教育・保育の実施状況、 子育ての支援等に関する調査】	調査票2 【年長児担任の教育・保育の実施 状況等に関する調査】	調査票3 【幼児の育ちに関する調査】
発送数	893	893	150
有効回収票数	662	640	121
有効回収率	74.1%	71.7%	80.7%

(2) 保護者調査

調査票	調査票4 【年長児の育ち、家庭教育や子育ての状況等に 関する調査】	調査票5 【0～2歳児の家庭教育や子育ての状況等に 関する調査】
発送数	3,143	3,070
有効回収票数	2,005	2,052
有効回収率	63.8%	66.8%

(3) 小学校・特別支援学校小学部調査

調査票	調査票6 【幼保小連携・接続や児童の育ちの状況に関する調査】
発送数	484
有効回収票数	407
有効回収率	84.1%

(4) 県民調査

調査票	調査票7 【家庭教育や子育てに関する調査】
発送数	1,755
有効回収票数	1,640
有効回収率	93.4%

※ 調査結果は設問無回答者を含まないため、上記回収票数と一致しない場合がある。

4 調査の構成

(1) 幼稚園・保育所・認定こども園調査

調査票	調査票1 【園・所の教育・保育の実施状況、子育ての支援等に関する調査】	調査票2 【年長児担任の教育・保育の実施状況等に関する調査】	調査票3 【幼児の育ちに関する調査】
対象	全園・所の園長・所長	全園・所の年長児担任各1名	150の園・所の年長児担任各1名
内容	教育課程・保育課程等に基づく教育・保育の実施状況、子育て支援等についての質問紙調査	教育課程・保育課程等に基づく教育・保育の実施状況等についての質問紙調査	任意の1クラスにおける幼児（年長児）の育ちの状況についての観察調査

(2) 保護者調査

調査票	調査票4 【年長児の育ち、家庭教育や子育ての状況等に関する調査】	調査票5 【0～2歳児の家庭教育や子育ての状況等に関する調査】
対象	150の園・所の年長児の保護者	100の園・所の0～2歳児の保護者
内容	家庭教育や子育ての状況、保護者の意識についての質問紙調査	家庭教育や子育ての状況、保護者の意識についての質問紙調査

(3) 小学校・特別支援学校小学部調査

調査票	調査票6 【幼保小連携・接続や児童の育ちの状況に関する調査】
対象	全公立小学校等の校長
内容	幼保小連携・交流・接続の取組状況、第1学年児童の小学校生活の状況等についての質問紙調査

(4) 県民調査

調査票	調査票7 【家庭教育や子育てに関する調査】
対象	県民（男女別，地域別，年齢別を考慮し抽出）
内容	家庭教育や子育てに関する意識，地域の活動への参加状況及び親への支援の必要性について，インターネットを活用した調査

※各回答の構成比は、設問ごとの回答数を回答者数（無回答を除く。）で除した百分率を表示している。単一回答の構成比については、端数処理の関係で合計100%にならない場合がある。

※結果掲載の都合上、本紙に掲載している「Ⅱ 調査結果の概要」及び「Ⅲ 調査結果」と「Ⅳ 資料」の項目の記号が異なる場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

1 幼児の育ち・基本的生活習慣等の状況

- ① 幼児の育ちの状況について、年長児担任が「あてはまる」と回答した上位3項目は「セ」「カ」「サ」、下位3項目は「ソ」「イ」「ス」で、平成27年度調査と同様である。【p. 10】

<年長児担任>

上位3項目	下位3項目
セ 自らやりたいことを見つけて、伸び伸びと遊ぶ	ソ いざこざ場面などで双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている
カ 絵本やお話などを興味をもって聞いたり、自分で読んだりする	イ 遊びの進め方を提案したり、それぞれの気持ちや立場を大切にしたりしながら遊びをすすめている
サ 園庭の花壇や鉢に植えた草花に水をやったり、飼育している生き物に餌をやったりして大切にする	ス 新しいことや苦手なことも物怖じせずやってみようとする

- ② 同一の調査内容項目において、園・所ごとに幼児の育ちの状況をみると幼児の育ちに開きがみられる。開きが大きい上位3項目は「ケ」「ソ」「ウ」、開きが小さい上位3項目は「サ」「セ」「カ」である。平成27年度調査と比較して、開きが大きい上位3項目のうち1項目（「ケ」）と開きが小さい上位3項目（「サ」「セ」「カ」）は共通している。【p. 11】

項目	年度	令和元年度	平成27年度
開きが大きい 上位3項目	ケ	自信をもって物事に取り組んでいる	
	ソ	いざこざ場面などで双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている	ス 新しいことや苦手なことも物怖じせずやってみようとする
	ウ	自分なりに予測や判断したりしたことを、試したり確かめたりしようとする	ア 遊びに集中し、より楽しくなるようなアイデアを出したり工夫したりする
開きが小さい 下位3項目	サ	園庭の花壇や鉢に植えた草花に水をやったり、飼育している生き物に餌をやったりして大切にする	
	セ	自らやりたいことを見つけて、伸び伸びと遊ぶ	
	カ	絵本やお話などに興味をもって聞いたり、自分で読んだりする	

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

- ③ 幼児の育ちの状況について年長児担任と年長児の保護者が「あてはまる」と回答した項目を比較すると、上位3項目のうち1項目（「セ」）、下位3項目のうち2項目（「ソ」「ス」）は共通している。【p. 12】

<年長児の保護者>（※年長児担任については上記①を参照。）

上位3項目	下位3項目
セ 自らやりたいことを見つけて、伸び伸びと遊ぶ	ソ いざこざ場面などで双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている
ア 遊びに集中し、より楽しくなるようなアイデアを出したり工夫したりする	ス 新しいことや苦手なことも物怖じせずやってみようとする
オ 文字・数量・記号などに興味・関心をもち、遊びや生活に生かしたり、使ったりしている	キ 自分の感情を爆発させるのではなく、言葉で自分の気持ちを伝えたり、相手の思いを聞いたりする

- ④ 幼児の基本的な生活習慣等の状況について、年長児の子供が自分からすると保護者が回答した割合が最も高い項目は「ウ 着脱衣」で、最も低い項目は「コ 整理整頓」であり、平成27年度調査の結果と同様である。また、約85%の年長児が1時間以上テレビを視聴し、約30%の年長児が1時間以上スマートフォンなどでアプリや動画などの視聴や携帯ゲームをしている。【p. 13, 14】
- ⑤ 幼児の育ちの状況と基本的な生活習慣等の状況との関連について、幼児の基本的な生活習慣等の状況が「高群」の保護者は「低群」の保護者と比較して、幼児の育ちの状況の各項目について「あてはまる」と回答した割合が高い。【p. 15】

グループごとの開きが大きい上位3項目	差(%)
キ 自分の感情を爆発させるのではなく、言葉で自分の気持ちを伝えたり相手の思いを聞いたりする	25.7
ソ いざこざ場面などで双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている	24.8
エ 思いや意見の食い違いが起こっても、相手の思いも聞いて折り合いを付けて遊びをすすめていく	21.4

2 保護者の子育て・家庭教育の状況

- ① 家庭での心がけ^{*}について、90%以上の年長児・0～2歳児の保護者が「あてはまる」と回答している項目は、「ア 基本的な生活習慣を身に付ける」、「イ 社会のマナーやルールを身に付ける」、「エ 子供ののびのびと遊べるようにする」、「セ 子供の成長のペースを見守り、よいところをのびさせていく」、「ソ 子供の話やつぶやきを共感的に聴く」である。【p. 16】 ※「家庭での心がけ」…子育てや家庭教育で大切にしていること、心がけていること
- ② 幼児の育ちの状況と家庭での心がけの状況との関連について、家庭での心がけの状況が「高群」の保護者は「低群」の保護者と比較して、幼児の育ちの状況の各項目について「あてはまる」と回答した割合が高い。【p. 17】

グループごとの開きが大きい上位3項目	差(%)
ソ 遊んでいるときにいざこざが起きたとき、双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている	27.4
キ 自分の感情を爆発させるのではなく、思ったこと、感じたこと、したいこと、経験したことなどを言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりする	21.8
エ けんかになっても相手の思いも聞いて、一緒に遊びをすすめている	21.4

- ③ 子供を育てていてよかったと思うこと、負担に思うことや悩みについて、年長児・0～2歳児ともに99%以上の保護者が「ア 子供の成長によるこびを感じる」と回答している。また、年長児・0～2歳児ともに95%以上の保護者が「イ 子供を育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」と回答している一方で、50%以上の保護者が「カ 子育てに失敗しないように、親としてプレッシャーや焦りを感じることもある」と回答している。【p. 18】

④ 【子育てや家庭教育に関する情報の入手方法】

特にあてはまることの上位3項目は、年長児・0～2歳児の保護者ともに「エ 子育て仲間や子育て経験のある友人・知人」、「オ 園・所」、「キ WEBサイト」である。

【子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談方法】

特にあてはまることの上位3項目は、年長児の保護者では、「エ 子育て仲間や子育て経験のある友人・知人」、「ア 配偶者・パートナー」、「イ あなたや配偶者・パートナーの親」、0～2歳児の保護者では「エ 子育て仲間や子育て経験のある友人・知人」、「ア 配偶者・パートナー」、「オ 園・所」であり、2項目（「エ」「ア」）は共通している。【p.19】

⑤ 【子育てや家庭教育に関する情報の入手内容】

特にあてはまることの上位3項目は、年長児の保護者では「ア」、「ウ」、「エ」、0～2歳児の保護者では「ア」、「イ」、「エ」であり、2項目（「ア」「エ」）は共通している

【子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談内容】

特にあてはまることの上位3項目は、年長児の保護者では「ア」、「ウ」、「エ」、0～2歳児の保護者では「ア」、「イ」、「ウ」であり、2項目（「ア」「ウ」）は共通している。【p.20】

項目	回答者	年長児の保護者	0～2歳児の保護者
情報の内容 上位3項目	ア	子供との関わり方やしつけなどの子育ての方法に関すること	
	エ	子供の育ちや健康に関すること	
	ウ	子供の行動や性格に関すること	イ 子供の生活習慣に関すること
相談の内容 上位3項目	ア	子供との関わり方やしつけなどの子育ての方法に関すること	
	ウ	子供の行動や性格に関すること	
	エ	子供の育ちや健康に関すること	イ 子供の生活習慣に関すること

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

⑥ 妊娠期の気持ちを振り返って、96.6%の0～2歳児の保護者が「イ おなかの赤ちゃんをいとおしく感じた」、「エ 小さな命を大切に育てていかなければならないという使命感が生まれた」と回答している。

また、80%以上の保護者が「カ 子供をどう育てるか考えるのが楽しかった」と回答している一方で、50%以上の保護者が「キ 親になることに不安があった」と回答している。【p.21】

⑦ 妊娠中に期待する支援について、0～2歳児の保護者が回答した上位3項目は「ウ 乳幼児の育ちの過程や子供への関わり方についての情報提供・学びの場の提供」、「エ 家庭が力を合わせて育児するための情報提供・学びの場の提供」、「オ 子育て・家庭教育支援情報の紹介」である。【p.22】

3 園・所における教育・保育

- ① 園・所が乳幼児に対して特に重視して取り組んでいることについて、園長・所長が回答した上位3項目は、「ア 自分を発揮してのびのびと遊ぶこと」、「ウ 基本的な生活習慣を身につけること」、「カ 人への思いやりをもつこと」である。【p.23】
- ② 主体性、遊び込む時間や環境を考慮した指導計画の作成、実施状況について、87.1%の園長・所長が「ア 作成し、実施している」と回答している。【p.24】
- ③ 評価の実施状況について、園長・所長が「実施している（「ア 実施しており、結果を公表している」「イ 実施しているが、結果は公表していない」の合計）」と回答した割合は、自己評価 85.0%、学校関係者評価 35.5%、第三者評価 30.9%である。平成27年度調査と比較して、自己評価は6.6ポイント増加し、第三者評価は1.2ポイント減少している。【p.24】
- ④ 無償化に関する新たな取組について、55.5%の園長・所長が「している、もしくはする予定」と回答している。その取組内容の上位3項目は、「イ 無償化に関する保護者への説明」、「ア 無償化に関する職員研修」、「ウ 保育の質の向上につながる取組」である。【p.25】
- ⑤ 特別な配慮を要する乳幼児について、89.0%の園長・所長が「いる」と回答しており、平成27年度調査と比較して2.4ポイント増加している。その配慮内容の上位3項目は、「ア クラスに加配の職員を配置して対応している」、「キ 環境構成を工夫している」、「カ 指導計画を工夫している」である。【p.26】
- ⑥ プランに掲げる「5つの力」の活用について、52.9%の園長・所長が「している」と回答している。その活用状況として割合が最も高い項目は、「ア 「5つの力」を職員同士で学び合うような機会がある」である。【p.27】
- ⑦ 教育・保育実践事例集の活用について、42.2%の園長・所長が「している」と回答している。その活用状況として割合が最も高い項目は、「ア 事例集を職員で読み合う」である。【p.28】
- ⑧ 絵本などの読み聞かせについて、89.3%の園長・所長が「ア 毎日」と回答しており、平成27年度調査と比較して3.2ポイント減少している。【p.29】
- ⑨ 保護者へのおすすめ絵本の紹介について、76.5%の園長・所長が「している」と回答しており、平成27年度調査と比較して11.6ポイント増加している。その方法として割合が最も高い項目は、「エ 絵本の貸出をしている」である。【p.29】

4 資質向上のための取組

- ① 教育・保育の実践の課題について、96.9%の年長児担任が「感じている」と回答している。その課題の内容の上位3項目は、「イ 教育・保育内容」、「ウ 環境構成」、「キ 保護者への対応」である。【p.30】
- ② 教員・保育士等に特に必要な研修内容について、園長・所長が回答した上位3項目は、「ア」、「エ」、「ウ」である。
年長児担任が回答した上位3項目は、「エ」、「サ」、「ア」である。
園長・所長と年長児担任の回答で、2項目（「ア」、「エ」）は共通している。【p.31】

回答者	園長・所長	年長児担任
上位3項目	ア 子供の発達の理解や見取り方	
	エ 特別な支援を必要とする子供の理解や関わり方	
	ウ 環境構成	サ 小学校との連携の内容や方法、小学校入学を見通した年長児の指導計画の作り方

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

- ③ 教員・保育士等の資質向上のために必要だと思う研修などに関する仕組みについて、園長・所長が回答した割合が最も高い項目は、「ウ 公開保育や研究発表会など教育・保育を学び合う機会」である。【p.32】
- ④ 教育・保育について振り返り学び合う機会について、76.1%の園長・所長が「行っている」と回答しており、平成27年度調査と比較して26.8ポイント増加している。その内容で割合が最も高い項目は、「ア 園・所内で、職員のみで実施」である。【p.33】

5 接続のための取組

- ① 幼保小連携・接続の意義について、90.1%の校長が「ウ 園・所での子供の様子を把握し、小学校での指導の参考とするため」と回答している。【p.34】
- ② 園・所の連携・接続の取組状況について、95.1%の園長・所長が「行っている」と回答しており、平成27年度調査と比較して0.2ポイント減少している。【p.35】
- ③ 小学校の連携・接続の取組状況について、56.2%の校長が、「ステップ2」と回答している。【p.35】

ステップ0	連携の予定・計画がまだない。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された教育課程について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

- ④ 園・所の連携・接続の取組内容について、園長・所長が回答した割合が最も高い項目は、児童と幼児の交流では「キ 体験入学（授業参観，施設見学のみ）」，教職員の連携では「サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り」，保護者への取組では「ネ 園・所の保護者向けの入学前小学校授業公開，懇談会，意見交換会など」である。【p. 36】
- ⑤ 小学校の連携・接続の取組内容について、校長が回答した割合が最も高い項目は、児童と幼児の交流では「イ 1，2年生の「生活科」を通じた交流」，教職員の連携では「サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り」，保護者への取組では「ネ 園・所の保護者向けの入学前小学校授業公開，懇談会，意見交換会など」，組織体制づくりでは「ヒ 校内における組織づくり」である。【p. 37】
- ⑥ 接続カリキュラムの作成・実施について、85.4%の園長・所長が、「ア 作成し，実施している」と回答している。
- また、スタートカリキュラム作成・実施について、39.3%の校長が、「ア 昨年度までに作成し，今年度実施している」と回答しており、平成27年度調査と比較して18ポイント増加している。「イ 今年度作成し，来年度から実施予定」まで含めると、96.6%である。【p. 38】
- ⑦ スタートカリキュラム作成の検討体制について、79.0%の校長が、「イ 校長，教頭，教務主任，幼保小連携担当教員等で組織的に検討」と回答している。【p. 39】
- ⑧ スタートカリキュラム作成に関わる取組内容について、校長が回答した上位3項目は、「ウ 園・所との情報交換の実施」，「イ スタートカリキュラムの意義，考え方，ねらいなどについて，校内の情報共有や共通理解の促進」，「エ 園・所との年間交流計画の作成」である。【p. 39】
- ⑨ スタートカリキュラム作成，実施に関わる課題について、49.0%の校長が、「課題がある」と回答している。その課題の内容として割合が最も高いのは、「イ 園・所との連携が難しい」である。【p. 40】
- ⑩ 小学校への接続を意識して年長児への教育・保育について大切にしていることについて、園長・所長が回答した上位3項目は、「カ 自分の思いや考えを相手に伝えること」，「ウ 他児と協力したり協調したりすること」，「ア 意欲的に物事に取り組むこと」である。【p. 41】
- ⑪ 小学校への接続を意識して年長児への教育・保育について大切にしていることについて、年長児担任が回答した上位3項目は、「カ 自分の思いや考えを相手に伝えること」，「ウ 他児と協力したり協調したりすること」，「サ 人の話を集中して聞くこと」である。【p. 42】
- ⑫ 入学後間もなくの児童に多く見られる姿について、校長が回答した上位3項目は「ア 意欲的に物事に取り組もうとしている」，「エ 友達と仲良くしようとしている」，「ツ 文字や数に関心を持っている」である。【p. 43】

6 子育て支援

- ① 保護者からの相談内容について、園長・所長が回答した上位3項目は、「イ 子供の生活習慣」、「ア 子供との関わり方やしつけなどの子育ての具体的方法」、「ウ 子供の行動や性格」である。【p. 44】
- ② 園・所に期待する支援について、年長児・0～2歳児の保護者ともに、上位3項目は「ア 子育てや家庭教育について気軽に相談できる場や機会の提供」、「イ 園・所だよりやクラスだよりなどを通じた子育て・家庭教育についての日常的な情報提供」、「キ 親子と一緒に参加できる行事などの提供」である。【p. 45】
- ③ 乳幼児を育てている保護者に必要な支援について、園長・所長が「あてはまる」と回答した上位3項目は、「ア 乳幼児の発達や関わり方の理解のための情報提供」、「ウ 子育てについて気軽に相談できる場や機会の提供」、「イ 乳幼児の発達や関わり方の理解のための体験の場の提供」である。【p. 46】
- ④ 園・所が行っている子育ての支援について、園長・所長が回答した割合が最も高い項目は、在園児の保護者対象では「サ 行事への参加」、在園児以外の保護者対象では「ア 園庭開放」である。【p. 47】
- ⑤ 乳幼児を育てる保護者が子育て・家庭教育をゆとりを持ってできるようになるために必要な取組について、保護者及び県民が最も回答した割合が高い項目は、
【地域の取組】
 年長児の保護者では「イ」、0～2歳児の保護者では「カ」、県民では「ア」
【社会全体の取組】
 年長児の保護者では「カ」、0～2歳児の保護者では「カ」、県民では「ア」
 である。【p. 48】

回答者	地域の取組	社会全体の取組
年長児の保護者	イ 親子が気軽に集えて交流できる場や行事などが充実すること	カ 家庭生活と両立できる職場環境づくりが進むこと
0～2歳児の保護者	カ 家庭生活と両立できる職場環境づくりが進むこと	カ 家庭生活と両立できる職場環境づくりが進むこと
県民	ア 子育てや家庭教育に関する悩みについて、気軽に相談できる人や場が充実すること	ア 子育てや家庭教育に関する悩みについて、気軽に相談できる人や場が充実すること

- ⑥ 乳幼児を育てている保護者の子育てや家庭教育を支援する必要性について、80.9%の県民が「必要があると思う」と回答し、平成27年度調査と比較して1.4ポイント増加している。年代別では、10代及び70代以上の回答割合が高い。【p. 49】

※令和元年度調査の新規項目については【新規】と記載。

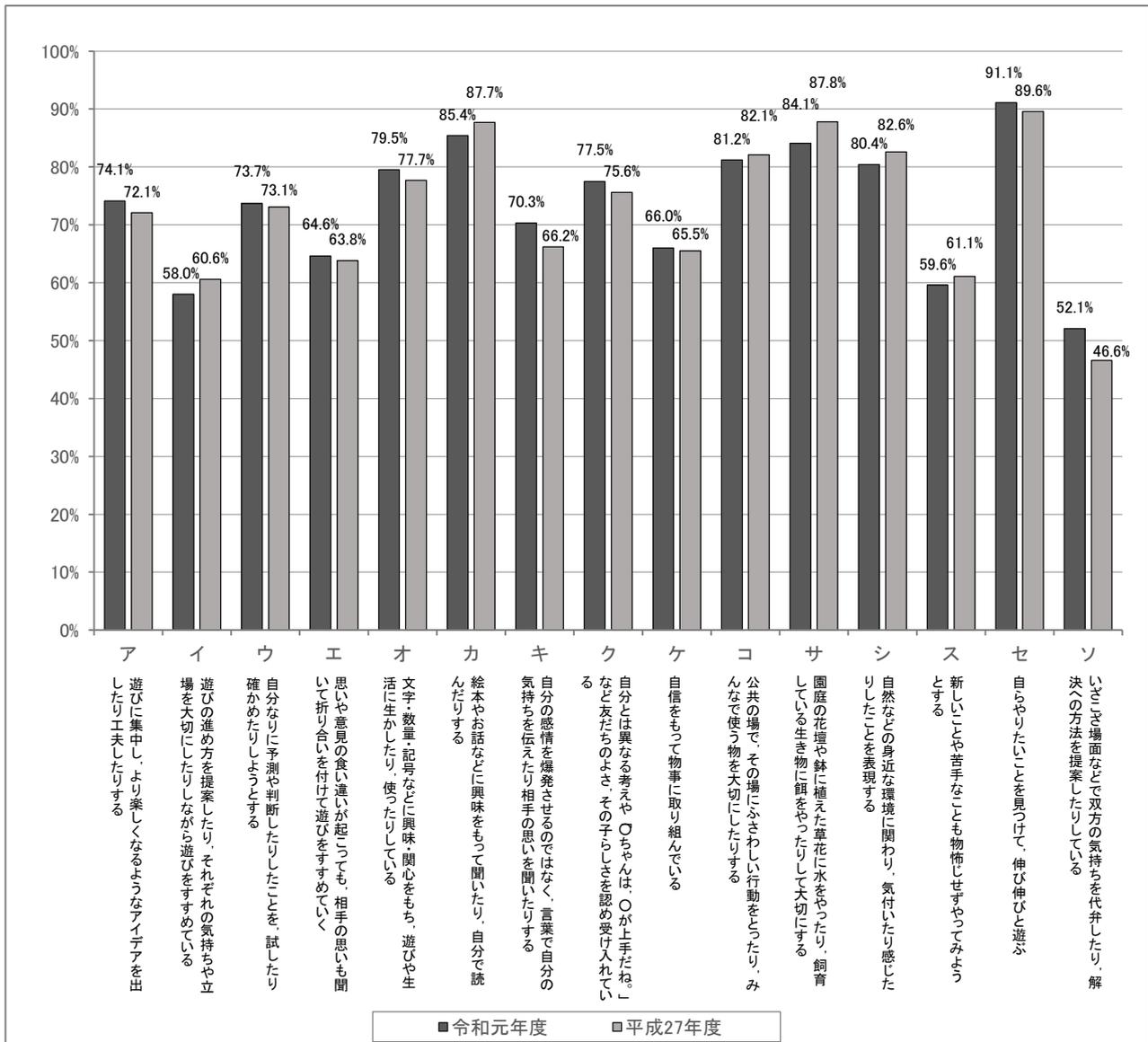
※令和元年度調査で、選択肢の新規追加または表現等を変更した質問については、平成27年度調査の結果との単純な比較はできないが、平成27年度調査の回答結果を参考に掲載している。

Ⅲ 調査結果

1 幼児の育ち・基本的生活習慣等の状況

① 幼児の育ちの状況（年長児担任：R1-H27）

回答者（人数）	年長児担任（121人）
質問内容	現在担任している年長児一人一人の様子について、令和元年10月末までの育ちの姿について教えてください。一人一人の年長児ごとに、「ア」から「ソ」までの姿について、「1 あてはまる」か「2 あてはまらない」のどちらかを1つずつ選んで、「1」か「2」の番号を記入してください。



【図1 幼児の育ちの状況＜年長児担任：R1-H27＞】

＜調査結果＞

幼児の育ちの状況について年長児担任が「あてはまる」と回答した上位3項目は「セ」「カ」「サ」、下位3項目は「ソ」「イ」「ス」で、平成27年度調査と同様である。

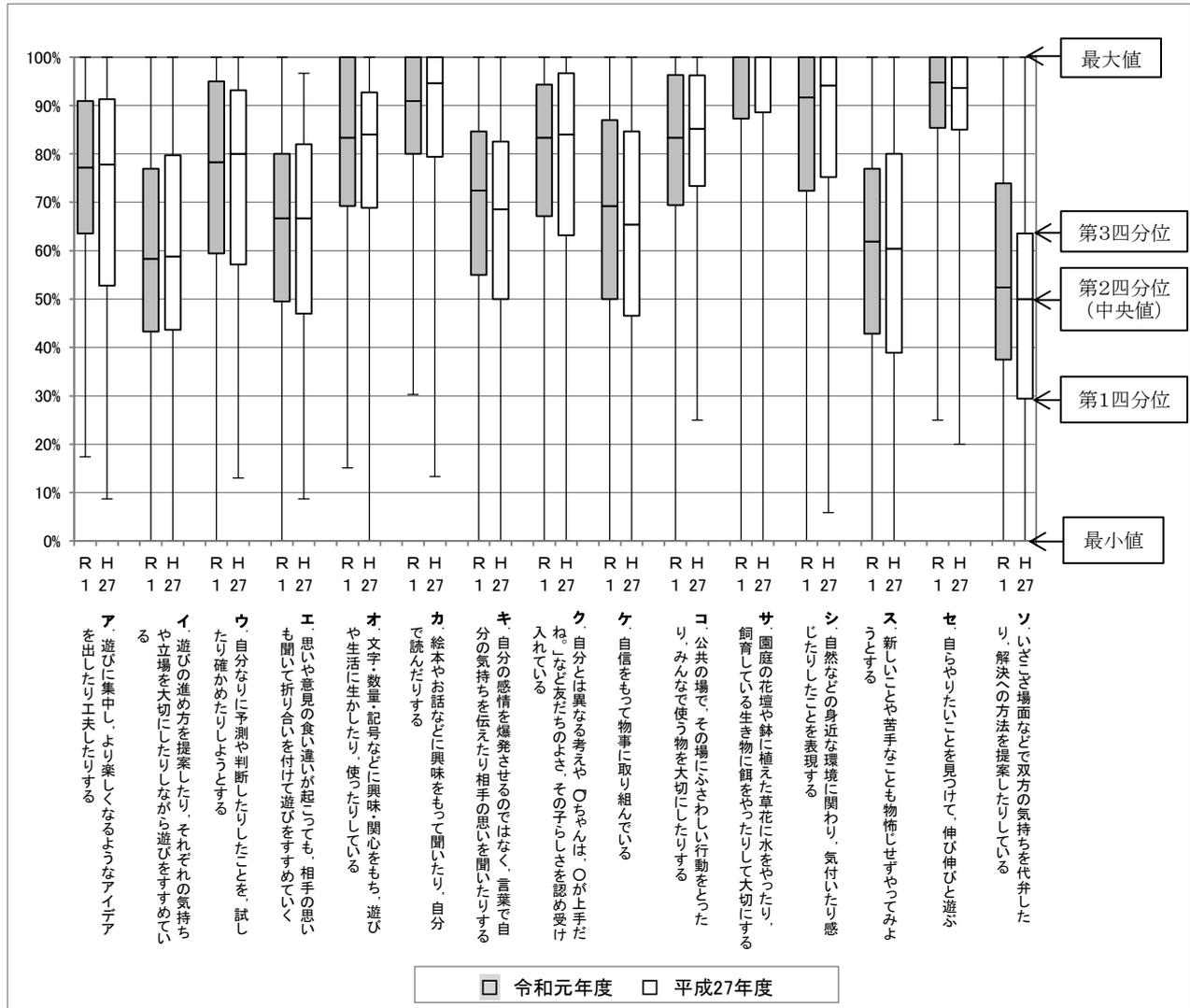
② 幼児の育ちの状況（園・所の分布状況：R1-H27）

次の図2は、園・所別に15項目の「あてはまる」の割合を算出し、箱ひげ図※に示したものである。

※箱ひげ図とは、ある集団の値の分布の状況を「箱」と「ひげ」で視覚的に表したものである。箱ひげ図は、分布の形状を確認することに適した図である。

<箱ひげ図の見方>

- 園・所ごとの「あてはまる」の割合を昇順に並べ、小さい数値から1/4、1/2、3/4の位置を算出している。（箱の一番下が第1四分位、一番上が第3四分位を表し、箱内の線が第2四分位（中央値）を表す。）
- ヒゲの端は最大値、最小値となる。
- 第1四分位と第3四分位の間に、データの50%が含まれるため、箱の長さが長いほど、回答にばらつきがあるといえる。



【図2 幼児の育ちの状況<園・所の分布状況：R1-H27>】

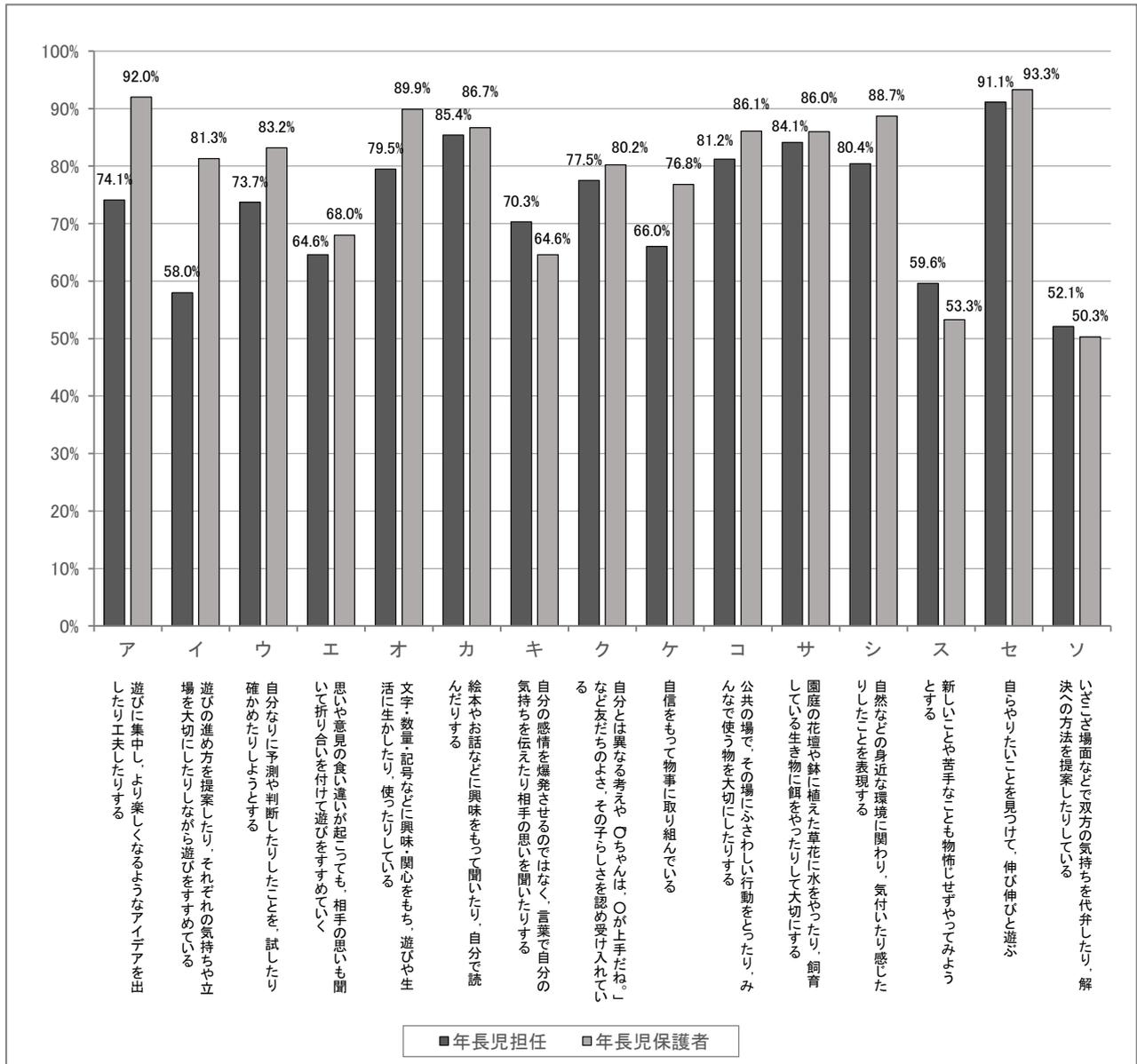
<調査結果>

同一の調査内容項目において、園・所ごとに幼児の育ちの状況を見ると幼児の育ちに開きがみられる。開きが大きい上位3項目は「ケ」「ソ」「ウ」、開きが小さい上位3項目は「サ」「セ」「カ」である。平成27年度調査と比較して、開きが大きい上位3項目のうち1項目（「ケ」）と開きが小さい上位3項目（「サ」「セ」「カ」）は共通している。

③ 幼児の育ちの状況（年長児担任-年長児の保護者比較）

回答者（人数）	年長児の保護者（2,005人），年長児担任（121人）
質問内容	現在の年長児のお子様について，どのような姿が見られますか。次の「ア」から「ソ」のそれぞれの項目について，「1 あてはまる」または「2 あてはまらない」のいずれかに○をつけてください。（年長児担任の質問内容はp.10参照。）

次の図3は，年長児担任が見た幼児の育ちの状況に対する「あてはまる」の割合と，年長児の保護者が見た幼児の育ちの状況に対する「あてはまる」の割合を比較したものである。



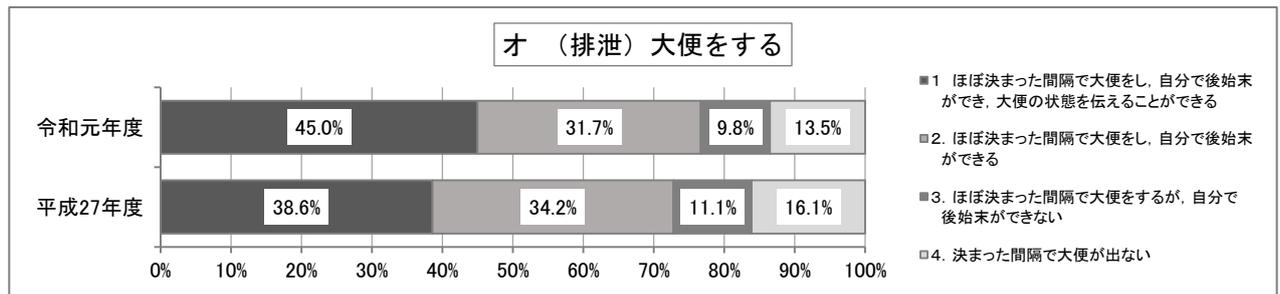
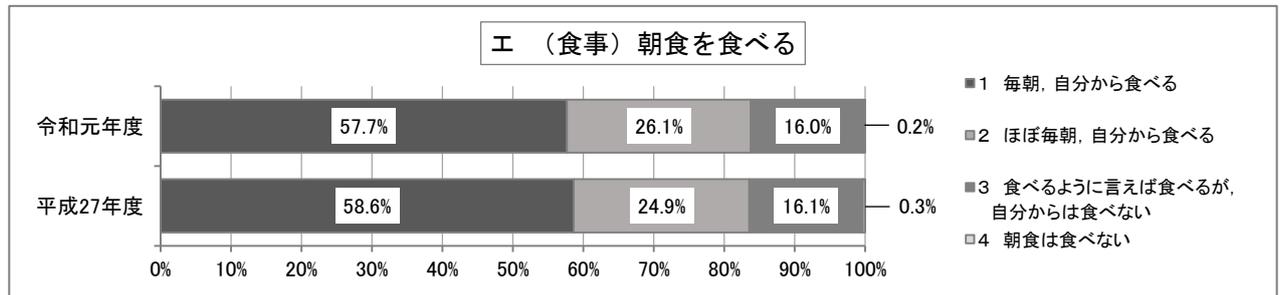
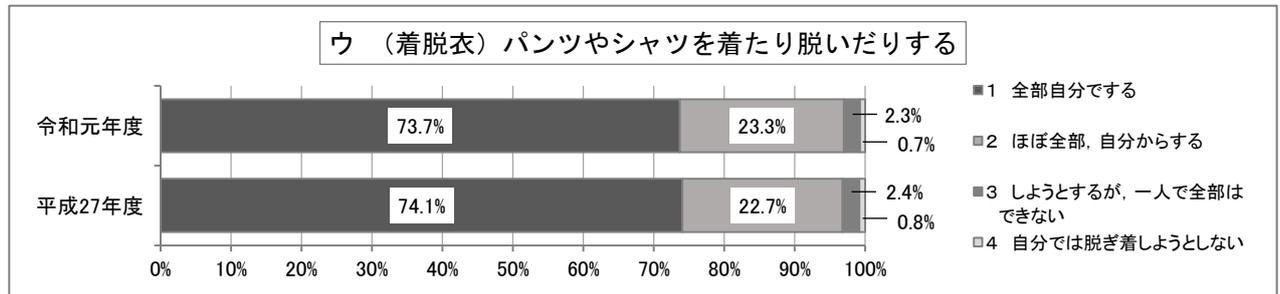
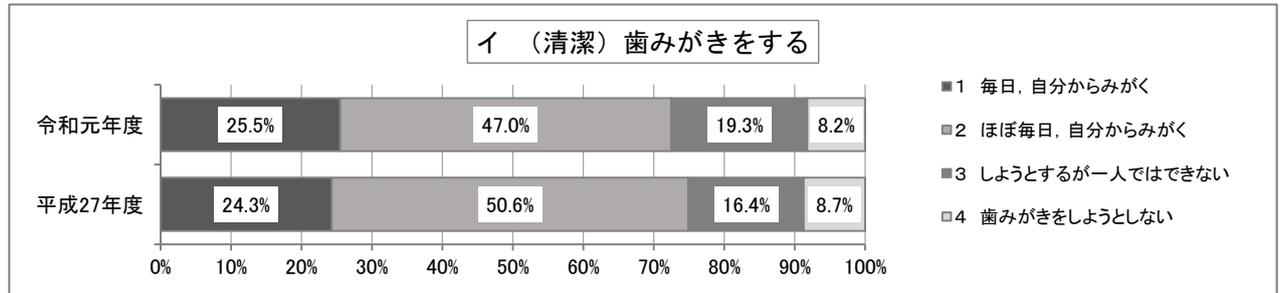
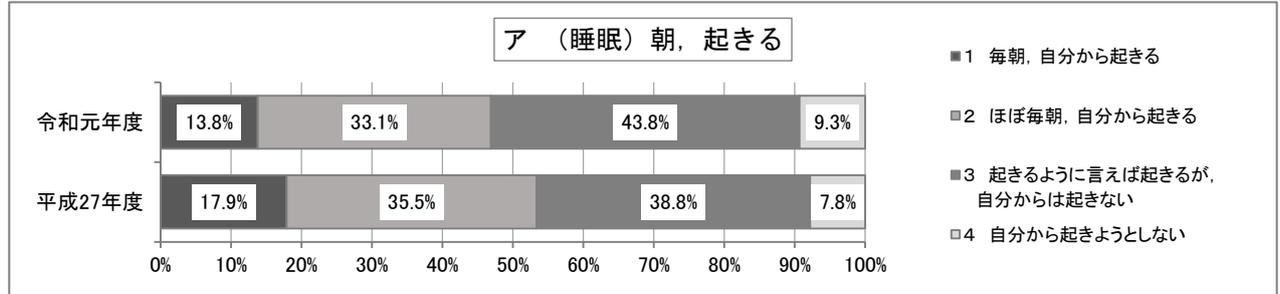
【図3 幼児の育ちの状況（年長児担任-年長児の保護者比較）】

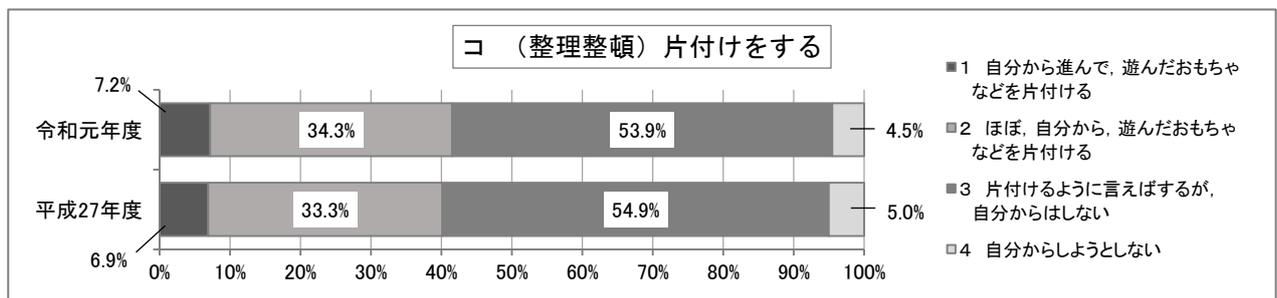
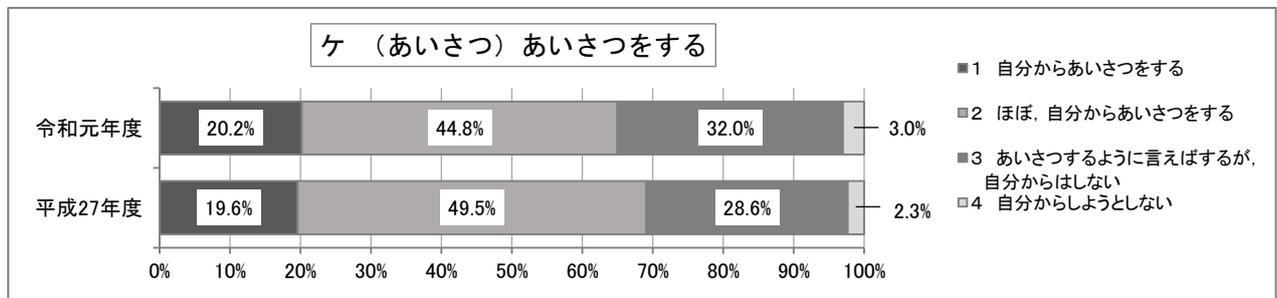
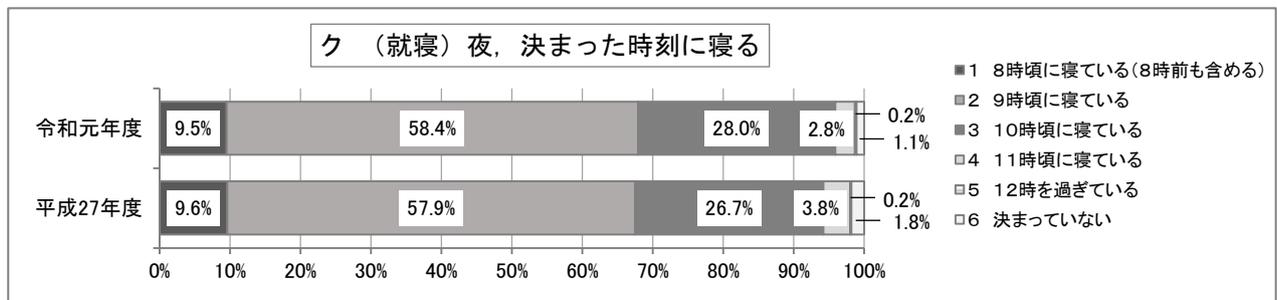
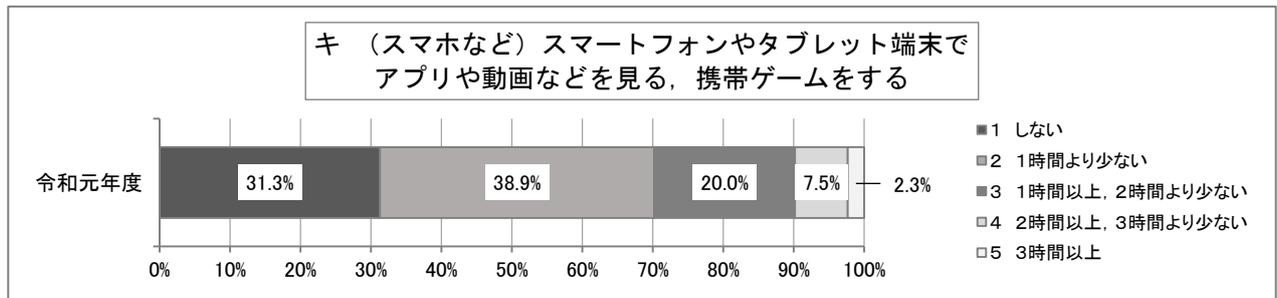
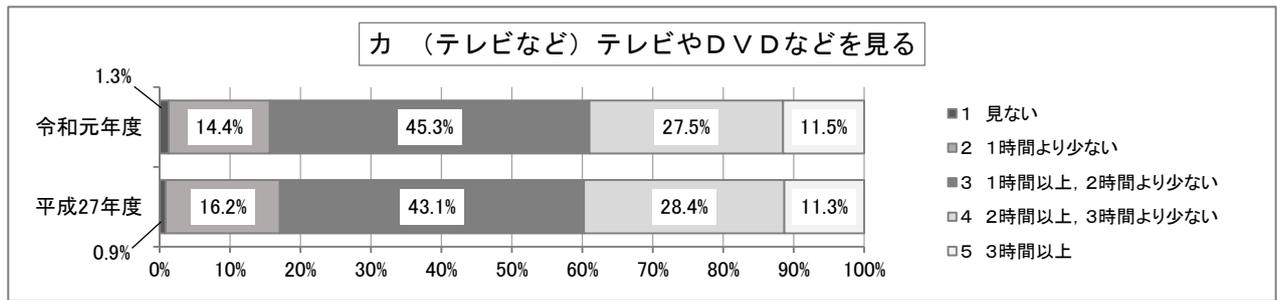
<調査結果>

幼児の育ちの状況について年長児担任と年長児の保護者が「あてはまる」と回答した項目を比較すると、上位3項目のうち1項目（「セ」）、下位3項目のうち2項目（「ソ」「ス」）は共通している。

④ 基本的な生活習慣等の状況

回答者（人数）	年長児の保護者（2,005人）
質問内容	年長児のお子様の生活習慣について、どのような様子が見られますか。次の「ア」から「オ」のそれぞれの項目について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、数字に○をつけてください。





【図4 基本的生活習慣等の状況】

＜調査結果＞

幼児の基本的生活習慣等の状況について、年長児の子供が自分からすると保護者が回答した割合が最も高い項目は「ウ 着脱衣」で、最も低い項目は「コ 整理整頓」であり、平成27年度調査の結果と同様である。また、約85%の年長児が1時間以上テレビを視聴し、約30%の年長児が1時間以上スマートフォンなどでアプリや動画などの視聴や携帯ゲームをしている。

⑤ 幼児の育ちの状況と基本的生活習慣等の状況との関連

保護者が見た幼児の育ちの状況に対する回答（p. 12）と基本的生活習慣等の状況の回答（p. 13-14）についてクロス集計を行った。

図5は次の手順により作成

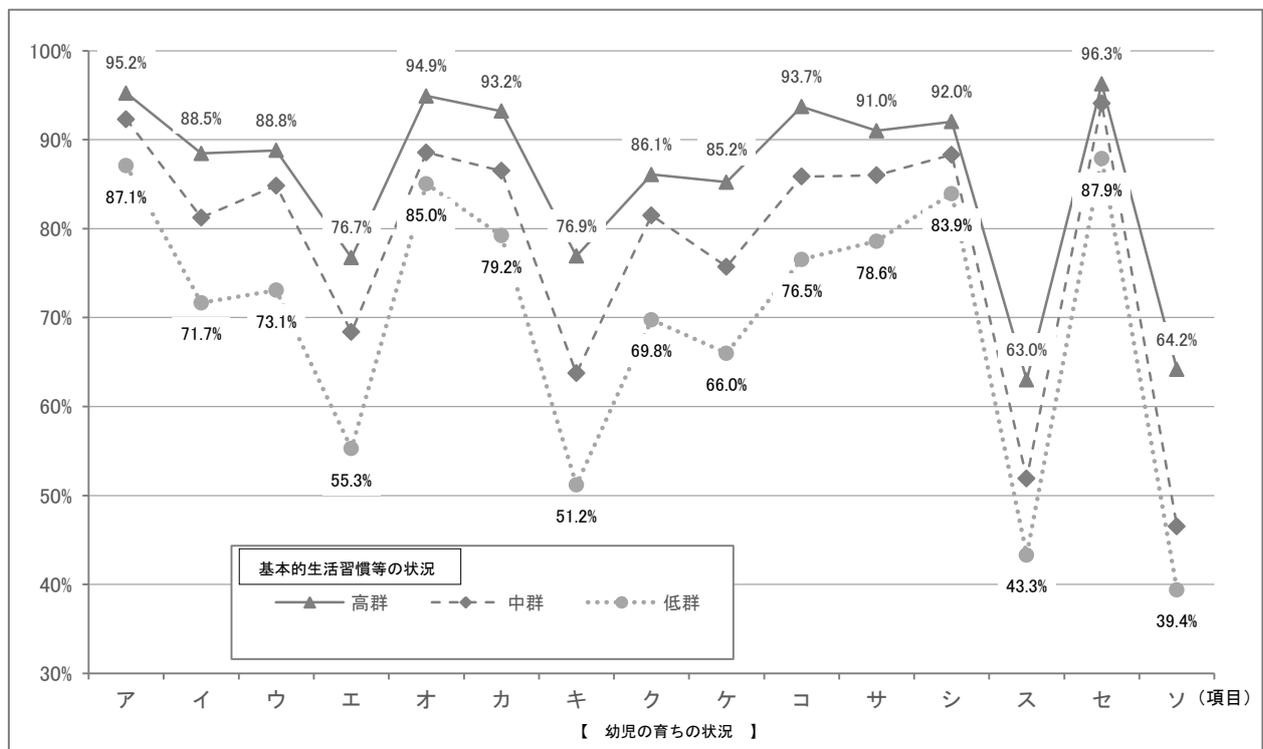
① 幼児の基本的生活習慣等（p. 13-14）の項目ごとの回答を次のとおり得点化し合計点を算出。

選択項目1…4点，選択項目2…3点，選択項目3…2点，選択項目4～6…1点

② 合計点により，全体を「高群」，「中群」，「低群」の3グループに分類。その際，各グループの人数がほぼ均等になるようにした。

「高群」：31～40点…589人，「中群」：27～30点…778人，「低群」：11～26点…635人

③ グループごとに，幼児の育ちの状況について「あてはまる」と回答した割合を示した。



【図5 幼児の育ちの状況と基本的生活習慣等の状況との関連】

<調査結果>

幼児の育ちの状況と基本的生活習慣等の状況との関連について，幼児の基本的生活習慣等の状況が「高群」の保護者は「低群」の保護者と比較して，幼児の育ちの状況の各項目について「あてはまる」と回答した割合が高い。

グループごとの開きが大きい上位3項目は，

「キ 自分の感情を爆発させるのではなく，思ったこと，感じたこと，したいこと，経験したことなどを言葉で伝えたり，相手の思いを聞いたりする」(25.7%)

「ソ 遊んでいるときにいざこざが起きたとき，双方の気持ちを代弁したり，解決への方法を提案したりしている」(24.8%)

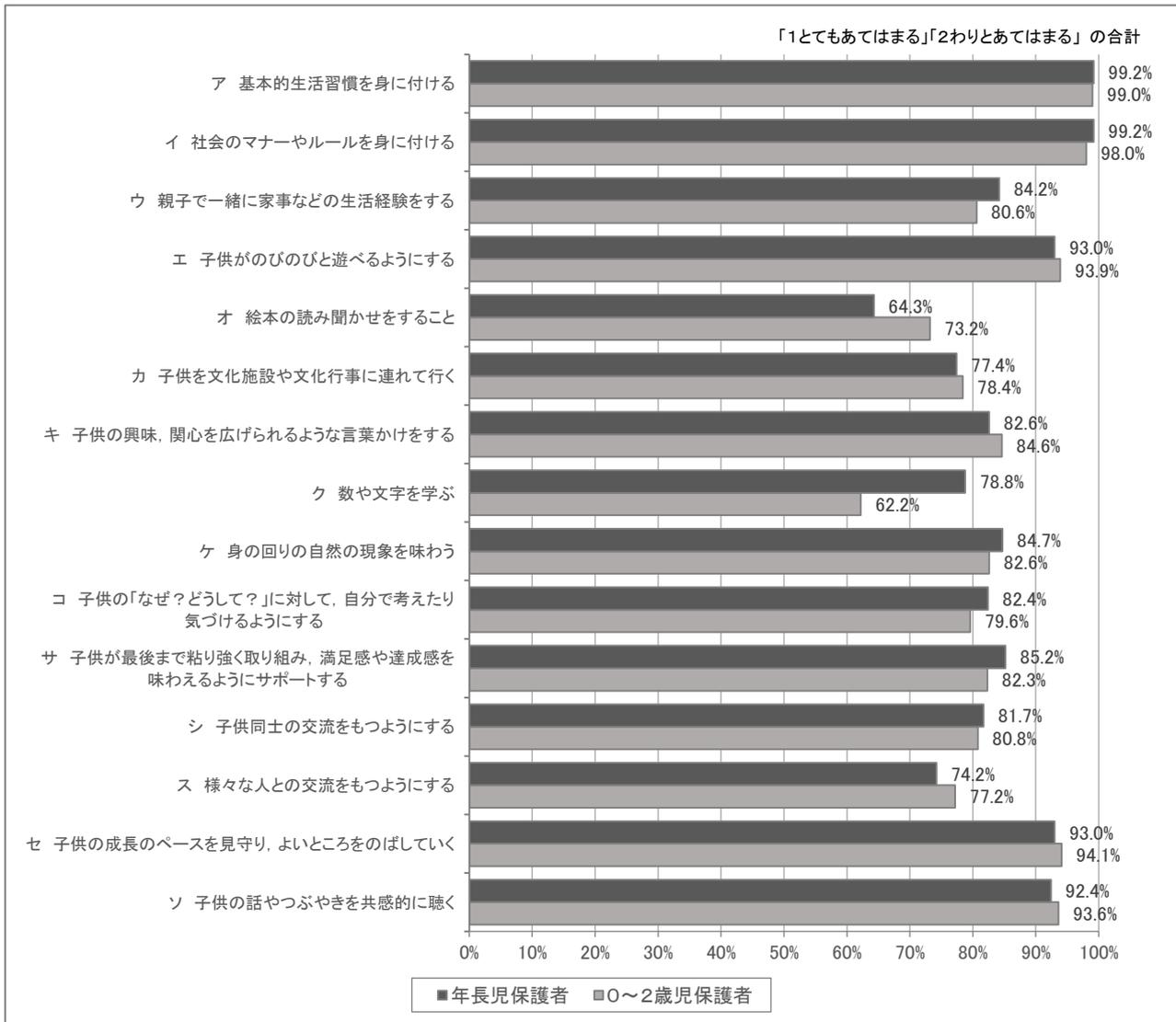
「エ けんかになっても相手の思いも聞いて，一緒に遊びをすすめている」(21.4%)

である。

2 保護者の子育て・家庭教育の状況

① 家庭での心がけ **【新規】** (0～2歳児の保護者)

回答者(人数)	年長児の保護者(2,005人), 0～2歳児の保護者(2,052人)
質問内容	ご家庭での子育てや家庭教育で大切にしていること、心がけていることについてお伺いします。次の「ア」から「ソ」のそれぞれの項目について、「1 とてもあてはまる」から「4 まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選んで、○をつけてください。



【図6 家庭での心がけ】

<調査結果>

家庭での心がけについて、90%以上の年長児・0～2歳児の保護者が「あてはまる」と回答している項目は、「ア 基本的な生活習慣を身に付ける」、「イ 社会のマナーやルールを身に付ける」、「エ 子供がのびのびと遊べるようにする」、「セ 子供の成長のペースを見守り、よいところをのびさせていく」、「ソ 子供の話やつぶやきを共感的に聴く」である。

② 幼児の育ちの状況と家庭での心がけの状況との関連

保護者が見た幼児の育ちの状況に対する回答（p. 12）と家庭での心がけの状況に対する回答（p. 16）についてクロス集計を行った。

図 8 は次の手順により作成

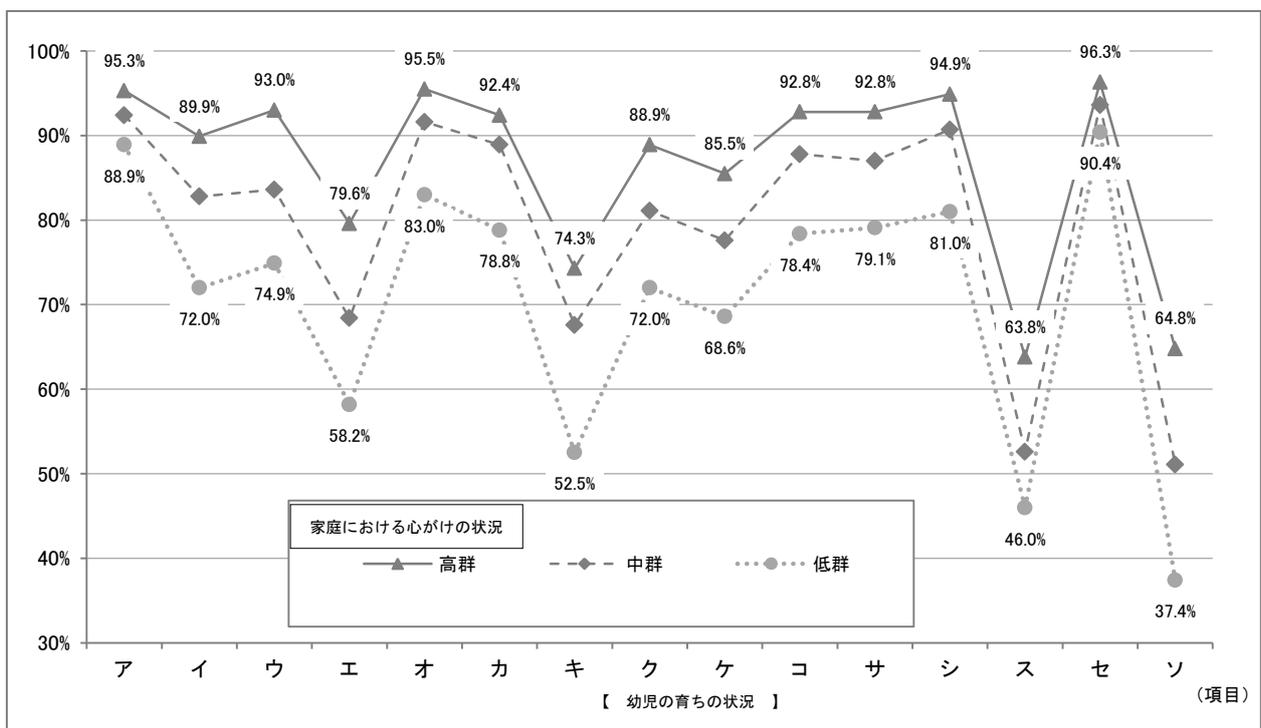
①家庭における心がけ（p. 16）の項目ごとの回答を次のように得点化し合計点を算出。

選択項目 1…3 点， 選択項目 2…2 点， 選択項目 3…1 点， 選択項目 4…0 点

②合計点により，全体を「高群」，「中群」，「低群」の 3 グループに分類。

「高群」：38～45 点…492 人，「中群」：30～37 点…892 人，「低群」：0～29 点…614 人

③グループごとに，「あてはまる」と回答した割合を示した。



【図 7 幼児の育ちの状況と家庭での心がけの状況との関連】

<調査結果>

幼児の育ちの状況と家庭での心がけの状況との関連について，家庭での心がけの状況が「高群」の保護者は「低群」の保護者と比較して，幼児の育ちの状況の各項目について「あてはまる」と回答した割合が高い。

グループごとの開きが大きい上位 3 項目は，

「ソ 遊んでいるときにいざこざが起きたとき，双方の気持ちを代弁したり，解決への方法を提案したりしている」(27.4%)

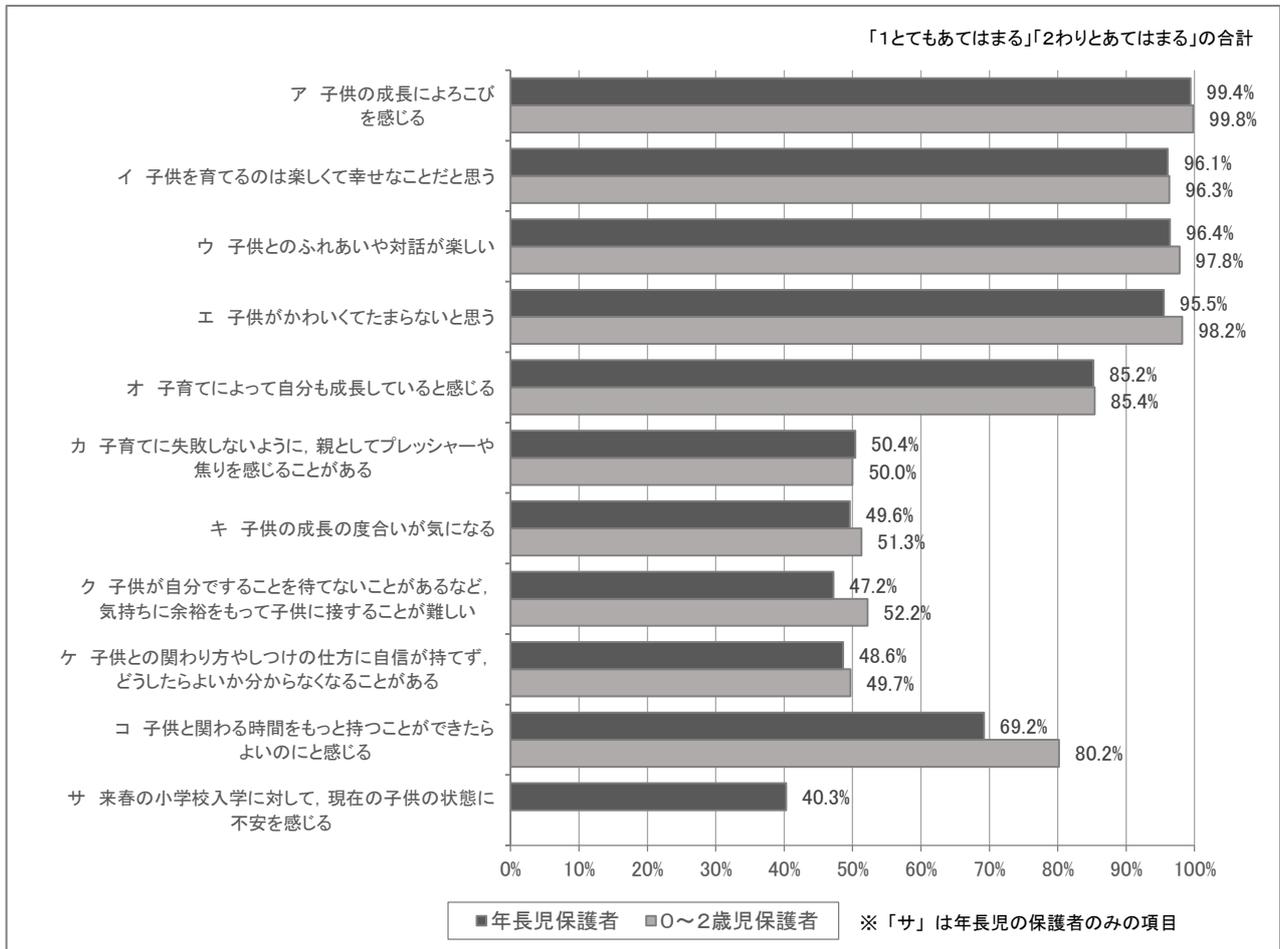
「キ 自分の感情を爆発させるのではなく，思ったこと，感じたこと，したいこと，経験したことなどを言葉で伝えたり，相手の思いを聞いたりする」(21.8%)

「エ けんかになっても相手の思いも聞いて，一緒に遊びをすすめている」(21.4%)

である。

③ 子育てで感じていること **【新規】** (0～2歳児の保護者)

回答者（人数）	年長児の保護者（2,005人），0～2歳児の保護者（2,052人）
質問内容	子供を育てていてよかったと思うこと，負担に思うことや悩みについて，次の「ア」から「サ」のそれぞれの項目について，「1 とてもあてはまる」から「4 まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選んで，○をつけてください。



【図8 子育てで感じていること】

<調査結果>

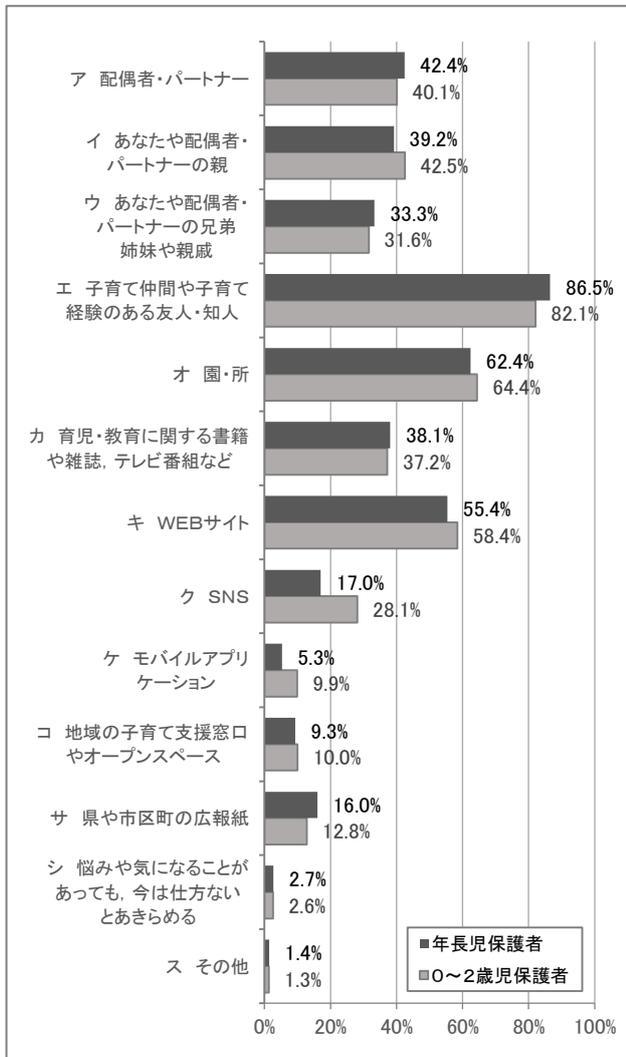
子供を育てていてよかったと思うこと，負担に思うことや悩みについて，年長児・0～2歳児ともに99%以上の保護者が「ア 子供の成長に喜びを感じる」と回答している。

また，年長児・0～2歳児ともに95%以上の保護者が「イ 子供を育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」と回答している一方で，50%以上の保護者が「カ 子育てに失敗しないように，親としてプレッシャーや焦りを感じることもある」と回答している。

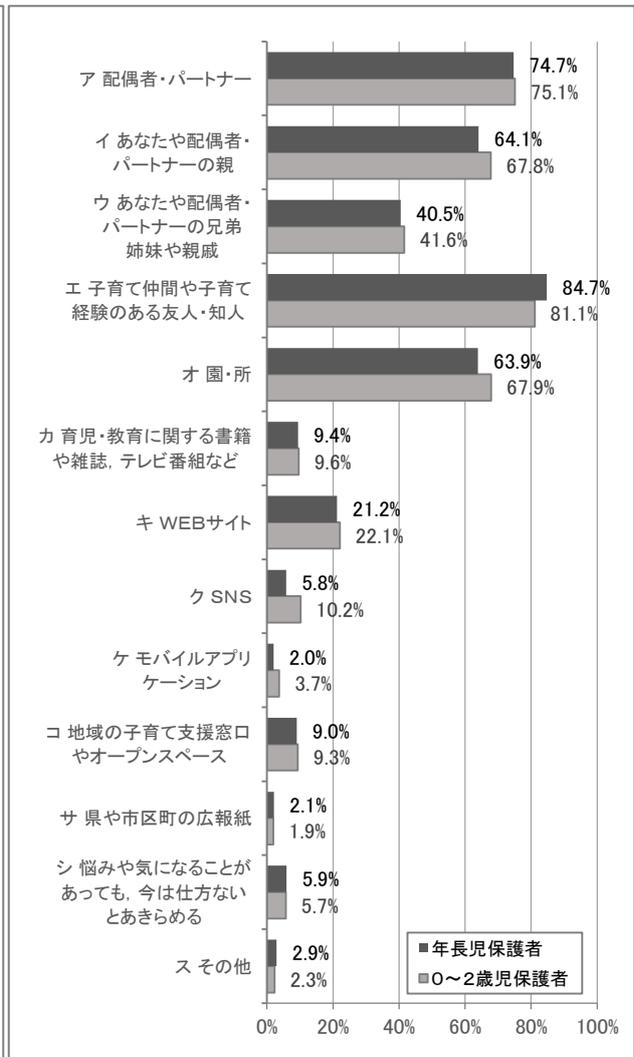
④ 子育てや家庭教育に関する情報の入手方法及び悩みや気になることの相談方法

【新規】(0~2歳児の保護者)

回答者(人数)	年長児の保護者(2,005人), 0~2歳児の保護者(2,052人)
質問内容	誰から、または、どのような方法で情報を入手したり、相談したりしていますか。「情報の入手方法」と「悩みや気になることの相談方法」について、特にあてはまるものをそれぞれ5つまで選んで、○をつけてください。



【図9 情報の入手方法】



【図10 悩みや気になることの相談方法】

<調査結果>

【子育てや家庭教育に関する情報の入手方法】

特にあてはまることの上位3項目は、年長児・0~2歳児の保護者ともに「エ 子育て仲間や子育て経験のある友人・知人」、「オ 園・所」、「キ WEBサイト」である。

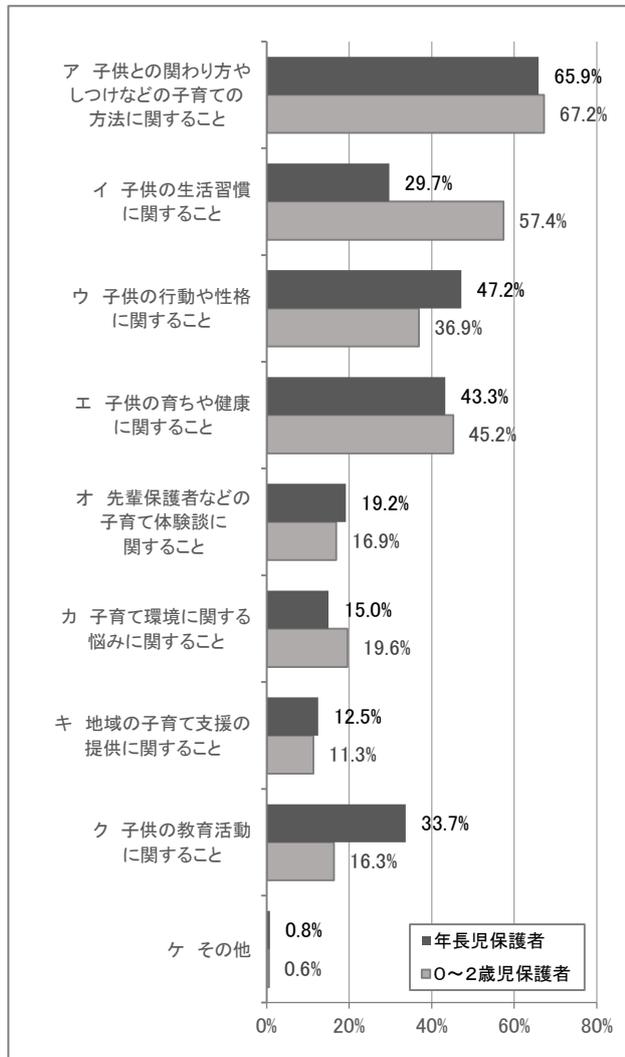
【子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談方法】

特にあてはまることの上位3項目は、年長児の保護者では、「エ 子育て仲間や子育て経験のある友人・知人」、「ア 配偶者・パートナー」、「イ あなたや配偶者・パートナーの親」、0~2歳児の保護者では「エ 子育て仲間や子育て経験のある友人・知人」、「ア 配偶者・パートナー」、「オ 園・所」であり、2項目(「エ」「ア」)は共通している。

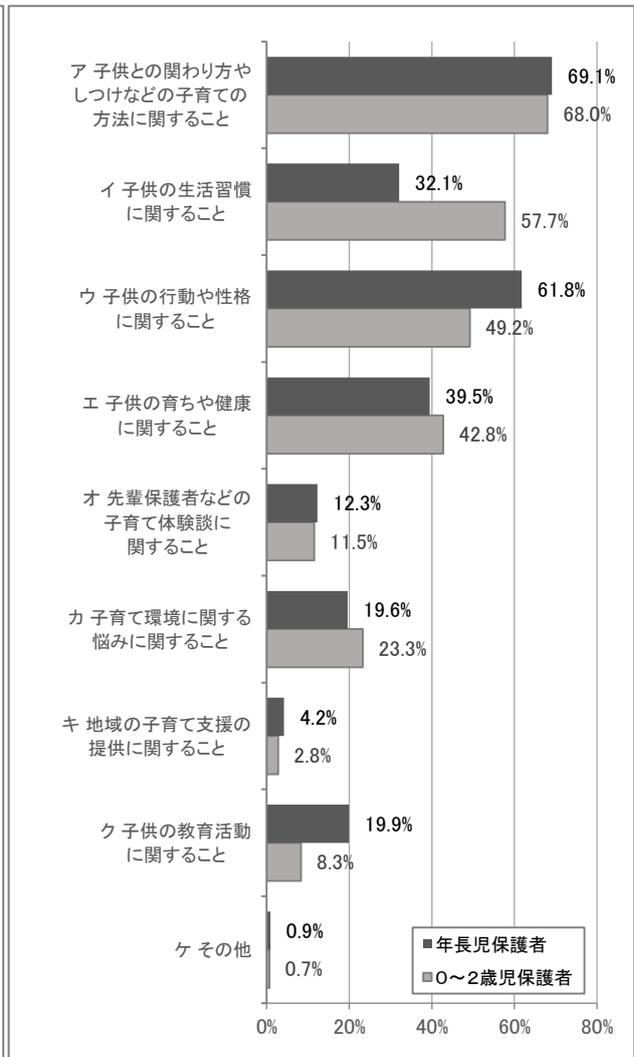
⑤ 子育てや家庭教育に関する情報の入手内容及び悩みや気になることの相談内容

【新規】(0~2歳児の保護者)

回答者(人数)	年長児の保護者(2,005人), 0~2歳児の保護者(2,052人)
質問内容	主にどのような内容の情報を入手したり, 相談していますか。「入手する情報の内容」と「悩みや気になることの相談内容」について, 特にあてはまるものをそれぞれ3つまで選んで, Oをつけてください。



【図11 情報の入手内容】



【図12 悩みや気になることの相談内容】

<調査結果>

【子育てや家庭教育に関する情報の入手内容】

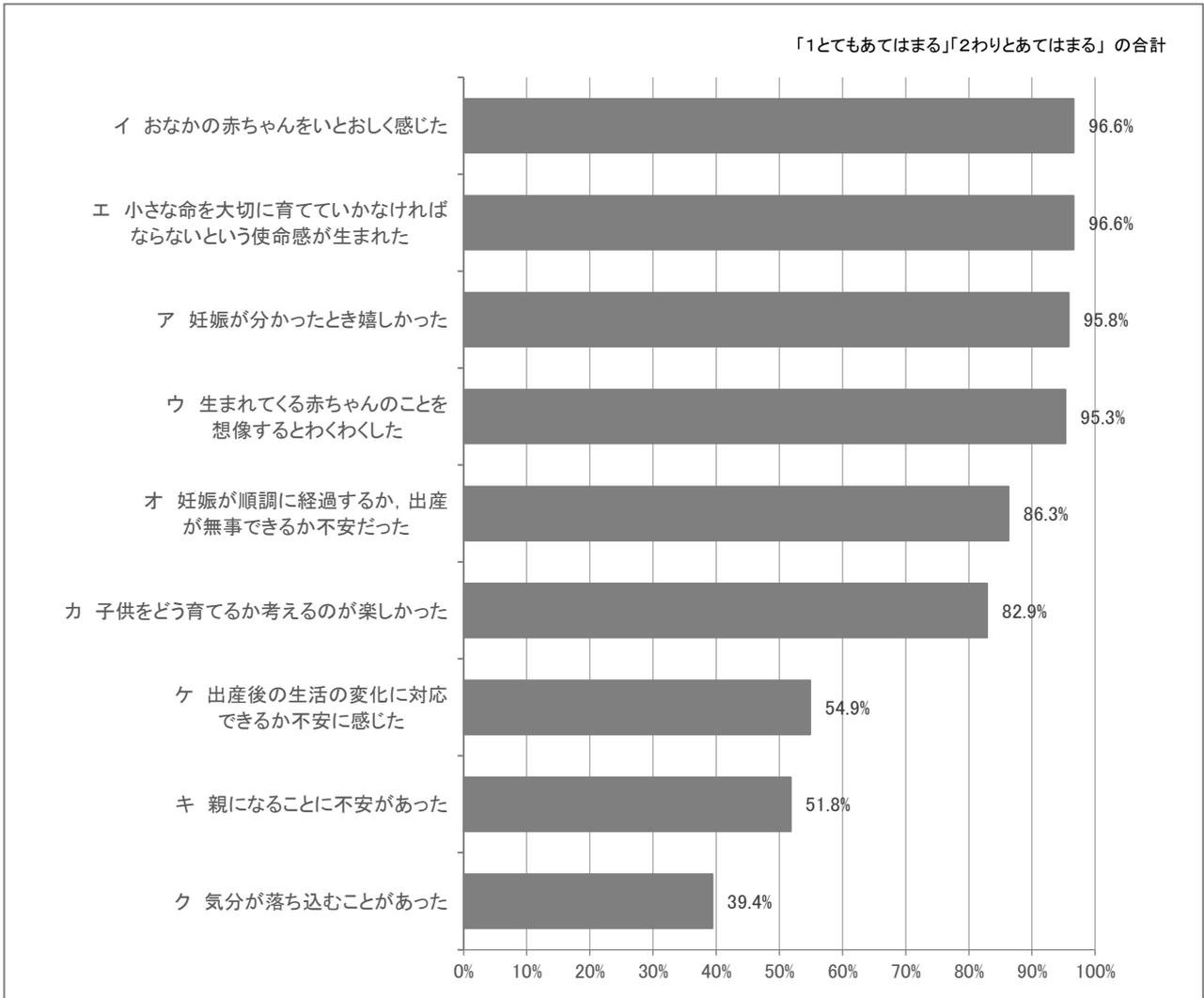
特にあてはまることの上位3項目は, 年長児の保護者では「ア」, 「ウ」, 「エ」, 0~2歳児の保護者では「ア」, 「イ」, 「エ」であり, 2項目(「ア」「エ」)は共通している

【子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談内容】

特にあてはまることの上位3項目は, 年長児の保護者では「ア」, 「ウ」, 「エ」, 0~2歳児の保護者では「ア」, 「イ」, 「ウ」であり, 2項目(「ア」「ウ」)は共通している。

⑥ 妊娠期の気持ち **【新規】**

回答者（人数）	0～2歳児の保護者（2,052人）
質問内容	あなたの第1子の妊娠期（出産前）を振り返って、当時どのような気持ちでしたか。次の「ア」から「ケ」のそれぞれの項目について、「1 とてもあてはまる」から「4 まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選んで、○をつけてください。



【図13 妊娠期の気持ち】

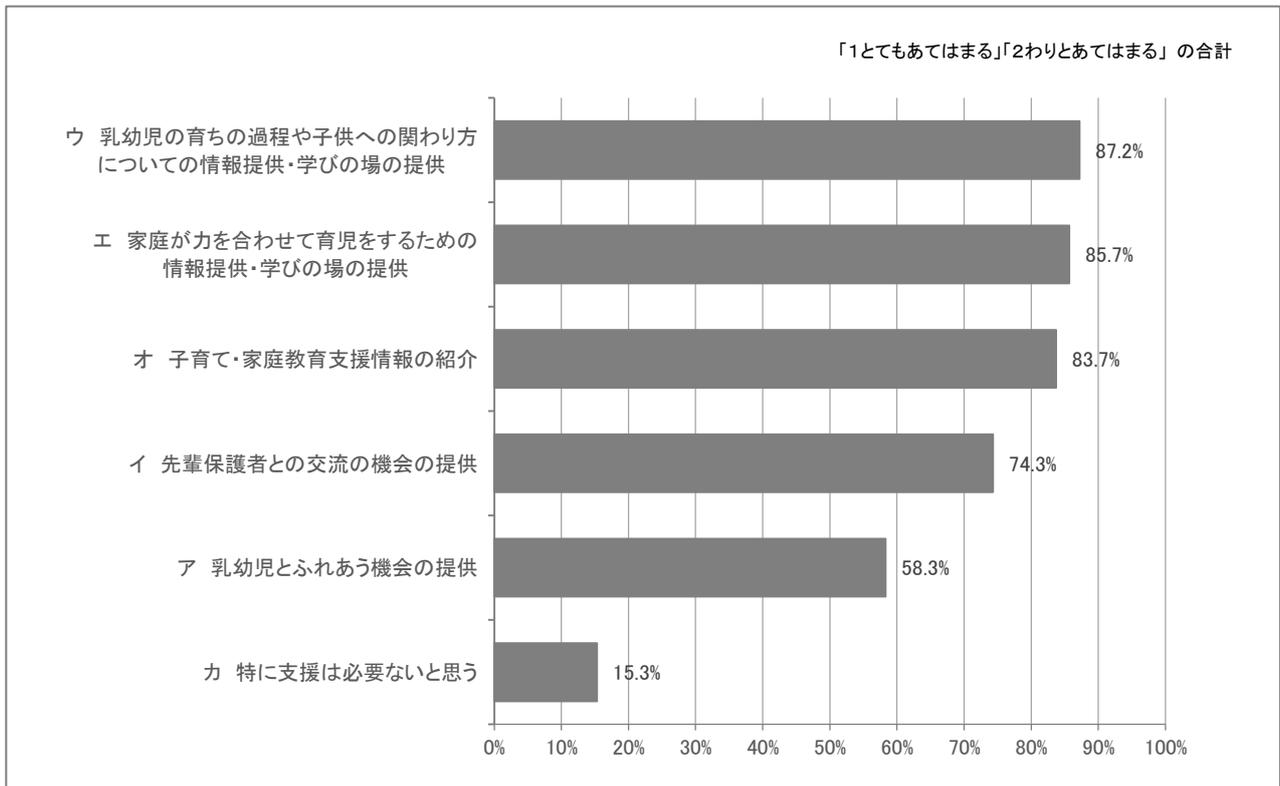
<調査結果>

妊娠期の気持ちを振り返って、96.6%の0～2歳児の保護者が「イ おなかの赤ちゃんをいとおしく感じた」、「エ 小さな命を大切に育てていかなければならないという使命感が生まれた」と回答している。

また、80%以上の保護者が「カ 子供をどう育てるか考えるのが楽しかった」と回答している一方で、50%以上の保護者が「キ 親になることに不安があった」と回答している。

⑦ 妊娠中に期待する子育て支援 **【新規】**

回答者（人数）	0～2歳児の保護者（2,052人）
質問内容	出産予定の家庭（妊娠期の家庭）に対して、出産後の子育てに備えたどのような支援があればよいと思いますか。次の「ア」から「カ」のそれぞれの項目について、「1 とてもあてはまる」から「4 まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選んで、○をつけてください。



【図14 妊娠中に期待する子育て支援】

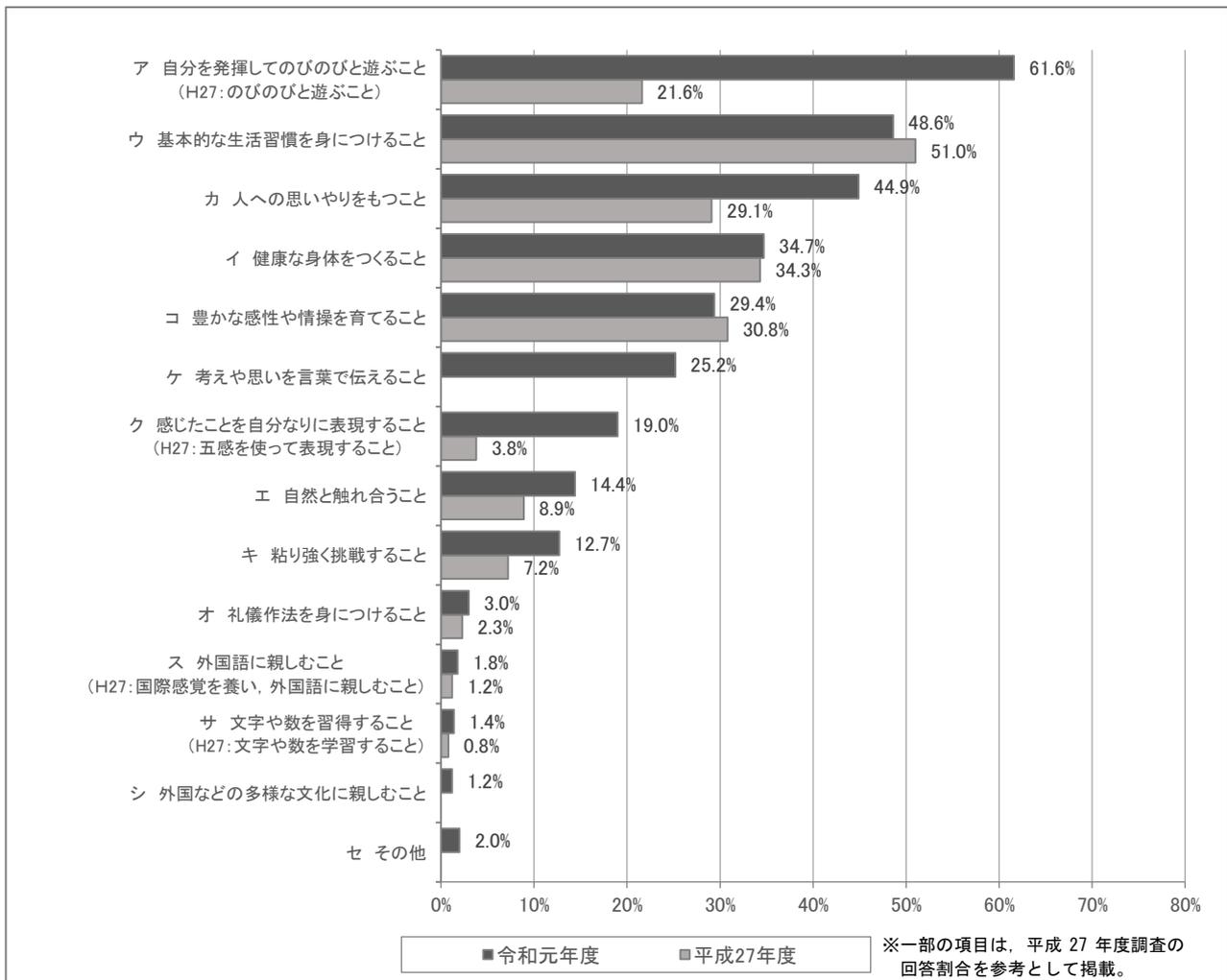
<調査結果>

妊娠中に期待する支援について、0～2歳児の保護者が回答した上位3項目は「ウ 乳幼児の育ちの過程や子供への関わり方についての情報提供・学びの場の提供」、「エ 家庭が力を合わせて育児するための情報提供・学びの場の提供」、「オ 子育て・家庭教育支援情報の紹介」である。

3 園・所における教育・保育

① 特に重視して取り組んでいること

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所で、乳幼児に対して、重視して取り組んでいることは何ですか。次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで、○を記入してください。



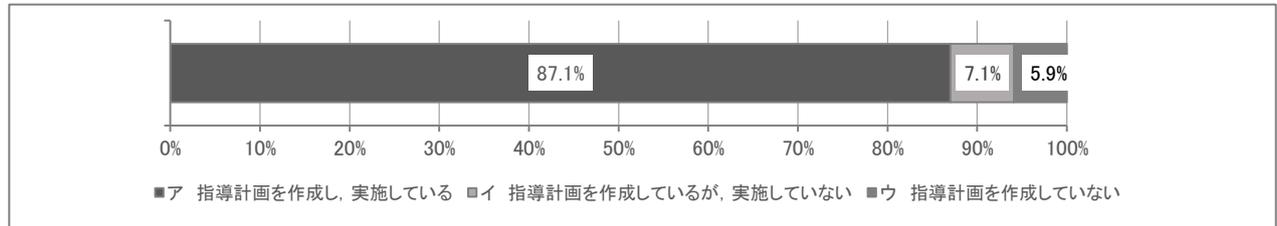
【図15 特に重視して取り組んでいること】

<調査結果>

園・所が乳幼児に対して特に重視して取り組んでいることについて、園長・所長が回答した上位3項目は、「ア 自分を発揮してのびのびと遊ぶこと」、「ウ 基本的な生活習慣を身につけること」、「カ 人への思いやりをもつこと」である。

② 主体性、遊び込む時間や環境を考慮した指導計画の作成、実施状況 **【新規】**

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、乳幼児が主体性を発揮し、自らの興味・関心に基づいて、じっくりと遊び込むための時間や遊びの環境が用意された指導計画を作成し、実施していますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで、○を記入してください。



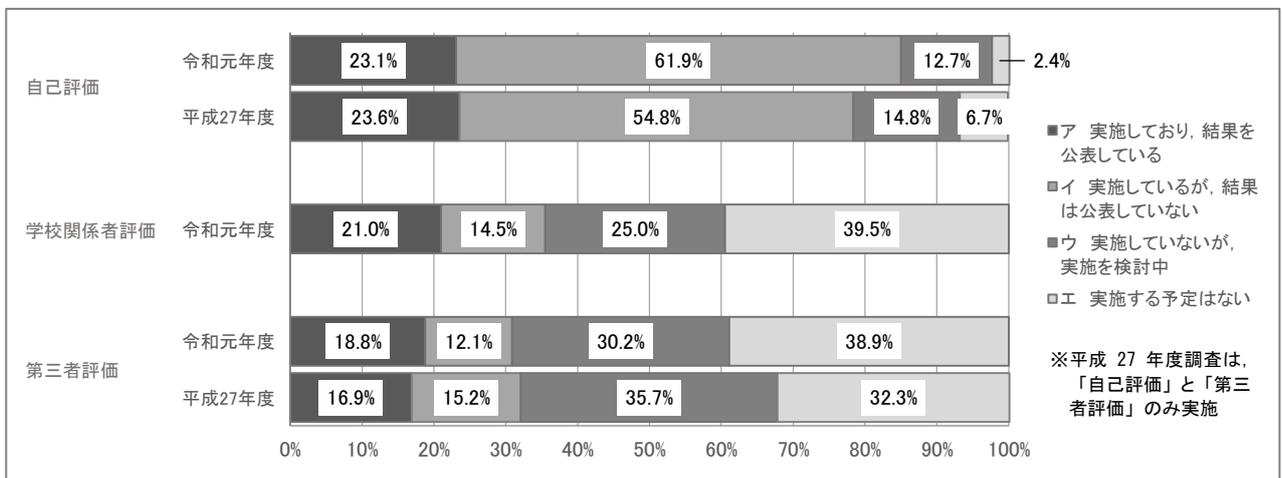
【図16 主体性、遊び込む時間や環境を考慮した指導計画の作成、実施状況】

<調査結果>

主体性、遊び込む時間や環境を考慮した指導計画の作成、実施状況について、87.1%の園長・所長が「ア 作成し、実施している」と回答している。

③ 評価の実施状況

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、自己評価や外部評価を実施していますか。それぞれの評価について、実施状況としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○を記入してください。



【図17 評価の実施状況】

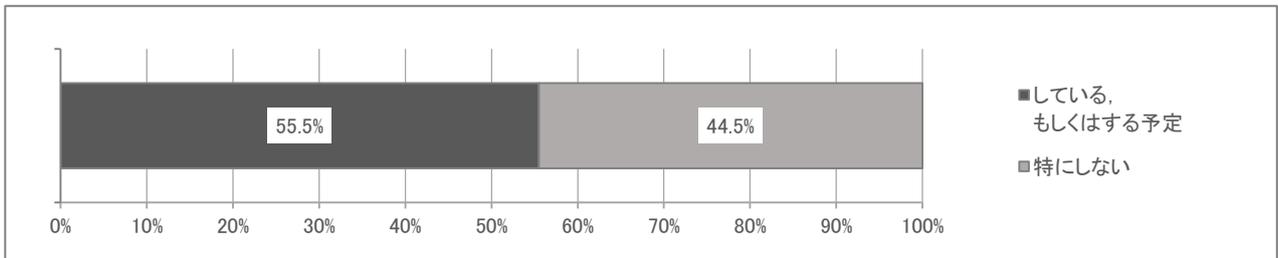
<調査結果>

評価の実施状況について、園長・所長が「実施している（「ア」「イ」の合計）」と回答した割合は、自己評価85.0%、学校関係者評価35.5%、第三者評価30.9%である。平成27年度調査と比較して、自己評価は6.6ポイント増加し、第三者評価は1.2ポイント減少している。

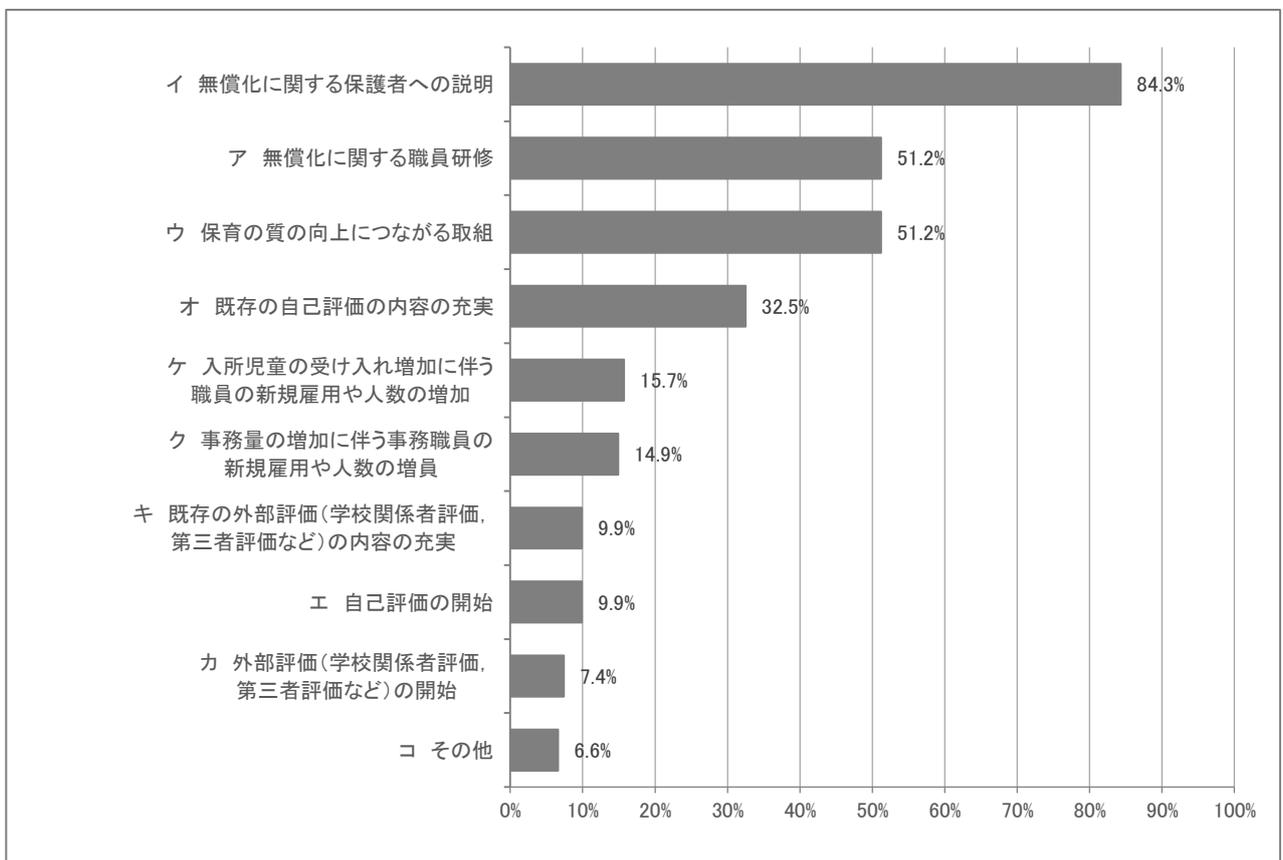
- 自己評価 …教育・保育の内容や運営について、職員全体で行う評価（学校教育法施行規則 39 条・66 条・68 条、保育所保育指針等）
- 学校関係者評価 …保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価（学校教育法施行規則 39 条・67 条・68 条）
- 第三者評価 …国の評価基準ガイドラインを踏まえて都道府県推進組織が定めた評価基準に沿って行う都道府県推進組織の認証を受けた第三者評価機関が行う評価（社会福祉法第 78 条）

④ 無償化に関する新たな取組 **【新規】**

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、幼児教育・保育の無償化に関わって、今年度、新たな取組をしていますか、もしくはする予定ですか。取組の有無について、○を記入し、「している、もしくはする予定」の場合は、「ア」から「コ」の項目についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図18 無償化に関する新たな取組の有無】



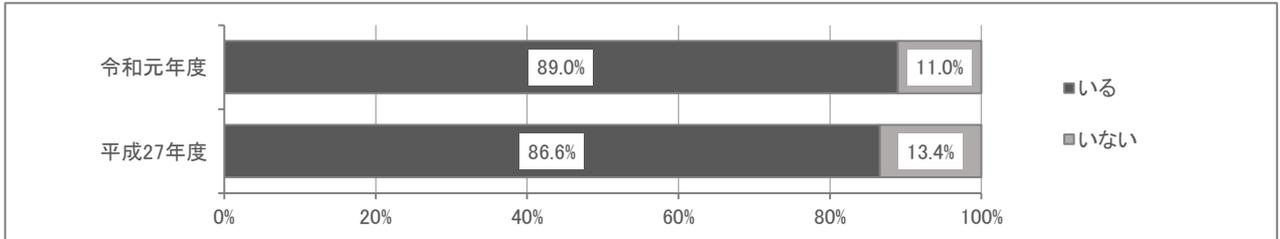
【図19 無償化に関する新たな取組内容】

<調査結果>

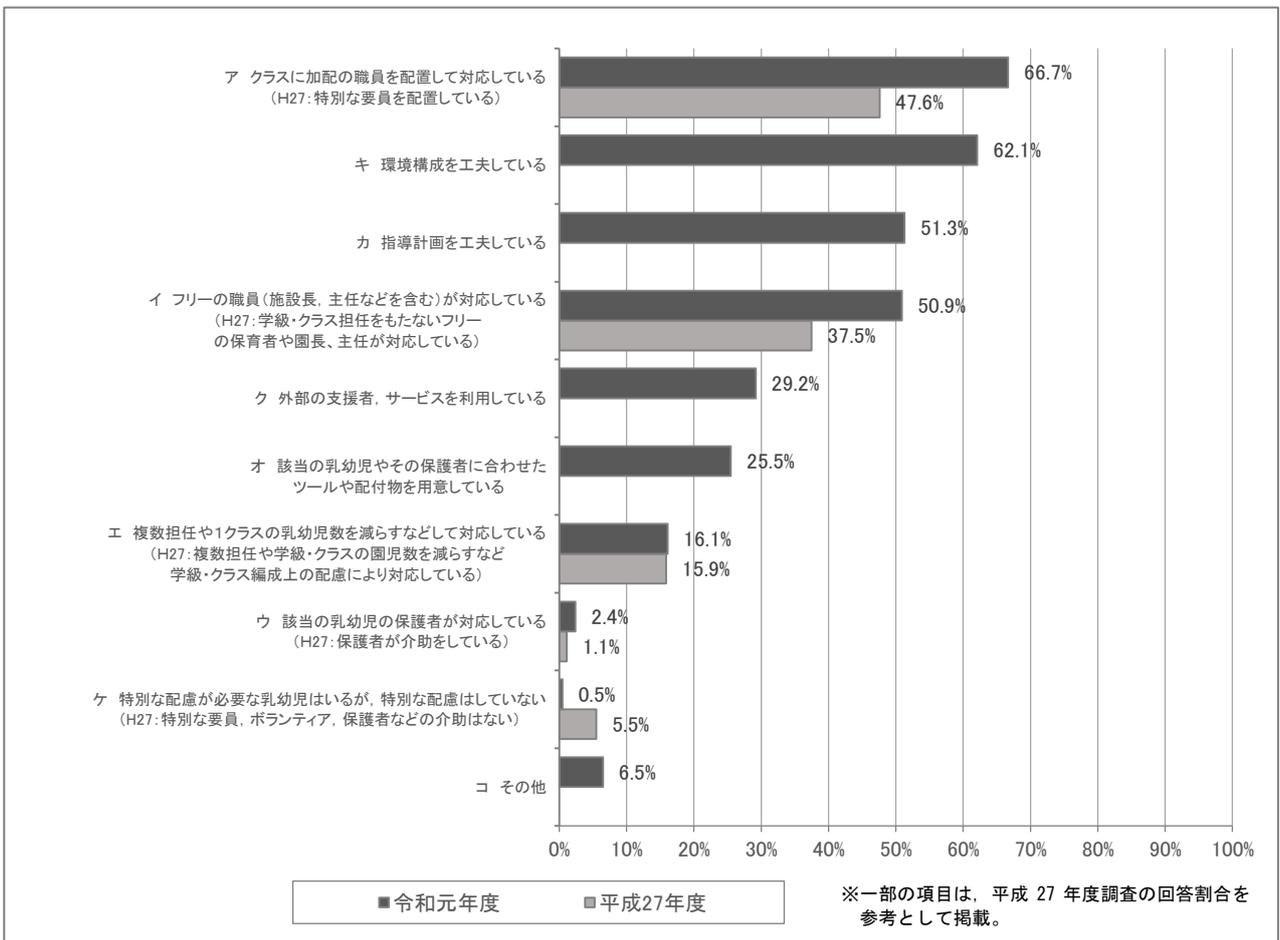
無償化に関する新たな取組について、55.5%の園長・所長が「している、もしくはする予定」と回答している。その取組内容の上位3項目は、「イ 無償化に関する保護者への説明」、「ア 無償化に関する職員研修」、「ウ 保育の質の向上につながる取組」である。

⑤ 特別な配慮を要する乳幼児の有無と配慮内容

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、特別な配慮が必要な乳幼児（障害やその疑いがある乳幼児や、海外からの帰国や外国籍などで日本語習得が困難な乳幼児）がいますか。対象の乳幼児がいるかないかについて、○を記入し、「いる」の場合は、「ア」から「コ」の項目についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図20 特別な配慮を要する乳幼児の有無】



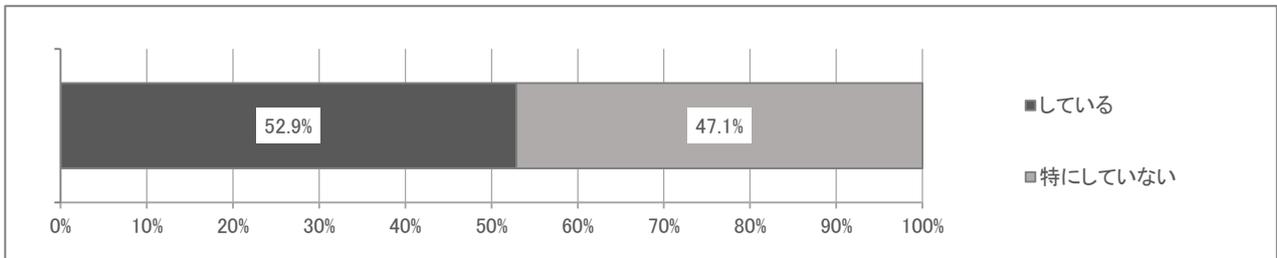
【図21 特別な配慮を要する乳幼児への配慮内容】

<調査結果>

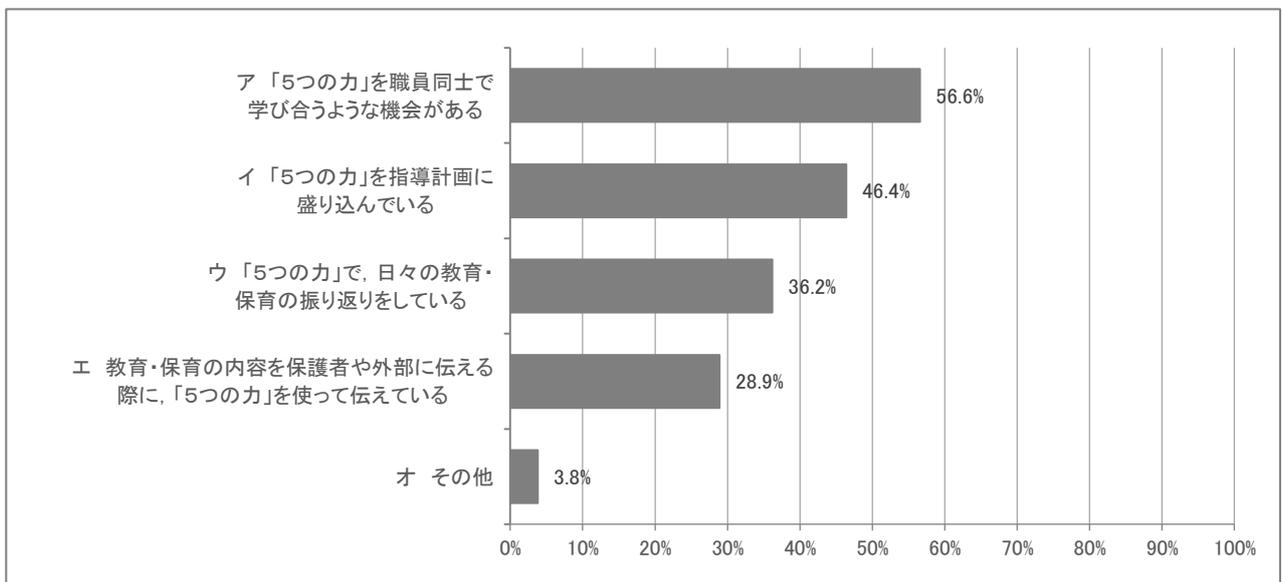
特別な配慮を要する乳幼児について、89.0%の園長・所長が「いる」と回答しており、平成27年度調査と比較して2.4ポイント増加している。その配慮内容の上位3項目は、「ア クラスに加配の職員を配置して対応している」、「キ 環境構成を工夫している」、「カ 指導計画を工夫している」である。

⑥ プランに掲げる「5つの力」の活用 **【新規】**

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、広島県が策定した『遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プランにある「5つの力」について、教育・保育の取組に活用していますか。活用の有無について、○を記入し、「している」の場合は、「ア」から「オ」の項目についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図22 「5つの力」の活用の有無】



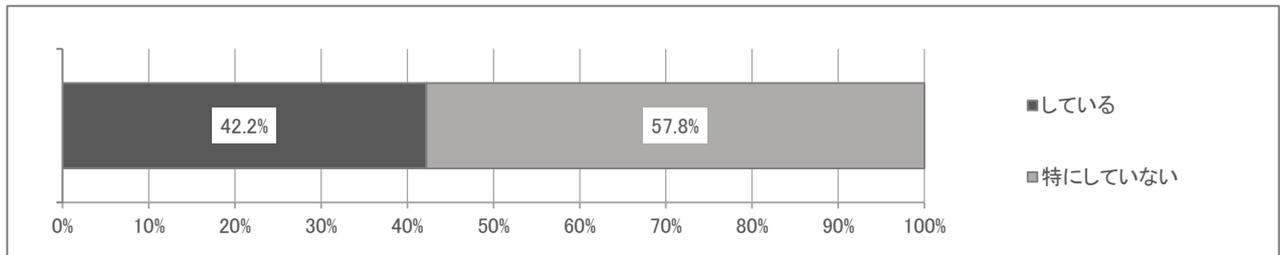
【図23 「5つの力」の活用状況】

<調査結果>

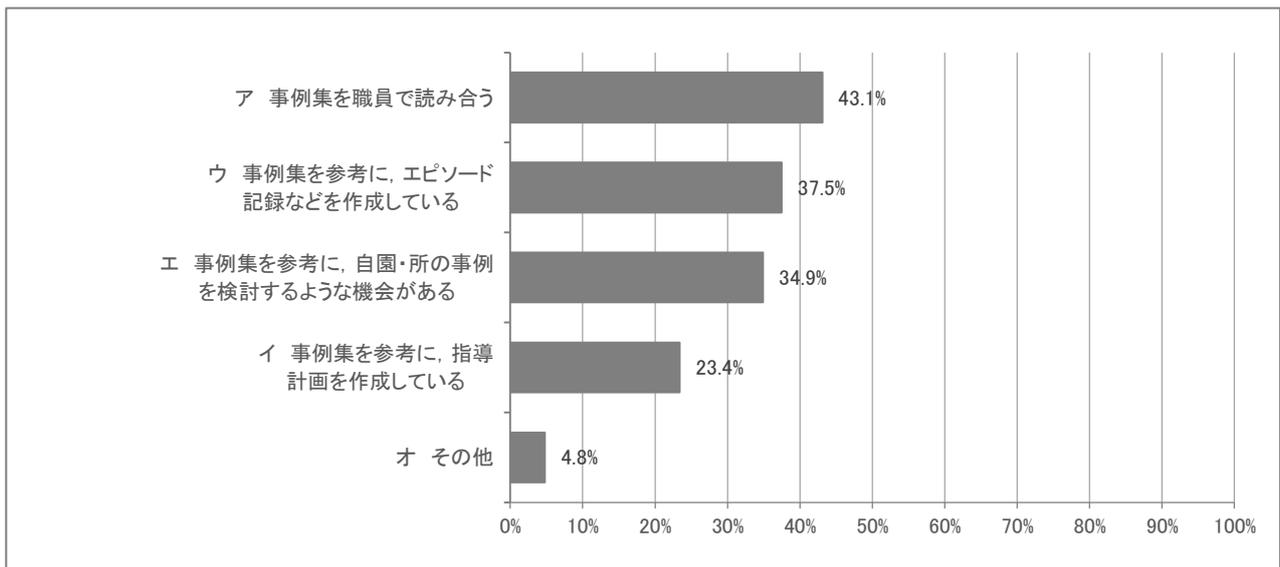
プランに掲げる「5つの力」の活用について、52.9%の園長・所長が「している」と回答している。その活用状況として割合が最も高い項目は、「ア 「5つの力」を職員同士で学び合うような機会がある」である。

⑦ 教育・保育実践事例集の活用 **【新規】**

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、広島県が作成した『遊び 学び 育つひろしまっ子！』教育・保育実践事例集について、教育・保育の取組に活用していますか。活用の有無について、○を記入し、「している」の場合は、「ア」から「オ」の項目についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図24 教育・保育実践事例集の活用の有無】



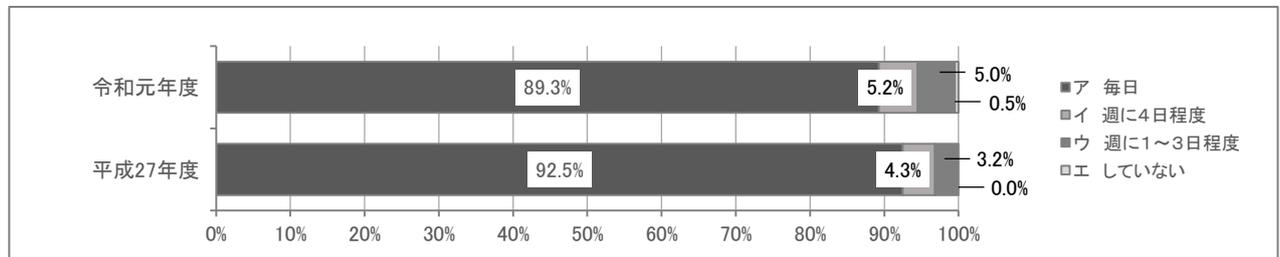
【図25 教育・保育実践事例集の活用状況】

<調査結果>

教育・保育実践事例集の活用について、42.2%の園長・所長が「している」と回答している。その活用状況として割合が最も高い項目は、「ア 事例集を職員で読み合う」である。

⑧ 絵本などの読み聞かせの実施状況

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、平日1週間（月～金の5日間）あたり、どの程度絵本や物語などの読み聞かせをしていますか。（ただし、土曜日及び行事のある日など特別な場合は除く。）あてはまるものを1つ選んで、○を記入してください。



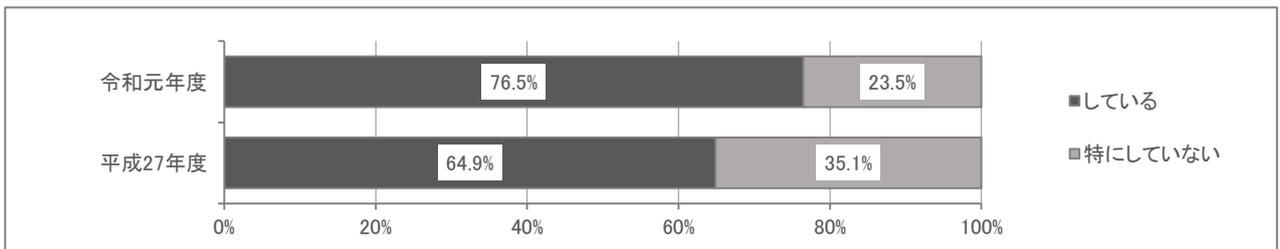
【図26 絵本などの読み聞かせの実施状況】

<調査結果>

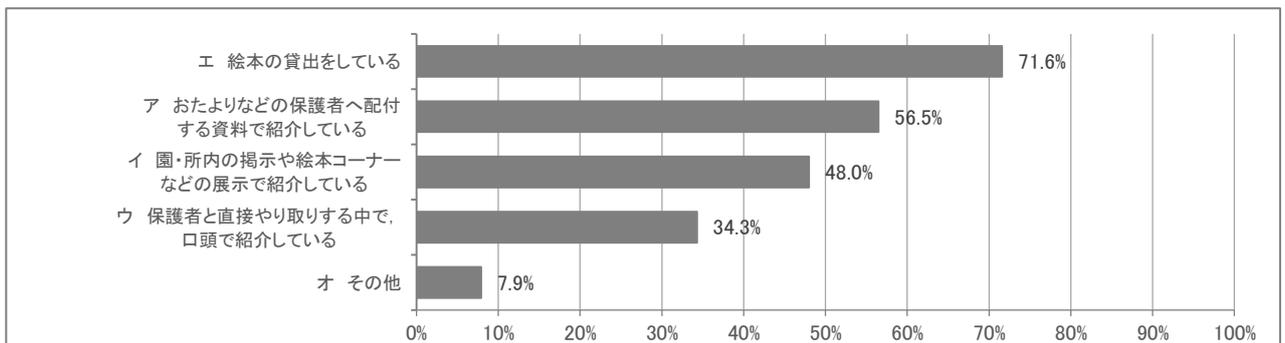
絵本などの読み聞かせについて、89.3%の園長・所長が「ア 毎日」と回答しており、平成27年度調査と比較して3.2ポイント減少している。

⑨ 保護者へのおすすめ絵本の紹介

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、保護者へのおすすめの絵本を紹介していますか。紹介の有無について、○を記入し、「している」の場合は、下の内容についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図27 保護者へのおすすめ絵本の紹介の有無】



【図28 保護者へのおすすめ絵本の紹介方法】

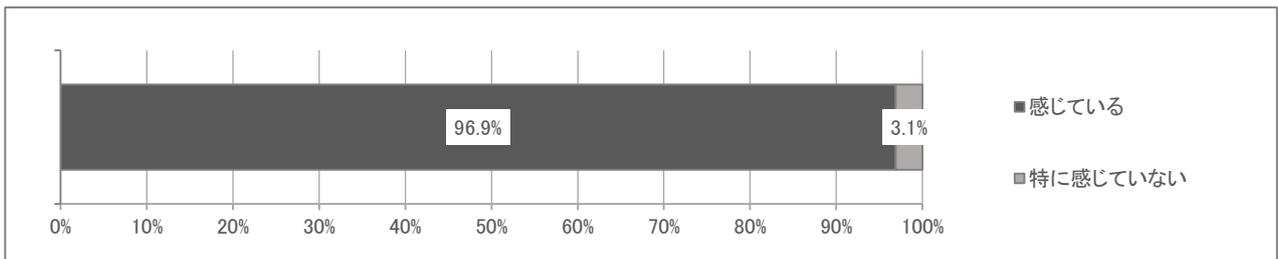
<調査結果>

保護者へのおすすめ絵本の紹介について、76.5%の園長・所長が「している」と回答しており、平成27年度調査と比較して11.6ポイント増加している。その方法として割合が最も高い項目は、「エ 絵本の貸出をしている」である。

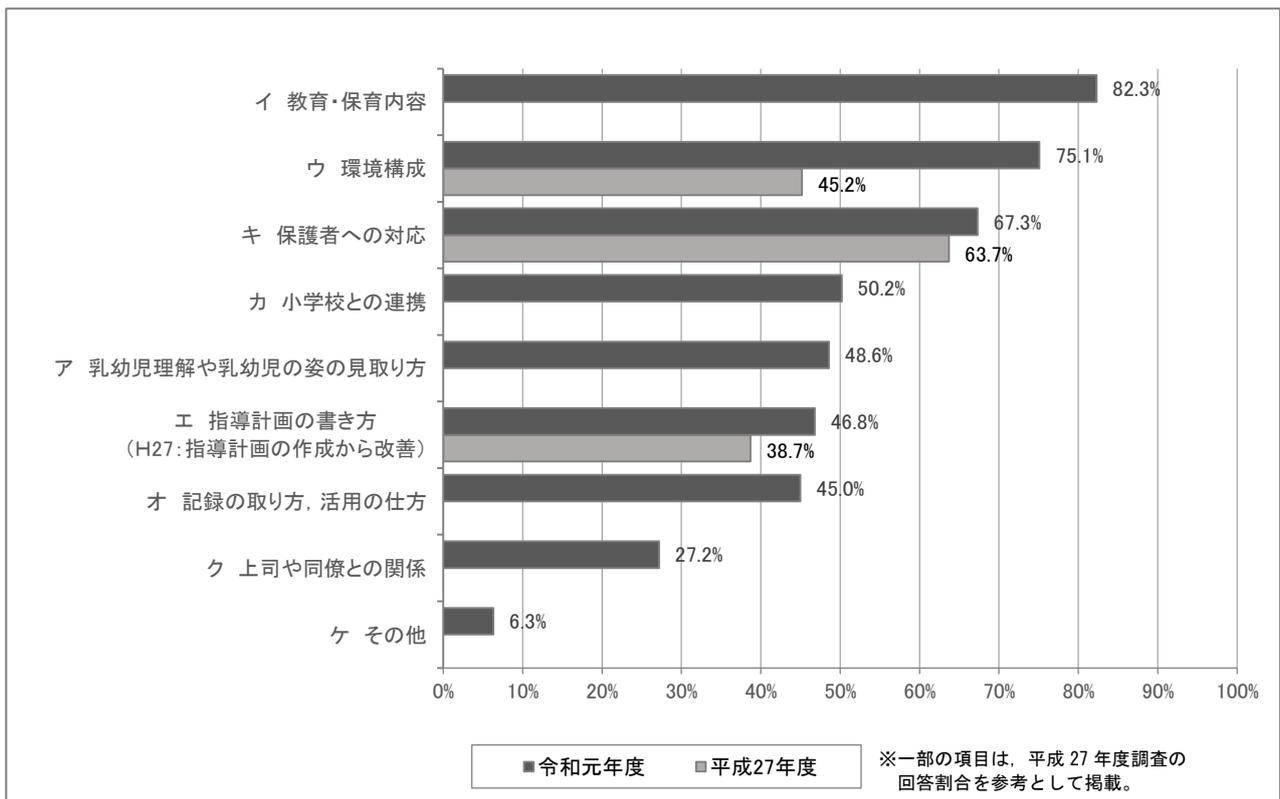
4 資質向上のための取組

① 教育・保育の実践の課題

回答者（人数）	年長児担任（640人）
質問内容	あなたは、日々の教育・保育の実践において、課題を感じていますか。課題の有無について、○を記入し、「感じている」の場合は、「ア」から「ケ」の項目についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図29 実践での課題の有無】



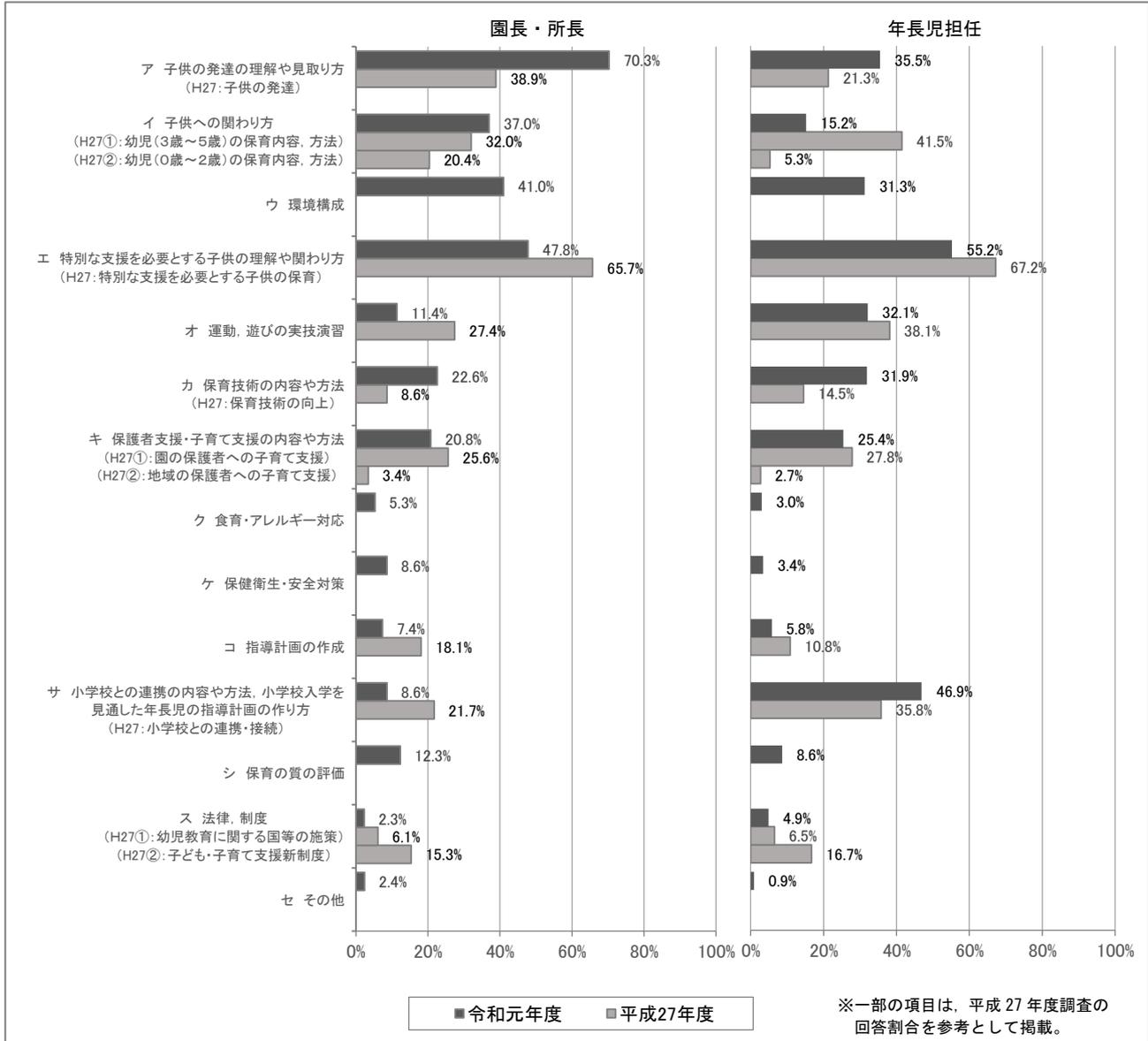
【図30 実践での課題の内容】

<調査結果>

教育・保育の実践の課題について、96.9%の年長児担任が「感じている」と回答している。その課題の内容の上位3項目は、「イ 教育・保育内容」、「ウ 環境構成」、「キ 保護者への対応」である。

② 教員・保育士等に特に必要な研修内容

回答者（人数）	園長・所長（662人），年長児担任（640人）
質問内容	教員・保育士等の資質向上のために，必要な研修内容は何ですか。「ア」から「セ」の項目の中から特にあてはまるものを3つまで選んで，○を記入してください。



【図31 教員・保育士等に特に必要な研修内容（園長・所長一年長児担任比較）】

<調査結果>

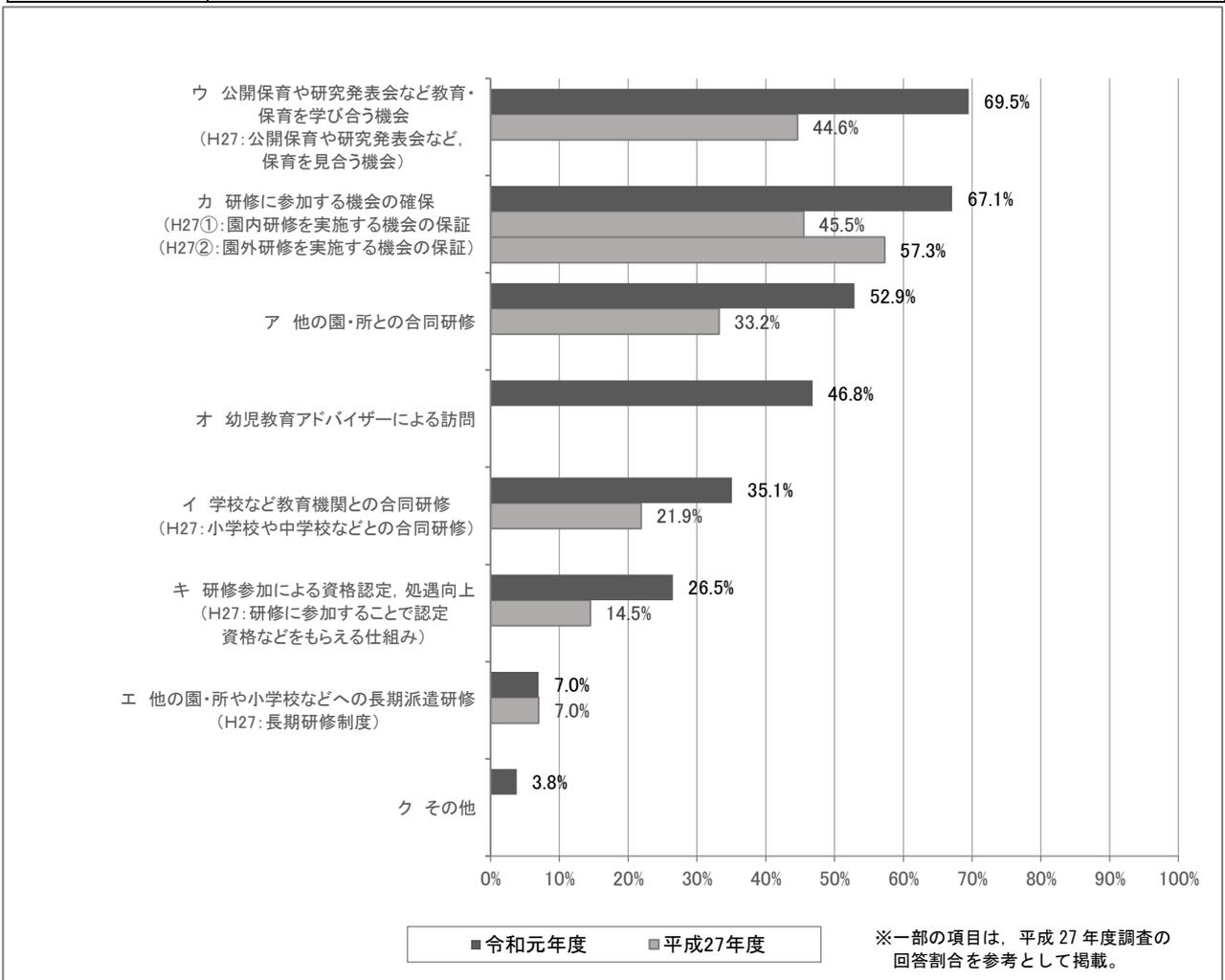
教員・保育士等に特に必要な研修内容について，園長・所長が回答した上位3項目は，「ア」，「エ」，「ウ」である。

年長児担任が回答した上位3項目は，「エ」，「サ」，「ア」である。

園長・所長と年長児担任の回答で，2項目（「ア」，「エ」）は共通している。

③ 研修に関して必要な仕組み

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所の教員・保育士等の資質向上のために必要だと思う研修などに関する仕組みはどのようなものですか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



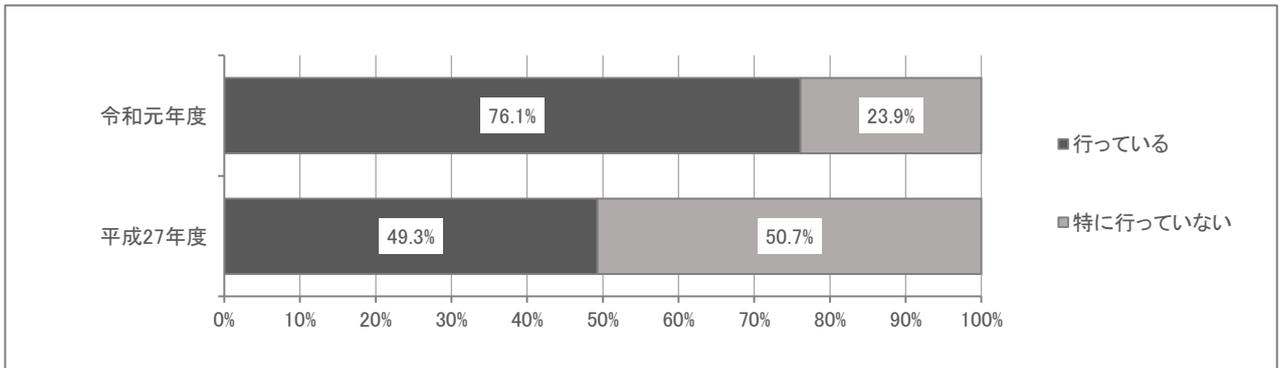
【図32 研修に関して必要な仕組み】

<調査結果>

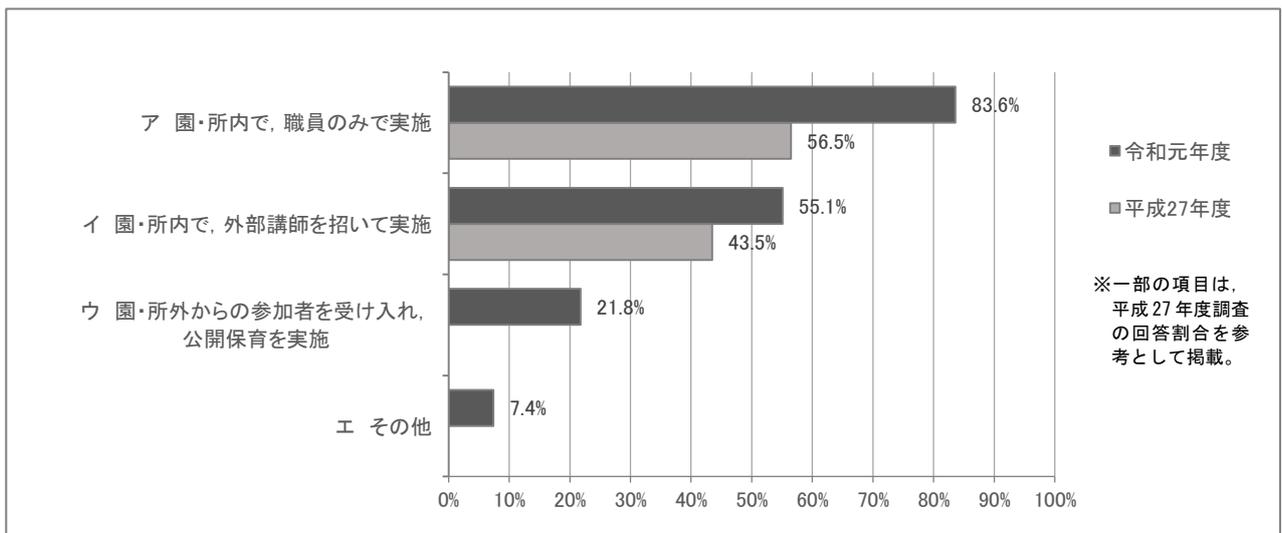
教員・保育士等の資質向上のために必要だと思う研修などに関する仕組みについて、園長・所長が回答した割合が最も高い項目は、「ウ 公開保育や研究発表会など教育・保育を学び合う機会」である。

④ 振り返り学び合う機会

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、教育・保育について、職員が振り返り学び合うような機会（日常的な職員同士のやり取りとは別に設けた研修会や公開保育など）がありますか。機会の有無について、○を記入し、「行っている」の場合は、「ア」から「エ」の項目についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図33 振り返り学び合う機会の有無】



【図34 振り返り学び合う機会の状況】

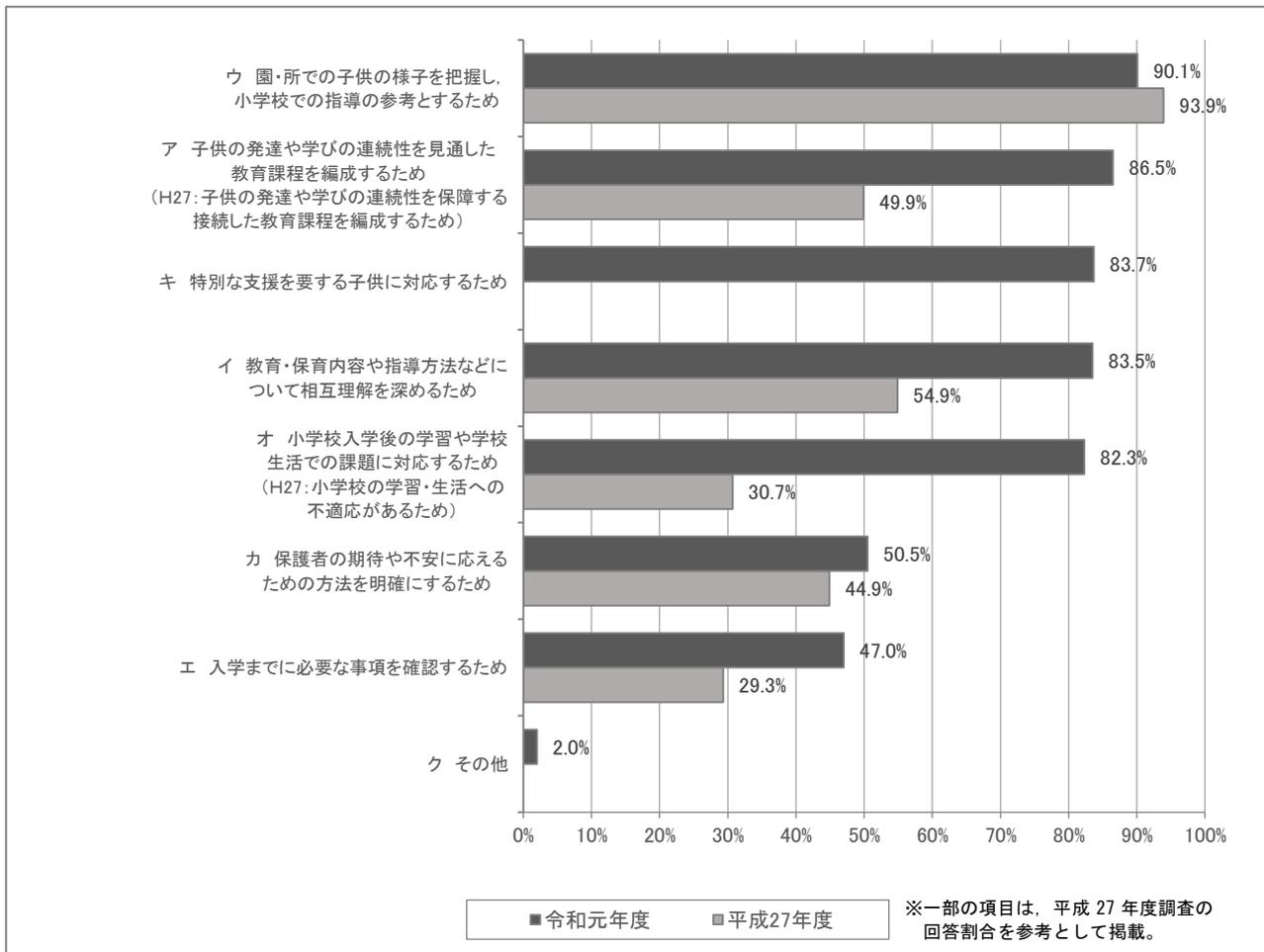
<調査結果>

教育・保育について振り返り学び合う機会について、76.1%の園長・所長が「行っている」と回答しており、平成27年度調査と比較して26.8ポイント増加している。その内容で割合が最も高い項目は、「ア 園・所内で、職員のみで実施」である。

5 接続のための取組

① 幼保小連携・接続の意義

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	貴校では、幼保小連携・接続について、どのような意義があると思いますか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



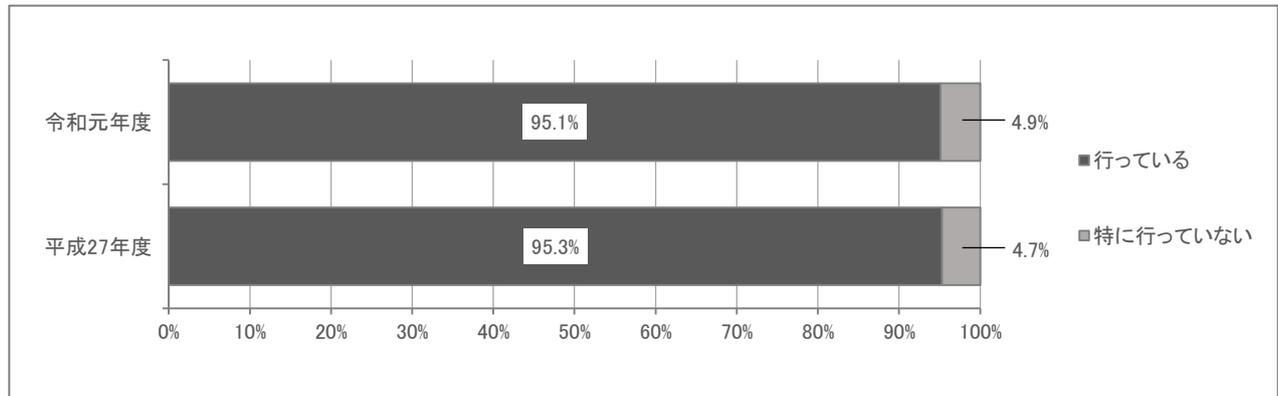
【図35 幼保小連携・接続の意義】

<調査結果>

幼保小連携・接続の意義について、90.1%の校長が「ウ 園・所での子供の様子を把握し、小学校での指導の参考とするため」と回答している。

② 園・所の連携・接続の取組状況

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、小学校との連携・接続の取組を行っていますか。取組の有無について、○を記入してください。



【図36 園・所の連携・接続の取組状況】

<調査結果>

園・所の連携・接続の取組状況について、95.1%の園長・所長が「行っている」と回答しており、平成27年度調査と比較して0.2ポイント減少している。

③ 小学校の連携・接続の取組状況

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	貴校の幼保小連携・接続の取組はどのような状況ですか。取組の状況について、○を記入してください。

【表1 小学校の連携・接続の取組状況】

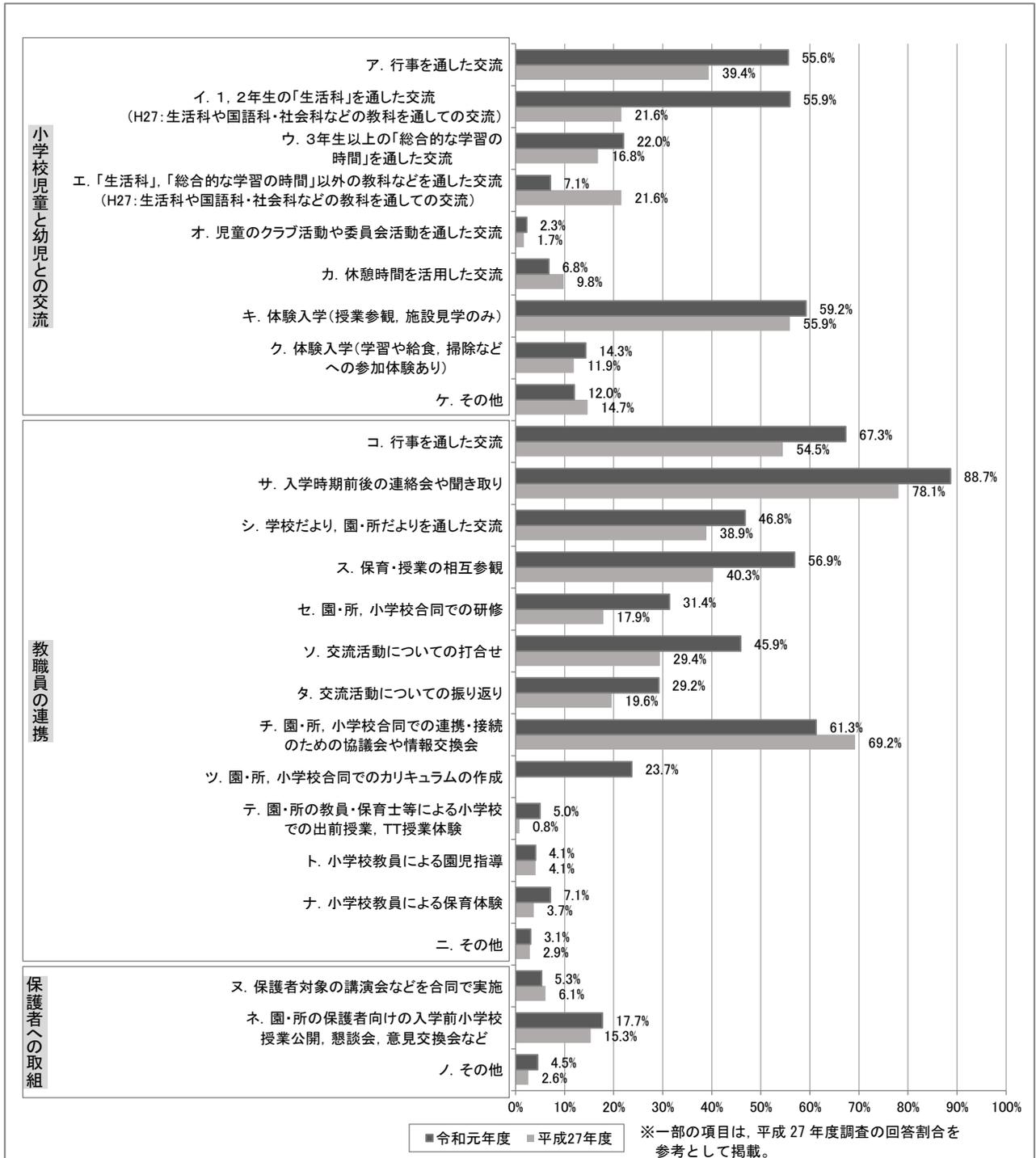
ステップ	取組状況	回答割合
0	連携の予定・計画がまだない。	2.5%
1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。	3.5%
2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。	56.2%
3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている。	30.7%
4	接続を見通して編成・実施された教育課程について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。	7.2%

<調査結果>

小学校の連携・接続の取組状況について、56.2%の校長が「ステップ2」と回答している。

④ 園・所の連携・接続の取組内容

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所の小学校との連携・接続の取組内容について、「ア」から「ノ」の項目の中からあてはまるものを全て選んで○を記入してください。



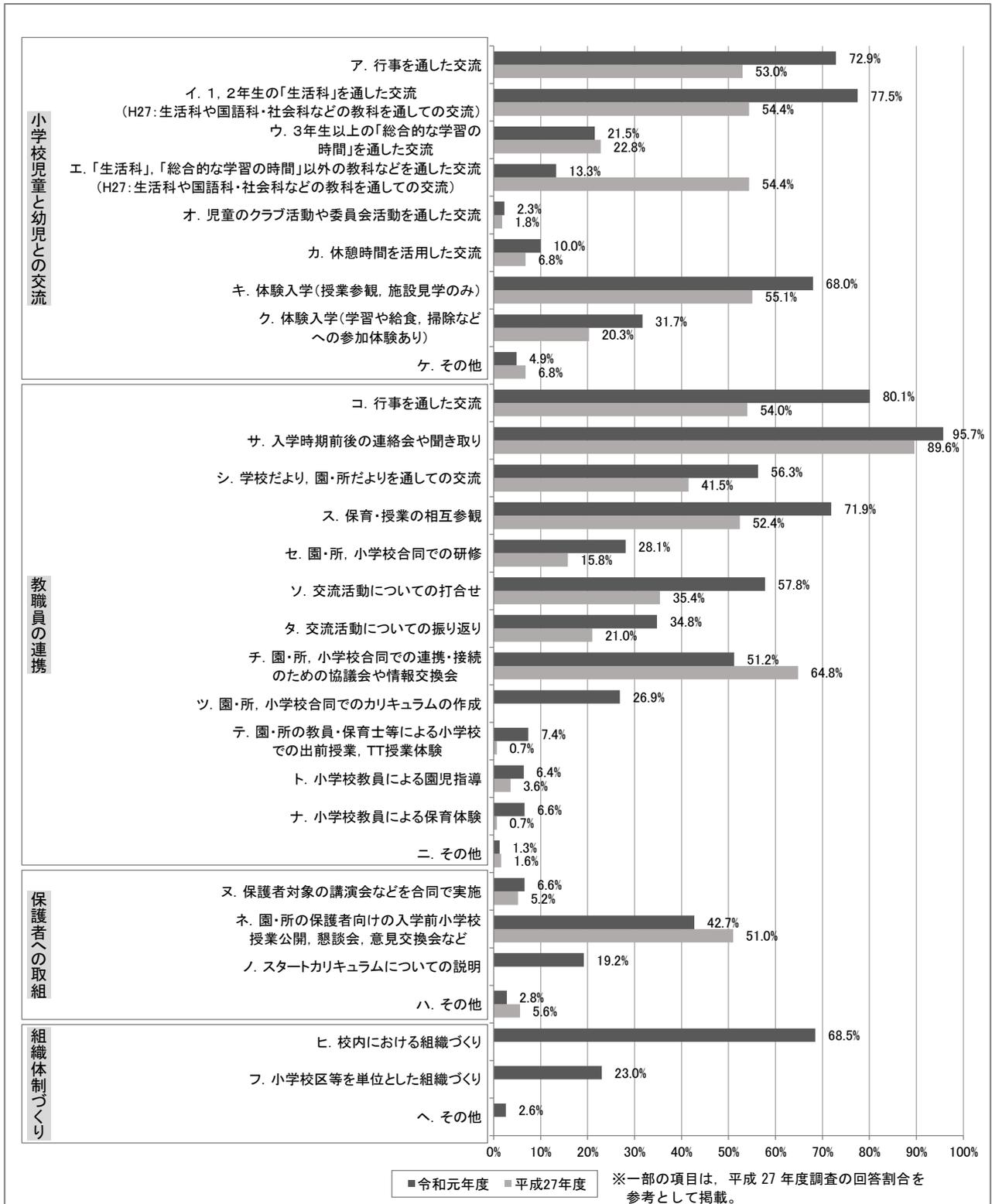
【図37 園・所の連携・接続の取組内容】

<調査結果>

園・所の連携・接続の取組内容について、園長・所長が回答した割合が最も高い項目は、児童と幼児の交流では「キ 体験入学（授業参観，施設見学のみ）」，教職員の連携では「サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り」，保護者への取組では「ネ 園・所の保護者向けの入学前小学校授業公開，懇談会，意見交換会など」である。

⑤ 小学校の連携・接続の取組内容

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	貴校の幼保小連携・接続の取組内容について、「ア」から「ヘ」の項目の中からあてはまるものを全て選んで○を記入してください。



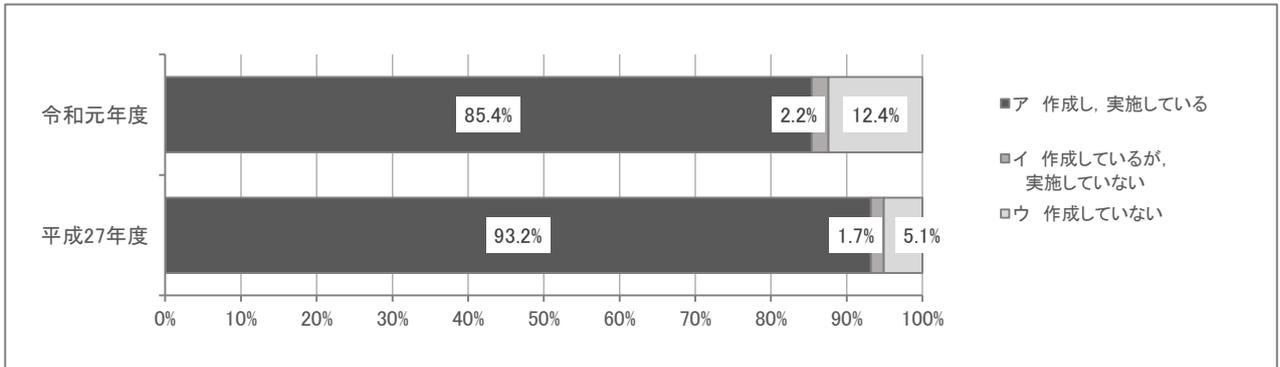
【図38 小学校の連携・接続の取組内容】

<調査結果>

小学校の連携・接続の取組内容について、校長が回答した割合が最も高い項目は、児童と幼児の交流では「イ 1, 2年生の「生活科」を通じた交流」、教職員の連携では「サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り」、保護者への取組では「ネ 園・所の保護者向けの入学前小学校授業公開, 懇談会, 意見交換会など」、組織体制づくりでは「ヒ 校内における組織づくり」である。

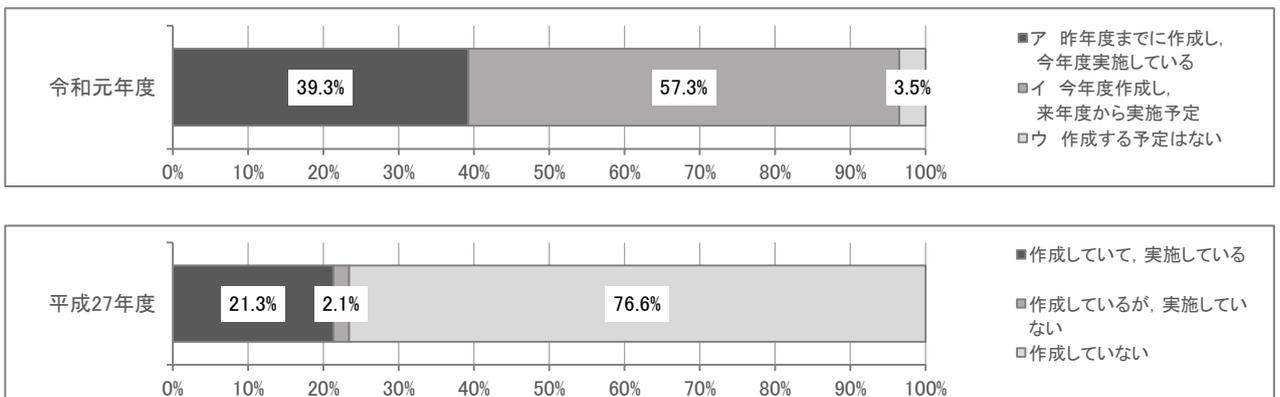
⑥ 接続カリキュラムの作成・実施状況

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、小学校入学を見通した年長児の指導計画を作成、実施していますか。「ア」から「ウ」の項目の中からあてはまるものを1つ選んで、○を記入してください。



【図39 小学校入学を見通した年長児の指導計画の作成・実施状況】

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	貴校では、スタートカリキュラムを作成、実施していますか。「ア」から「ウ」の項目の中からあてはまるものを1つ選んで、○を記入してください。



【図40 スタートカリキュラム作成・実施状況】

<調査結果>

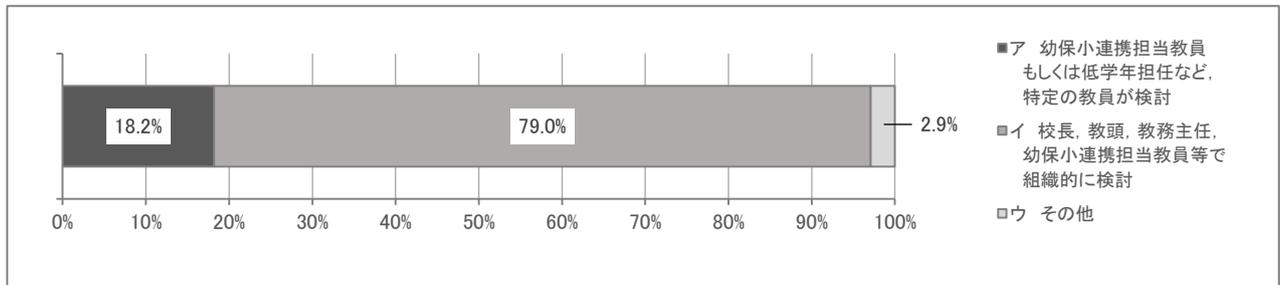
接続カリキュラムの作成・実施について、85.4%の園長・所長が、「ア 作成し、実施している」と回答している。

また、スタートカリキュラム作成・実施について、39.3%の校長が、「ア 昨年度までに作成し、今年度実施している」と回答しており、平成27年度調査と比較して18ポイント増加している。「イ 今年度作成し、来年度から実施予定」まで含めると、96.6%である。

※スタートカリキュラム作成・実施については、令和2年度から全面実施される新学習指導要領において編成を求められている。

⑦ スタートカリキュラム作成の検討体制 **【新規】**

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	（スタートカリキュラムを作成・実施している，実施予定の場合） 貴校では，スタートカリキュラムの作成についてどのような体制で検討していますか。もしくは検討する予定ですか。「ア」から「ウ」の項目の中からあてはまるものを1つ選んで，○を記入してください。



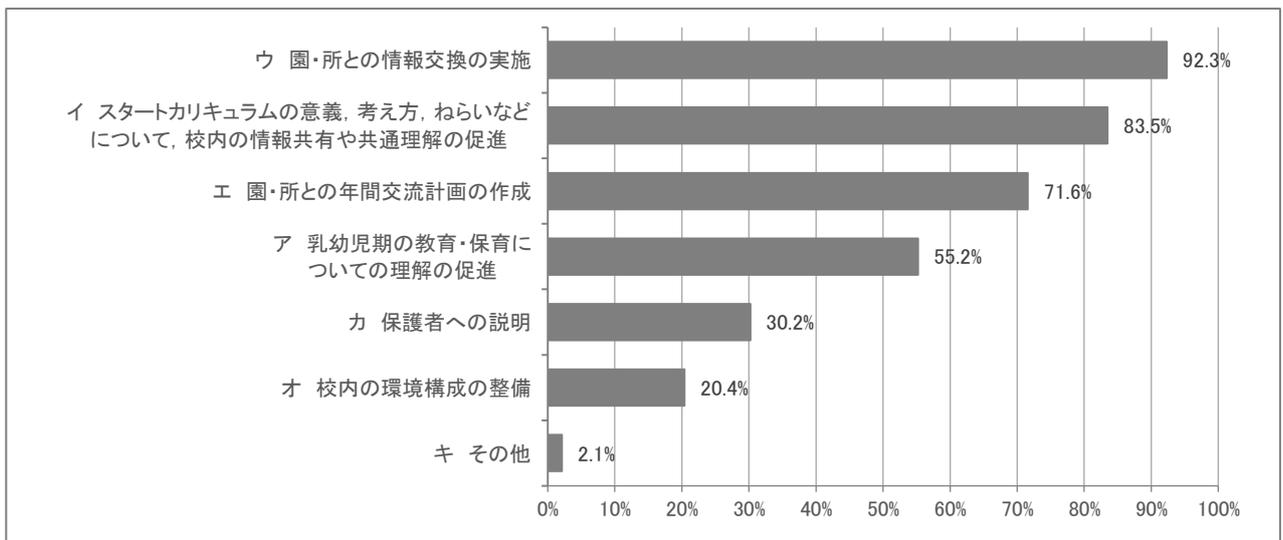
【図41 スタートカリキュラム作成の検討体制】

<調査結果>

スタートカリキュラム作成の検討体制について，79.0%の校長が，「イ 校長，教頭，教務主任，幼保小連携担当教員等で組織的に検討」と回答している。

⑧ スタートカリキュラム作成に関わる取組内容 **【新規】**

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	（スタートカリキュラムを作成・実施している，実施予定の場合） 貴校では，スタートカリキュラムの作成にあたってどのような取組をしていますか，もしくはする予定ですか。「ア」から「キ」の項目の中からあてはまるものを全て選んで，○を記入してください。



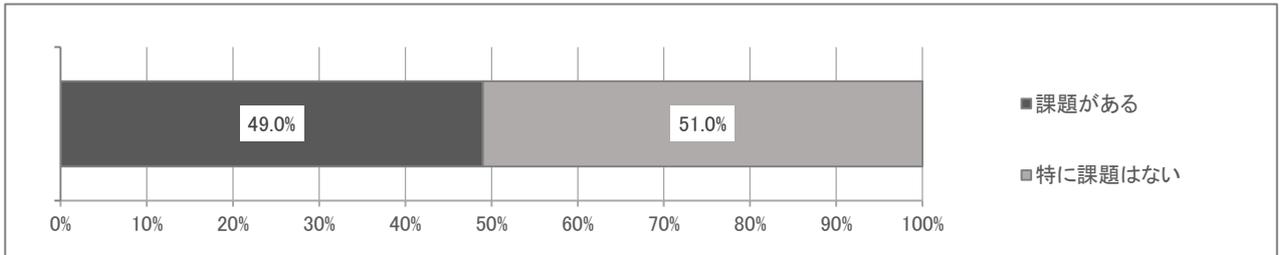
【図42 スタートカリキュラム作成に関わる取組内容】

<調査結果>

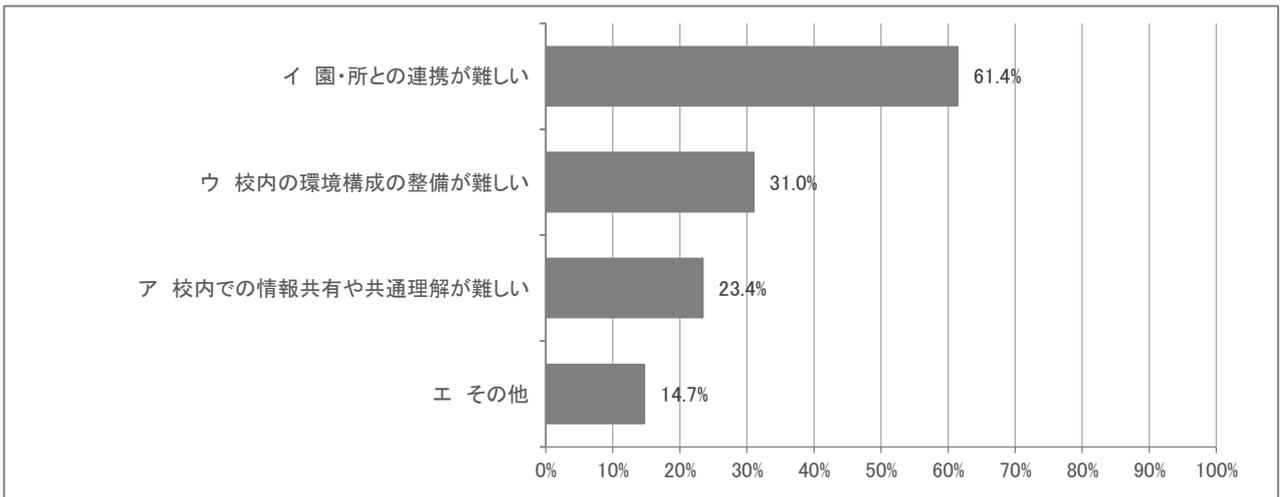
スタートカリキュラム作成に関わる取組内容について，校長が回答した上位3項目は，「ウ 園・所との情報交換の実施」，「イ スタートカリキュラムの意義，考え方，ねらいなどについて，校内の情報共有や共通理解の促進」，「エ 園・所との年間交流計画の作成」である。

⑨ スタートカリキュラム作成，実施に関わる課題 **【新規】**

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	貴校では，スタートカリキュラムの作成，実施にあたって課題がありますか。課題の有無について○を記入し，「課題がある」の場合は，「ア」から「エ」の項目についてあてはまるものを全て選んで，○を記入してください。



【図43 スタートカリキュラム作成，実施に関わる課題の有無】



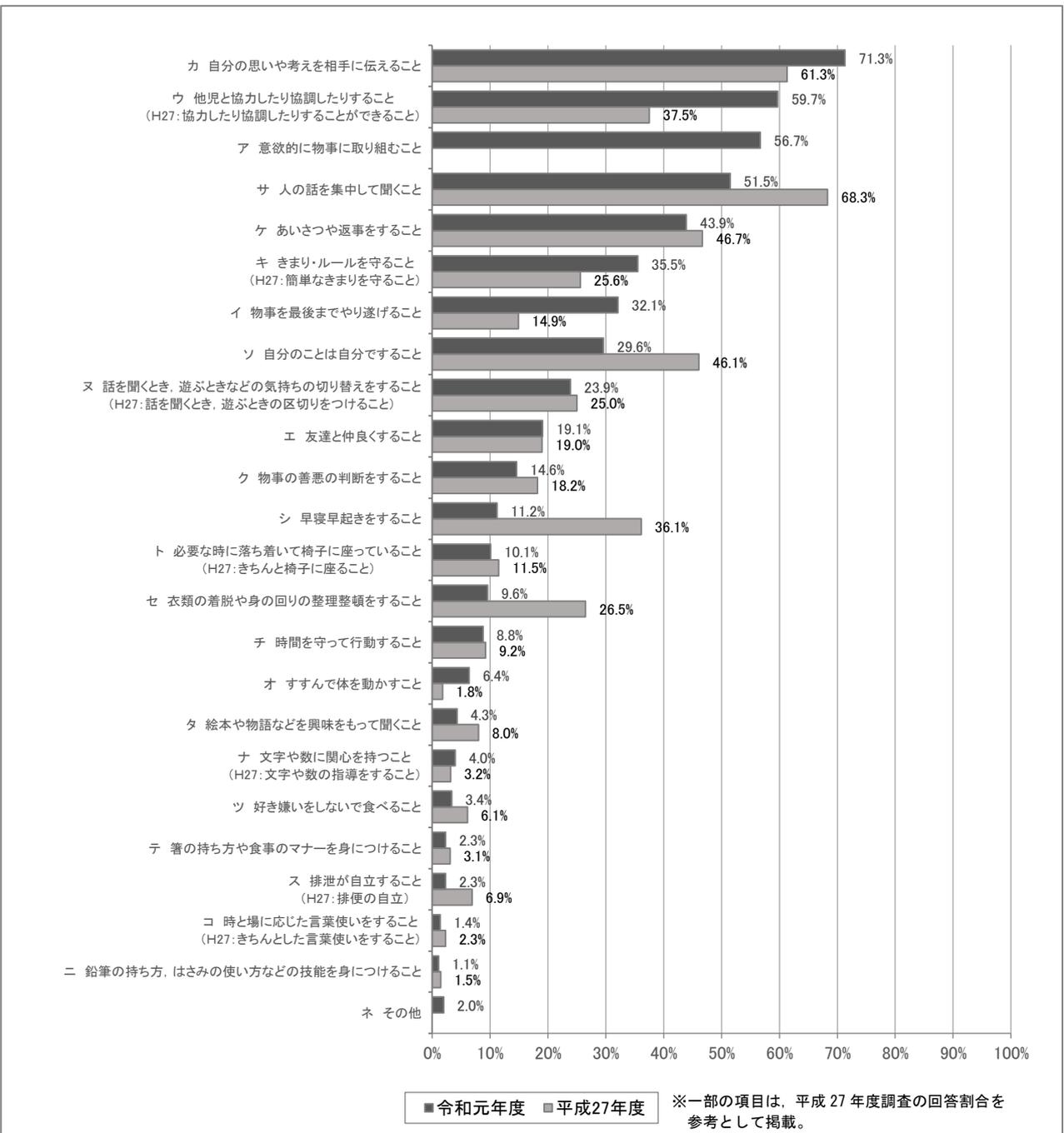
【図44 スタートカリキュラム作成，実施に関わる課題の内容】

<調査結果>

スタートカリキュラム作成，実施に関わる課題について，49.0%の校長が「課題がある」と回答している。その課題の内容として割合が最も高いのは，「イ 園・所との連携が難しい」である。

⑩ 小学校への接続を意識して特に大切にしていること（園長・所長）

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、年長児への教育・保育について、小学校への接続を意識して、どのようなことを大切にしていますか。「ア」から「ネ」の項目の中から特にあてはまるものを5つまで選んで、○を記入してください。



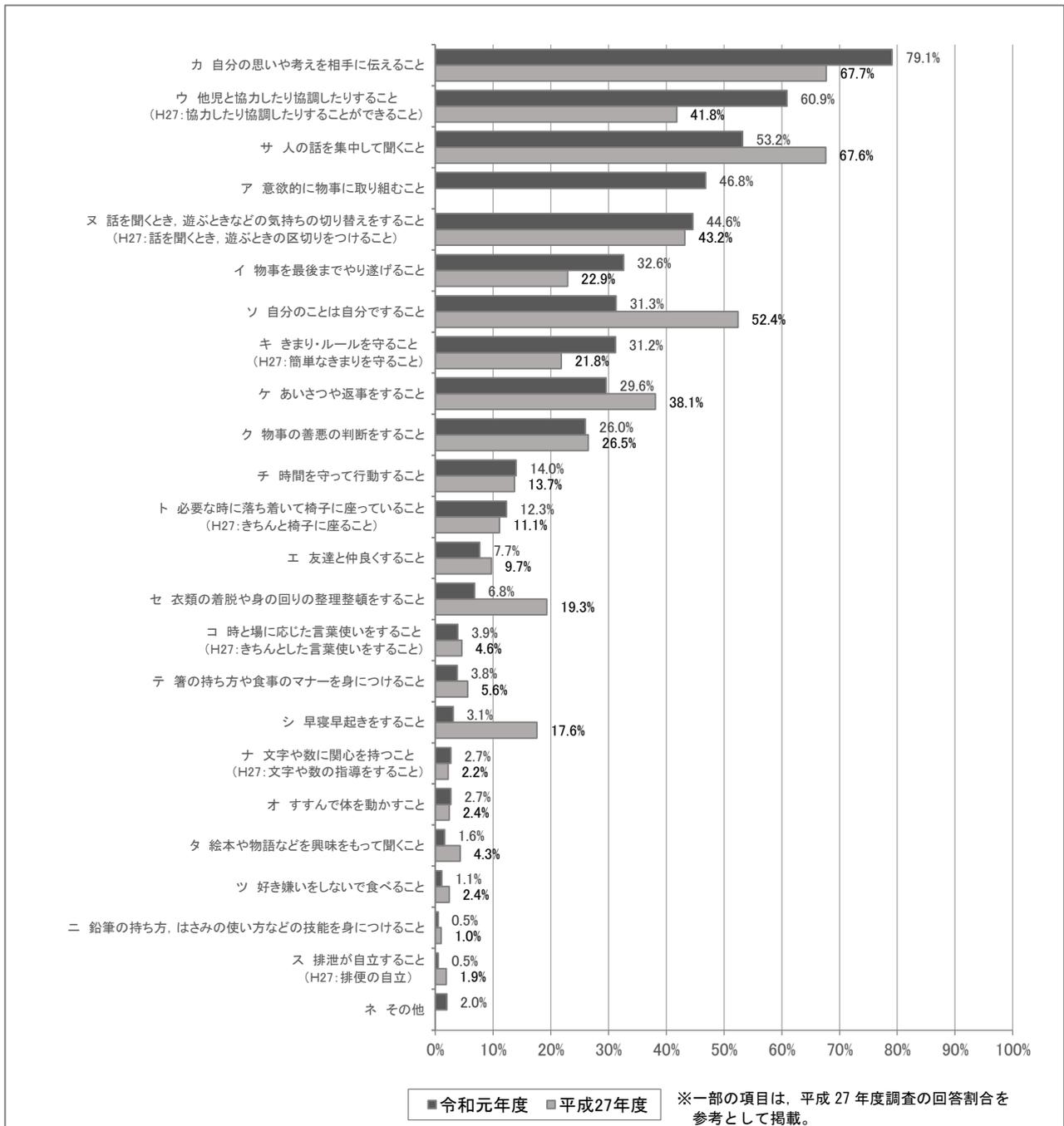
【図45 小学校への接続を意識して特に大切にしていること（園長・所長）】

<調査結果>

小学校への接続を意識して年長児への教育・保育について大切にしていることについて、園長・所長が回答した上位3項目は、「カ 自分の思いや考えを相手に伝えること」、「ウ 他児と協力したり協調したりすること」、「ア 意欲的に物事に取り組むこと」である。

⑪ 小学校への接続を意識して特に大切にしていること（年長児担任）

回答者（人数）	年長児担任（640人）
質問内容	あなたの園・所では、年長児への教育・保育について、小学校への接続を意識して、どのようなことを大切にしていますか。「ア」から「ネ」の項目の中から特にあてはまるものを5つまで選んで、○を記入してください。



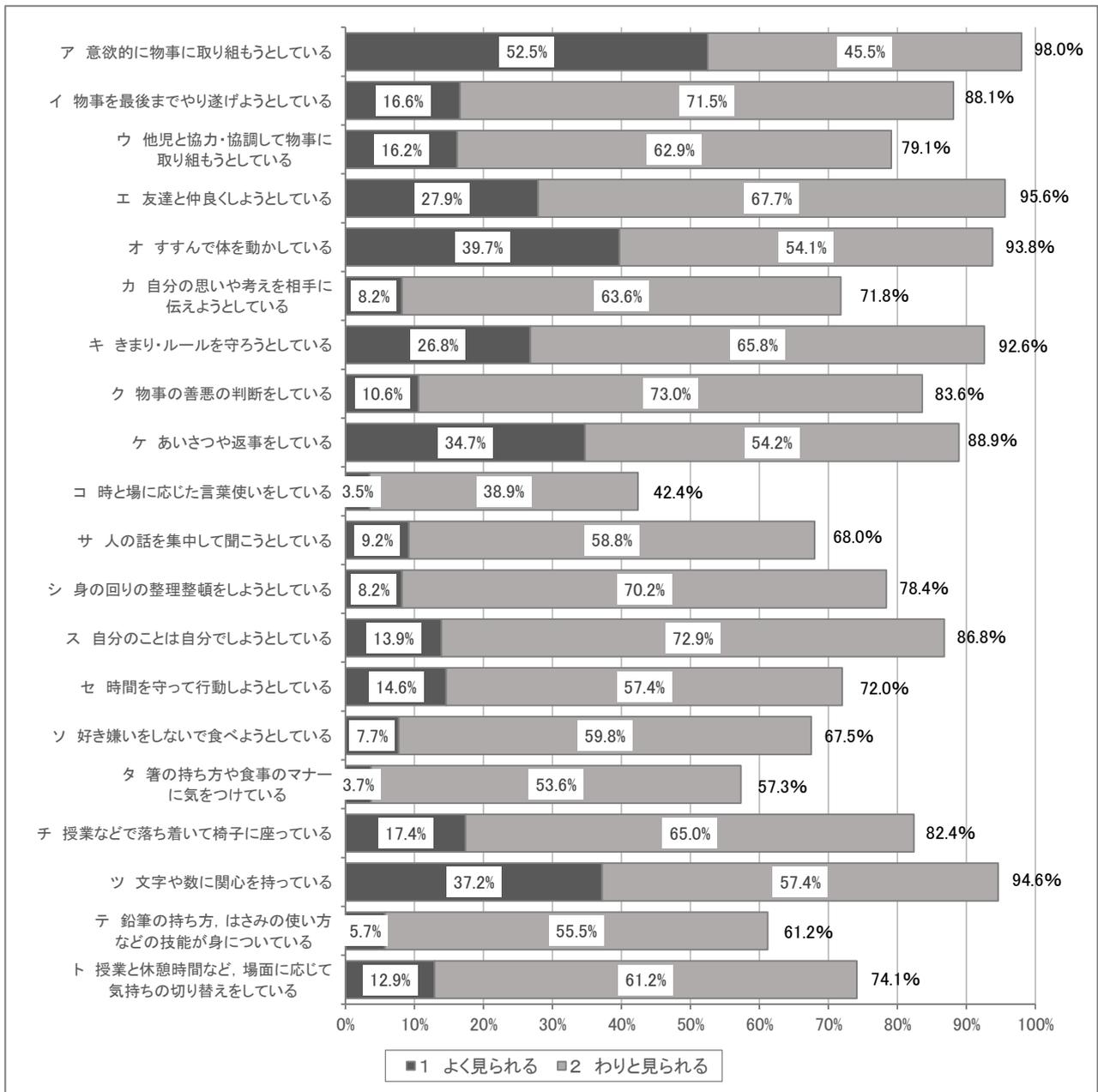
【図46 小学校への接続を意識して特に大切にしていること（年長児担任）】

<調査結果>

小学校への接続を意識して年長児への教育・保育について大切にしていることについて、年長児担任が回答した上位3項目は、「カ 自分の思いや考えを相手に伝えること」、「ウ 他児と協力したり協調したりすること」、「サ 人の話を集中して聞くこと」である。

⑫ 入学後間もなくの児童に多く見られる姿 【新規】

回答者（人数）	校長（407人）
質問内容	貴校で、入学後間もなくの児童に多く見られるのは、どのような姿ですか。次の「ア」から「ト」のそれぞれの項目について、「1 よく見られる」から「4 まったく見られない」の中からあてはまるものを1つずつ選んで、○を記入してください。



【図47 入学後間もなくの児童に多く見られる姿】

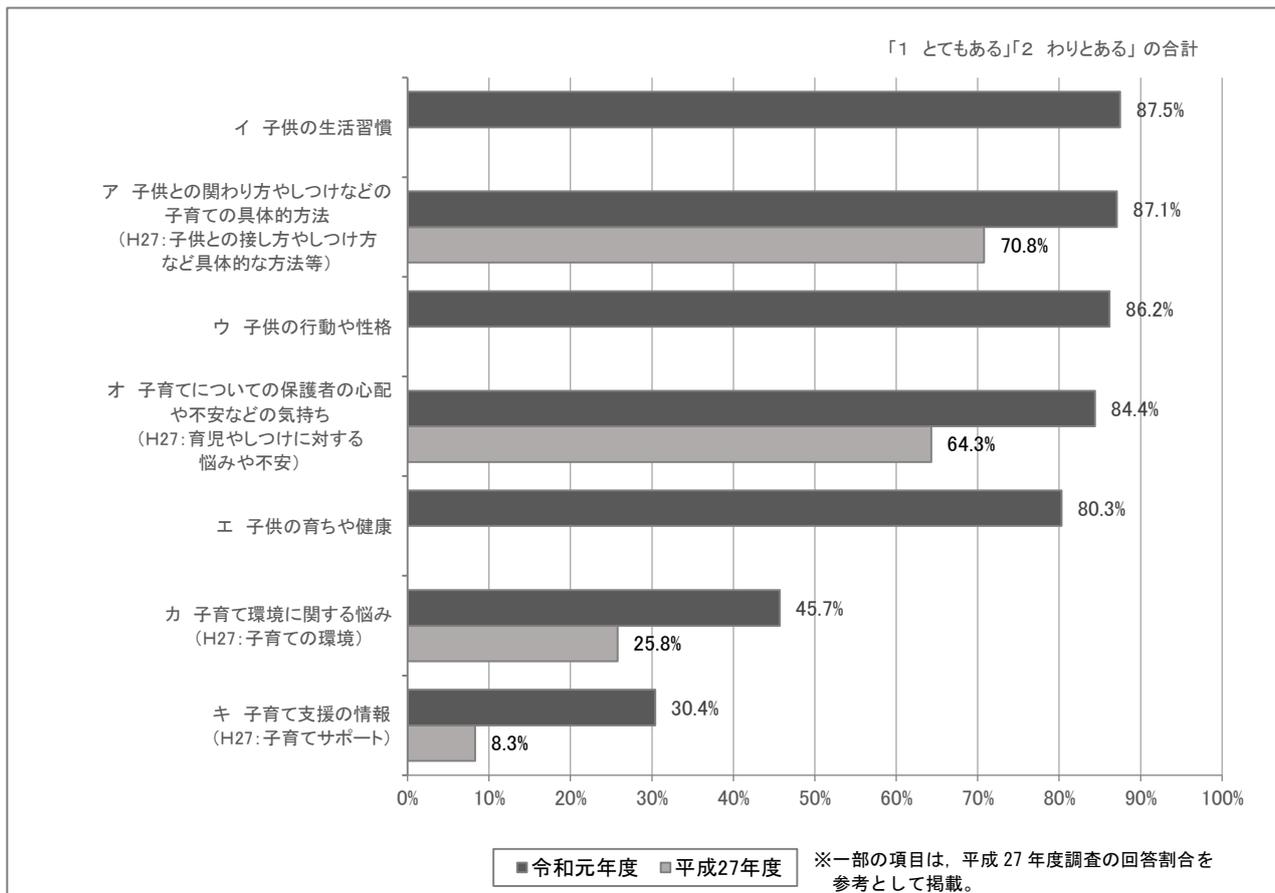
<調査結果>

入学後間もなくの児童に多く見られる姿について、校長が回答した上位3項目は「ア 意欲的に物事に取り組もうとしている」、「エ 友達と仲良くしようとしている」、「ツ 文字や数に関心を持っている」である。

6 子育て支援

① 保護者からの相談内容

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、保護者からどのような相談を受けますか。次の「ア」から「キ」のそれぞれの項目について、「1 とてもある」から「4 まったくない」の中からあてはまるものを1つずつ選んで、○を記入してください。



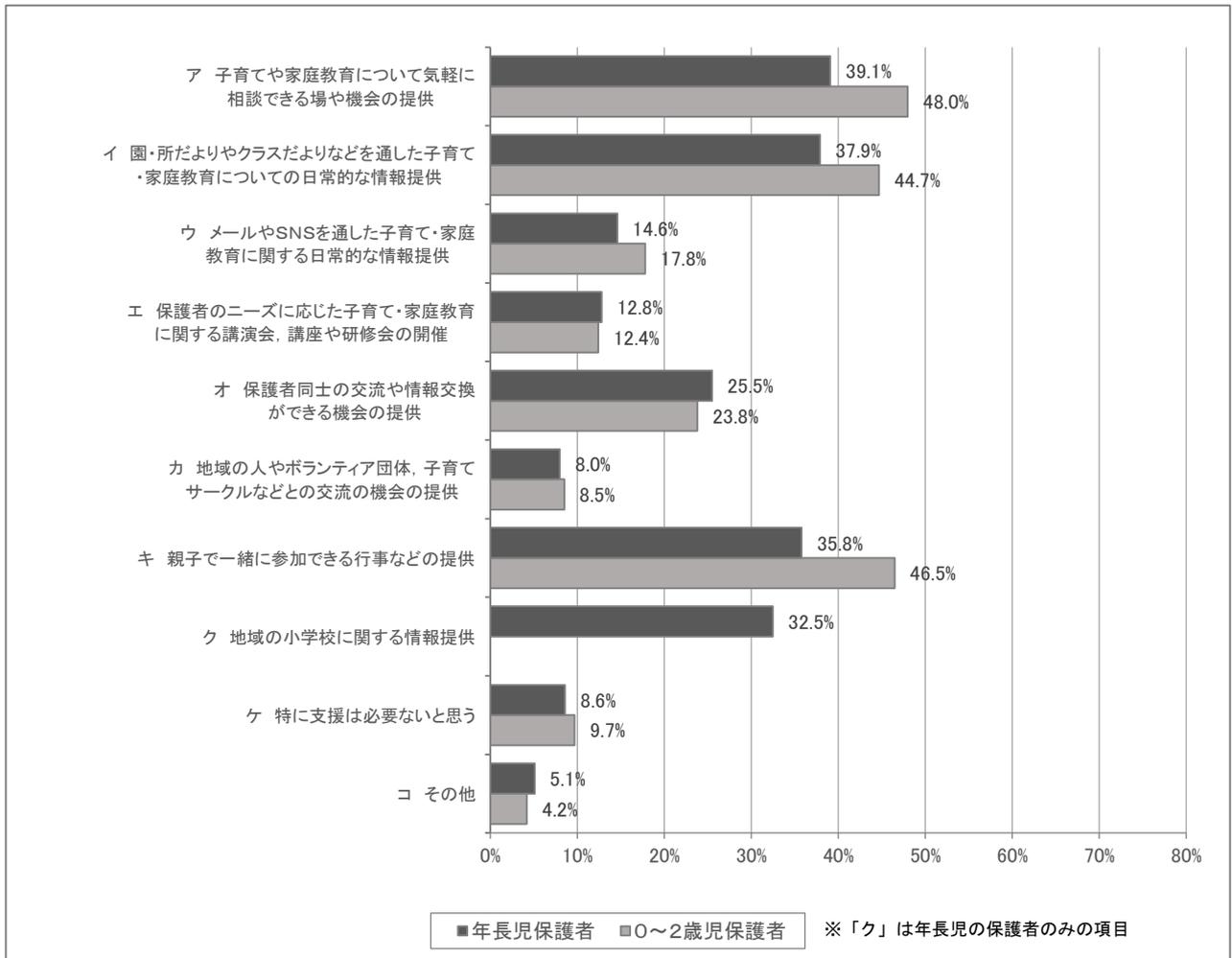
【図48 保護者からの相談内容】

<調査結果>

保護者からの相談内容について、園長・所長が回答した上位3項目は、「イ 子供の生活習慣」、「ア 子供との関わり方やしつけなどの子育ての具体的方法」、「ウ 子供の行動や性格」である。

② 園・所に期待する支援

回答者（人数）	年長児の保護者（2,005人），0～2歳児の保護者（2,052人）
質問内容	家庭での子育てや家庭教育に対して，園・所からどのような支援があるとよいと思いますか。次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで，○をつけてください。



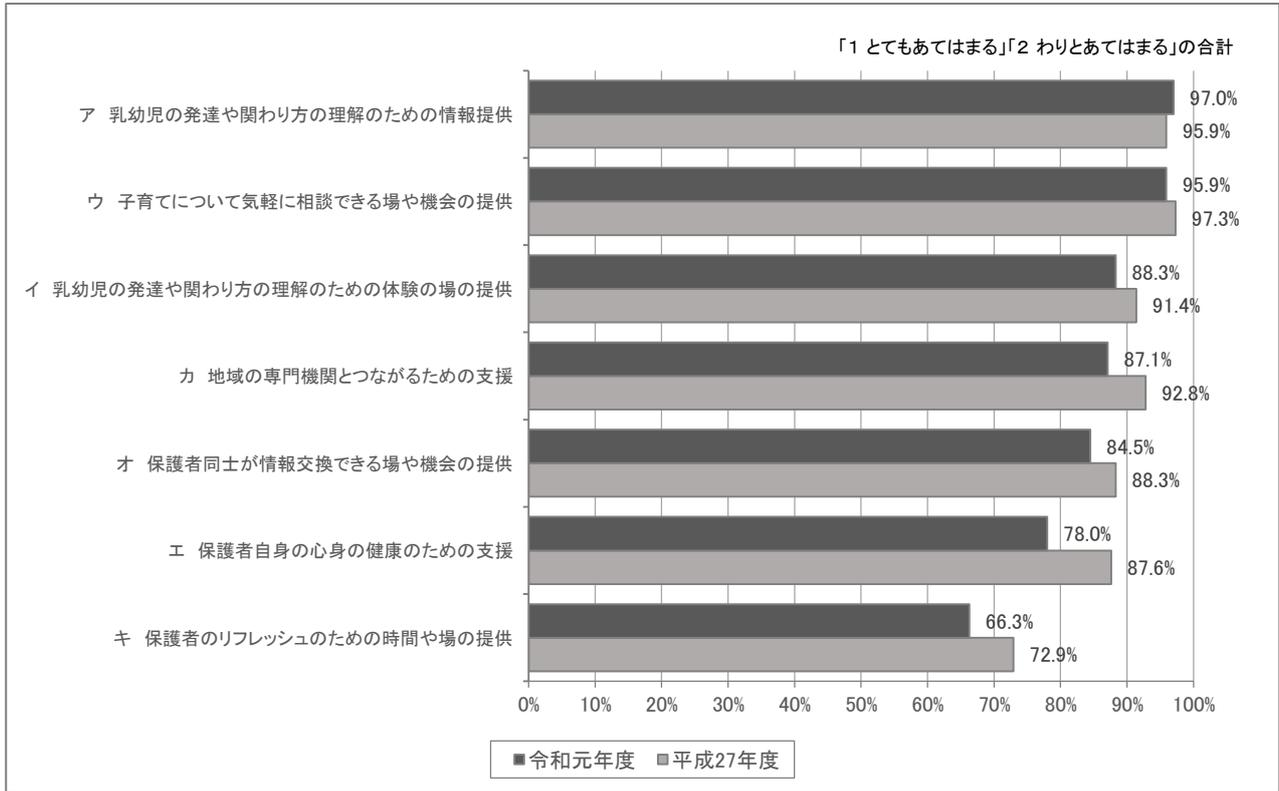
【図49 園・所に期待する支援】

<調査結果>

園・所に期待する支援について，年長児・0～2歳児の保護者ともに，上位3項目は「ア 子育てや家庭教育について気軽に相談できる場や機会の提供」，「イ 園・所だよりやクラスだよりなどを通した子育て・家庭教育についての日常的な情報提供」，「キ 親子で一緒に参加できる行事などの提供」である。

③ 乳幼児を育てている保護者に必要な支援

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	乳幼児を育てている保護者に対して、どのような支援が必要だと思いますか。次の「ア」から「キ」のそれぞれの項目について、「1 とてもあてはまる」から「4 まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選んで、○を記入してください。



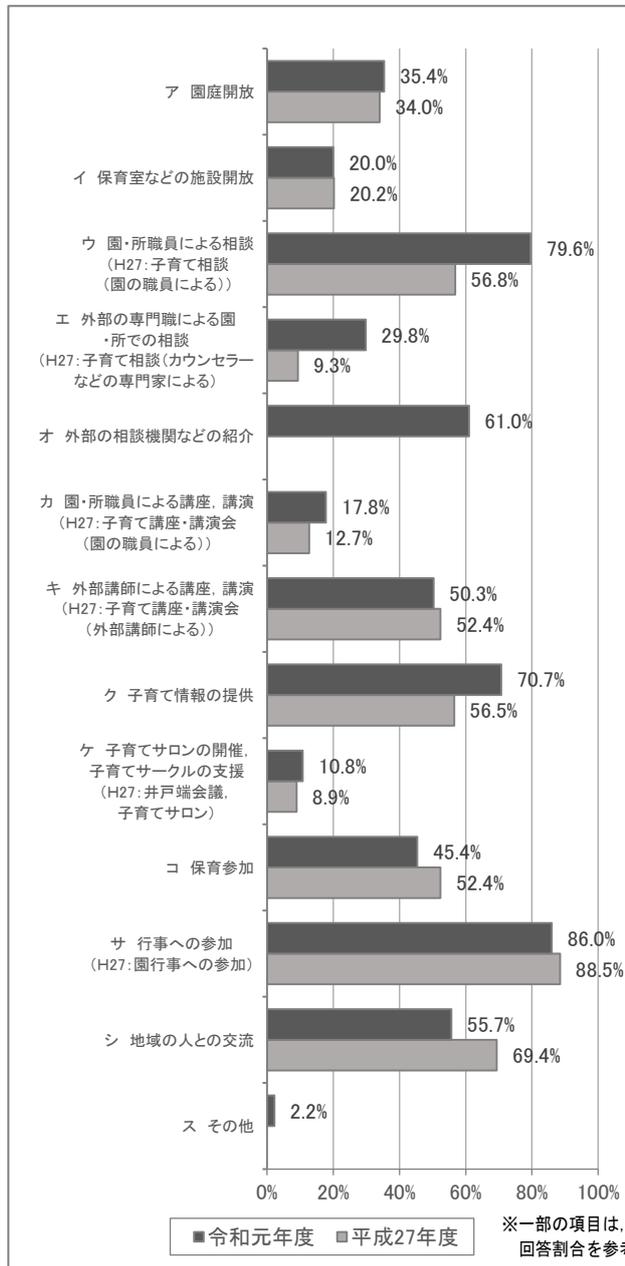
【図 50 乳幼児を育てている保護者に必要な支援】

<調査結果>

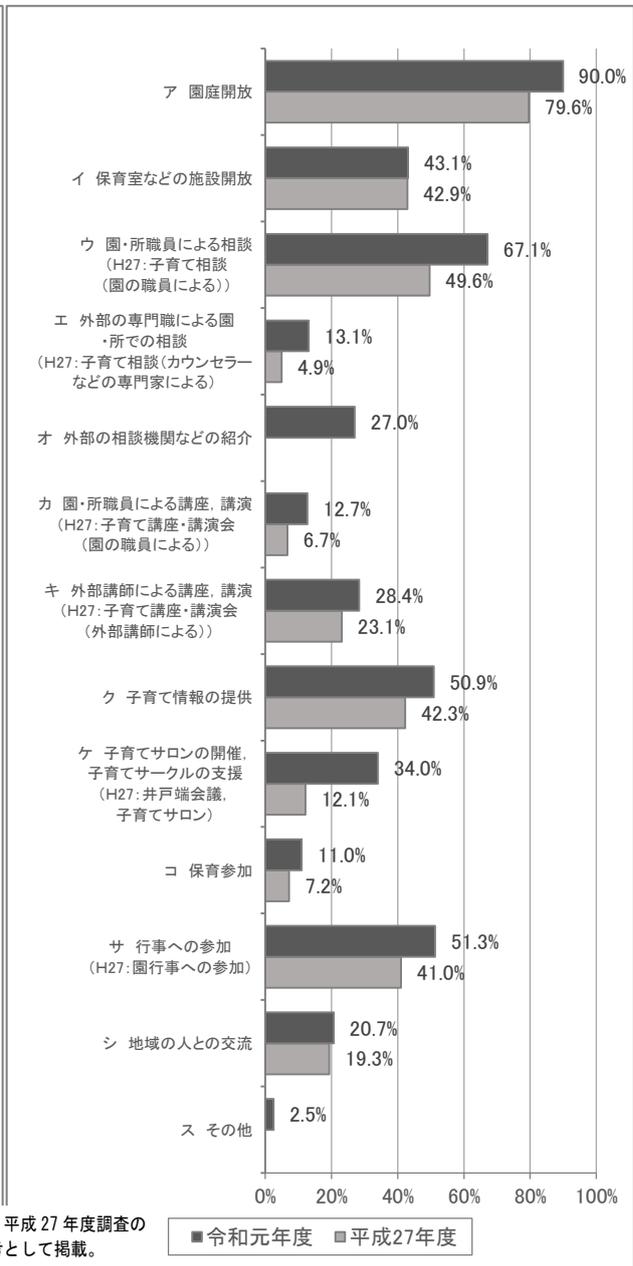
乳幼児を育てている保護者に必要な支援について、園長・所長が「あてはまる」と回答した上位3項目は、「ア 乳幼児の発達や関わり方の理解のための情報提供」、「ウ 子育てについて気軽に相談できる場や機会の提供」、「イ 乳幼児の発達や関わり方の理解のための体験の場の提供」である。

④ 園・所による子育ての支援

回答者（人数）	園長・所長（662人）
質問内容	あなたの園・所では、子育ての支援を行っていますか。支援の有無について、○を記入し、「行っている」の場合は、「ア」から「ス」の項目についてあてはまるものを全て選んで、○を記入してください。



【図51 在園児の保護者への支援】



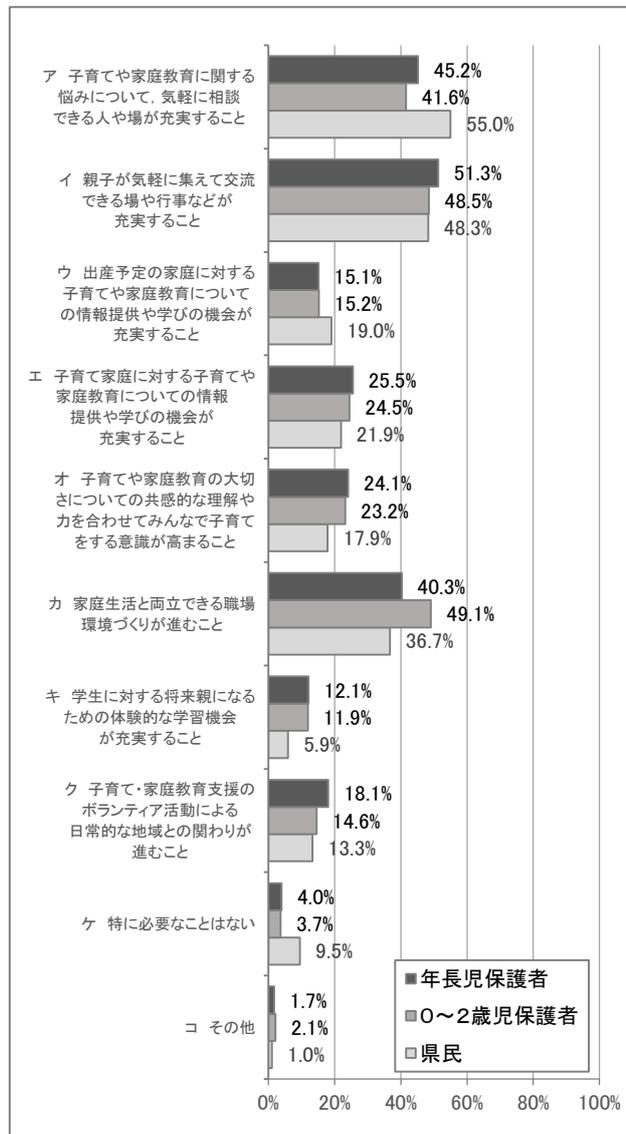
【図52 在園児以外の保護者への支援】

<調査結果>

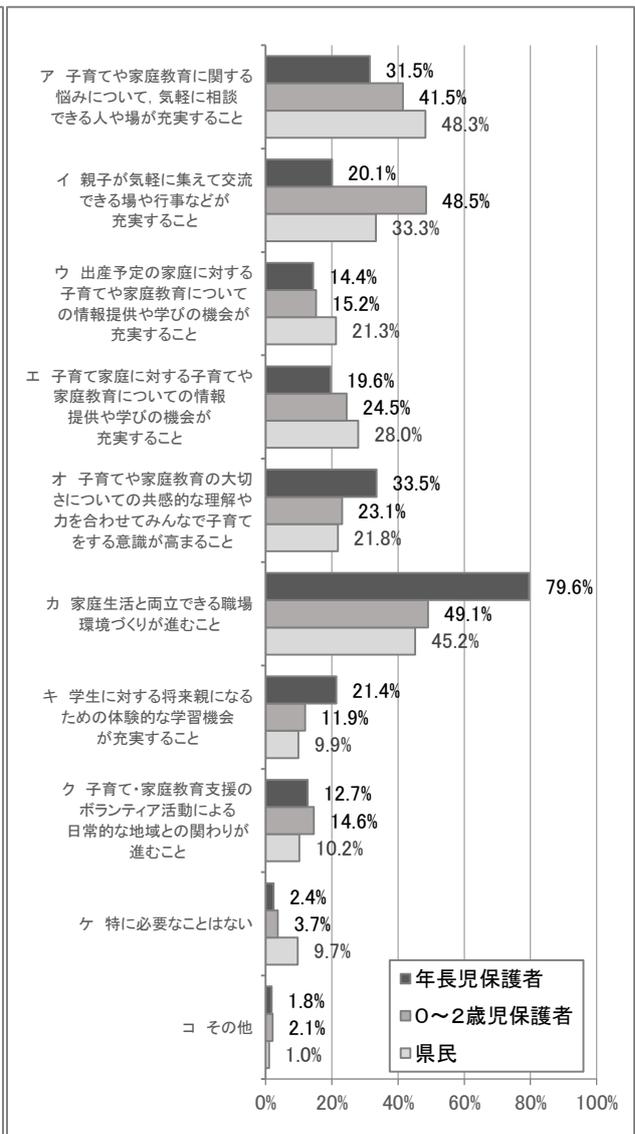
園・所が行っている子育ての支援について、園長・所長が回答した割合が最も高い項目は、在園児の保護者対象では「サ 行事への参加」、在園児以外の保護者対象では「ア 園庭開放」である。

⑤ 地域や社会全体として必要なこと **【新規】**

回答者（人数）	年長児の保護者（2,005人）、0～2歳児の保護者（2,052人）、県民（1,640人）
質問内容	乳幼児を育てる保護者が、子育て・家庭教育をゆとりを持ってできるようになるために、地域や社会全体としてどのようなことが必要だと思いますか。「ア」から「コ」の項目の中から特にあてはまるものをそれぞれ3つまで選んで、○をつけてください。



【図53 地域の取組】



【図54 社会全体の取組】

<調査結果>

乳幼児を育てる保護者が子育て・家庭教育をゆとりを持ってできるようになるために必要な取組について、保護者及び県民が最も回答した割合が高い項目は、

【地域の取組】

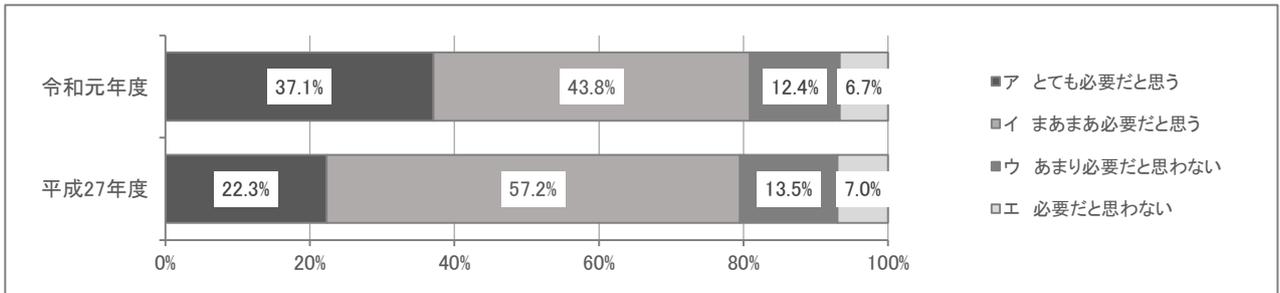
- ・年長児の保護者では、「イ 親子が気軽に集えて交流できる場や行事などが充実すること」
- ・0～2歳児の保護者では、「カ 家庭生活と両立できる職場環境づくりが進むこと」
- ・県民では、「ア 子育てや家庭教育に関する悩みについて、気軽に相談できる人や場が充実すること」

【社会全体の取組】

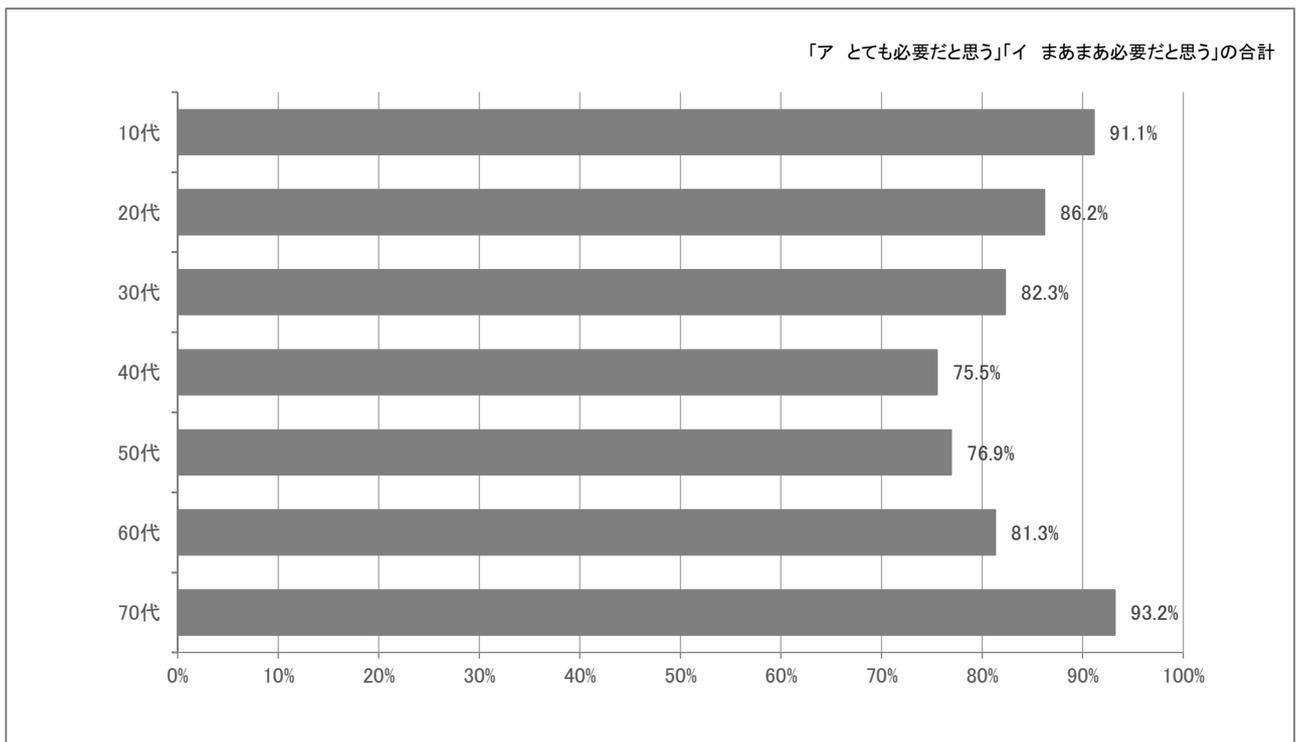
- ・年長児の保護者では、「カ 家庭生活と両立できる職場環境づくりが進むこと」
- ・0～2歳児の保護者では、「カ 家庭生活と両立できる職場環境づくりが進むこと」
- ・県民では、「ア 子育てや家庭教育に関する悩みについて、気軽に相談できる人や場が充実すること」である。

⑥ 乳幼児を育てている保護者を支援する必要性

回答者（人数）	県民（1,640人）
質問内容	あなたは、地域住民として、乳幼児を育てている保護者の子育てや家庭教育を支援する必要があると思いますか。



【図55 乳幼児を育てている保護者を支援する必要性】



【図56 乳幼児を育てている保護者を支援する必要を感じている年代別の割合】

<調査結果>

乳幼児を育てている保護者の子育てや家庭教育を支援する必要性について、80.9%の県民が「必要があると思う」と回答し、平成27年度調査と比較して1.4ポイント増加している。年代別では、10代及び70代以上の回答割合が高い。